NEC

MultiWriter 2650
MultiWriter 2650E
MultiWriter 2250
MultiWriter 2050
MultiWriter 2200X2
MultiWriter 2200XE
MultiWriter 2000X2
MultiWriter 1400X

レーザープリンター

オンラインマニュアル

プリンターソフトウエアの詳細

808-895179-002-A
初版

商標について

NMPS、MOPYING、PrintAgentは日本電気株式会社の登録商標です。
Microsoft、Windows、Windows NT、MS-DOSは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
i486は米国Intel Corporationの商標です。
HP 7550は米国Hewlett-Packard Companyの商標です。
ESC/Pはセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
NetWare、IntranetWareは米国Novell, Incの登録商標です。
Macintosh、Mac OS、QuickDraw、QuickDraw GX、LocalTalk、TrueType、漢字Talkは米国Apple Computer, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
IBM、PS/V、PC/ATは米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
UNIXオペレーティングシステムはX/Openカンパニーリミテッドがライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。
TranXitはPuma Technology, Incの登録商標です。
AdobeおよびAcrobatはAdobe Systems Incorporated社（アドビシステムズ社）の商標です。
DocuWorksは富士ゼロックス株式会社の商標です。

Windows 2000はMicrosoft Windows 2000 Professional operating systemおよびMicrosoft Windows 2000 Server operating systemの略です。Windows 98はMicrosoft Windows 98 operating systemの略です。Windows 98 Second EditionはMicrosoft Windows 98 Second Edition operating systemの略です。Windows 95はMicrosoft Windows 95 operating systemの略です。WindowsNT 4.0はMicrosoft Windows NT Workstation operating system Version 4.0およびMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 4.0の略です。Windows NT 3.51はMicrosoft Windows NT Workstation operating system Version 3.51およびMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 3.51の略です。Windows 3.1はMicrosoft Windows operating system Version 3.1の略です。

その他記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の一部はアドビシステムズ社で著作権を所有しており、その許可の下に転載されています。
3. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
4. NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
5. 本書は内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
6. プリンターの機能の一部は使用する環境あるいはソフトウエアによってはサポートされない場合があります。
7. 運用した結果の影響については5項および6項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

本書について

このマニュアルでは、以下の8つのモデルについて取り扱っています。説明中に特に指定のない限り全モデル共通となります。OSと他についても同様です。

- MultiWriter 2650
- MultiWriter 2650E
- MultiWriter 2250
- MultiWriter 2050
- MultiWriter 2200X2
- MultiWriter 2200XE
- MultiWriter 2000X2
- MultiWriter 1400X

本文中で使用の記号について

このマニュアルでは、3種類の記号を使用しています。それぞれは次の意味を示します。

記　号	内　容
重要	この注意事項および指示を守らないと、プリンターを含むコンピューターシステムに影響を与える障害が発生するおそれがあることを示しています。
チェック	この注意事項および指示を守らないと、プリンターが正しく動作しない可能性があることを示しています。
ヒント	プリンターを使用する際に知っておくと便利なことや参考になることを記載しています。

目次

オンラインマニュアルの使い方

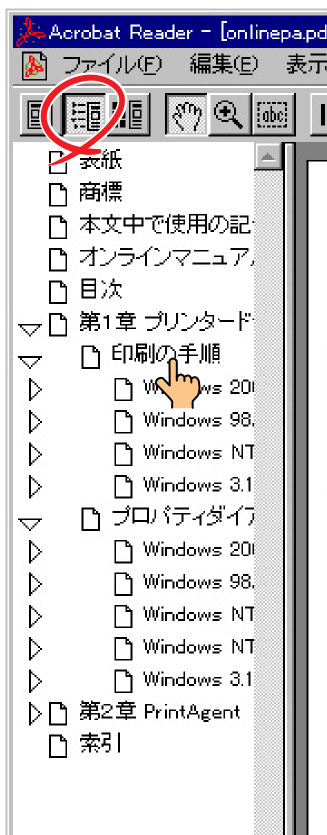
ここでは、このオンラインマニュアルの使い方をAcrobat Reader 3.0Jを使用して簡単に説明します。
このマニュアルは米国Adobe社のAcrobat Reader3.0JおよびAcrobat Reader 4.0Jで読むことができます。Acrobat Reader 4.0Jでは多少表示画面が異なりますが、基本的な使い方は同じです。

Acrobat Readerの詳しい説明についてはヘルプメニューの[Readerオンラインガイド]をご覧ください。

表示するページを変更する

[しおり]、[サムネール]のナビゲーション機能や[ページ移動]、[画像移動]、[検索]ツール、ステータスバーを使って表示するページを変更します。

しおりを使う

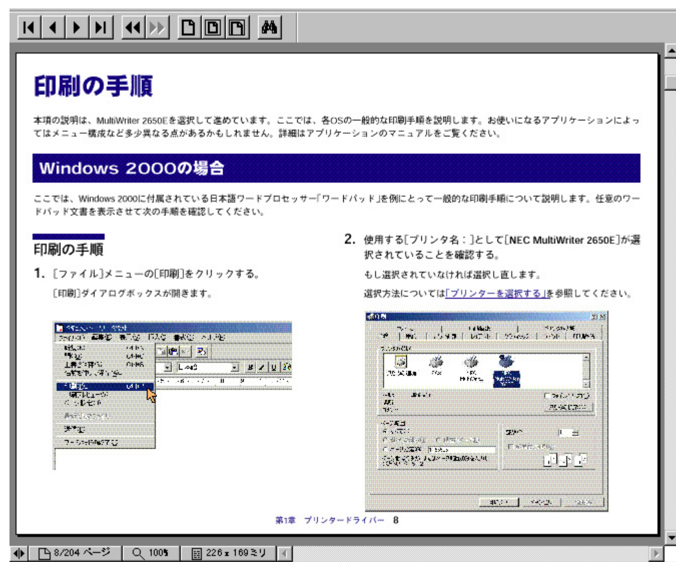


1. [ページとしおり]ボタンをクリックし、しおりパレット表示する。

2. 表示させたいしおりを選びクリックする。

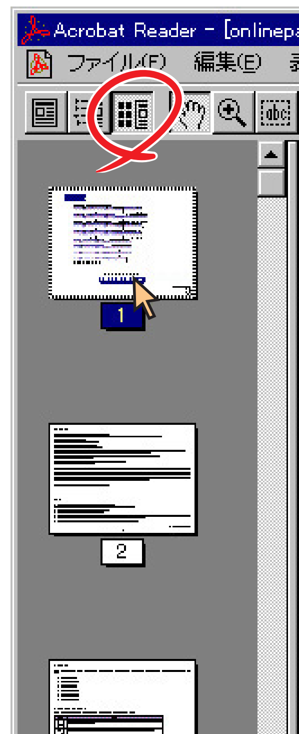
選んだしおりのページが表示されます。

階層化された項目は、項目名の左側に[▷]、[▽]の記号が表示されます。その下の階層の表示・非表示の切り替えはフォルダーの階層表示と同じです。



サムネールを使う

サムネールはそのページの全体のイメージを小さく表示したものです。表示したいページを見つけ、クリックすることで目的のページを表示することができます。



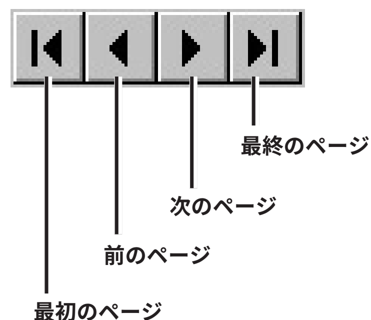
1. [ページとサムネール]ボタンをクリックし、サムネールパレット表示する。
2. 表示させたいページのサムネールをクリックする。

   選んだページが表示されます。



[ページ移動]を使う

[ページ移動]の各ボタンを押すと以下のように表示されるページが変更されます。



- **最終のページ**
  クリックするとマニュアルの最終ページへ移動します。

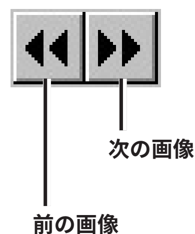
- **次のページ**
  クリックすると次のページへ移動します。

- **前のページ**
  クリックすると前のページへ移動します。

- **最初のページ**
  クリックするとマニュアルの最初のページへ移動します。

[画像移動]を使う

[画像移動]ツールの各ボタンを押すと以下のように表示されるページが変更されます。



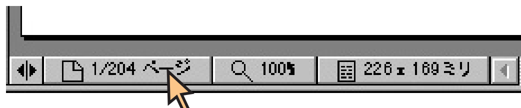
- **次の画像**
  「前の画像に戻る」操作後などに、その戻る前にいたページに再度進むことができます。

- **前の画像**
  直前に見ていたページに戻ります。

ステータスバーを使う

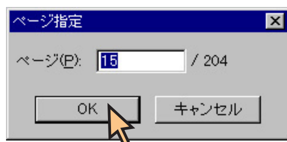
1. **ステータスバーの[ページ数]をクリックする。**

[ページ指定]ダイアログボックスが表示されます。



2. **表示したいページ数を入力し、[OK]をクリックする。**

入力したページが表示されます。



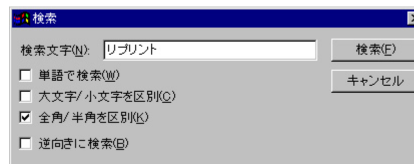
キーワードで検索する

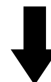
1. **ボタン([検索]ボタン)をクリックする。**

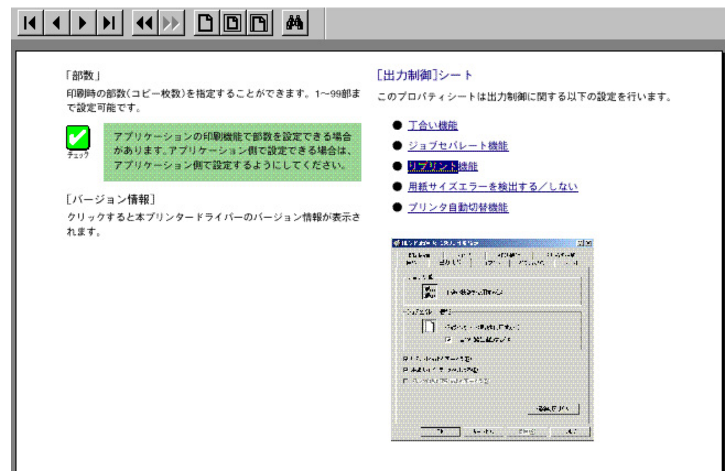
[検索]ウィンドウが表示されます。

2. **テキストボックスに検索したい文字を入力し、[検索]をクリックする。**

検索結果が表示されます。







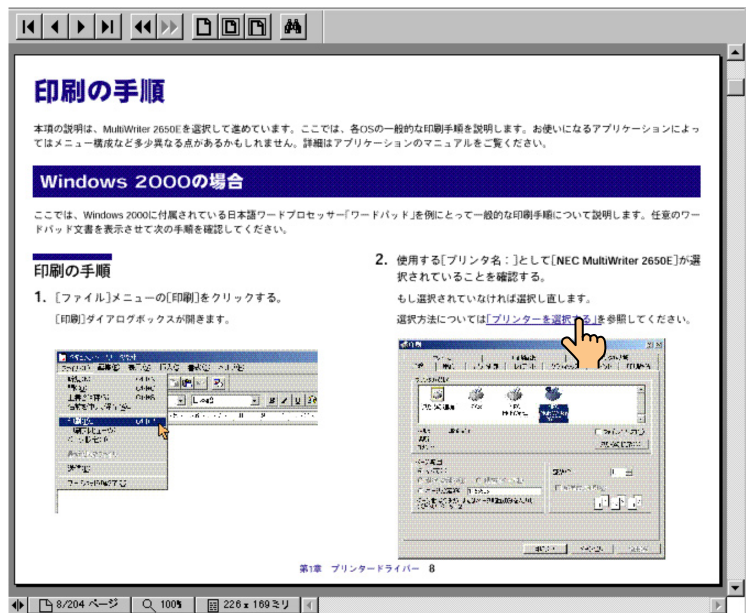
リンクをたどる

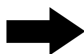
オンラインマニュアルでは、すばやく目的のページへジャンプできるようにリンクが設定してあります。
目次ページや文章内の<u>青の下線文字</u>はリンクのある場所です。[手のひら]ツールを使ってリンクの設定先にジャンプすることができます。

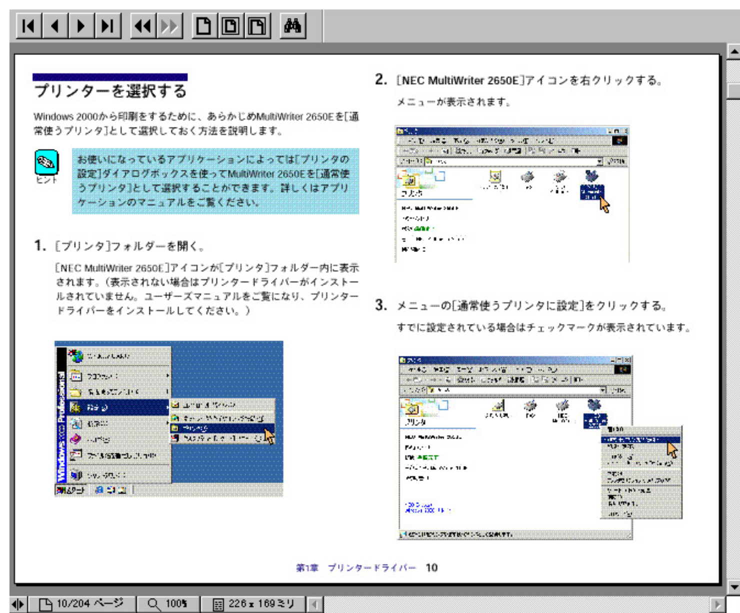
1. [手のひら]ツールをクリックする。

2. リンクのある場所をクリックする。

リンクのある場所へ[手のひら]を移動すると「指さし」の形に変わるのでそこをクリックしてください。





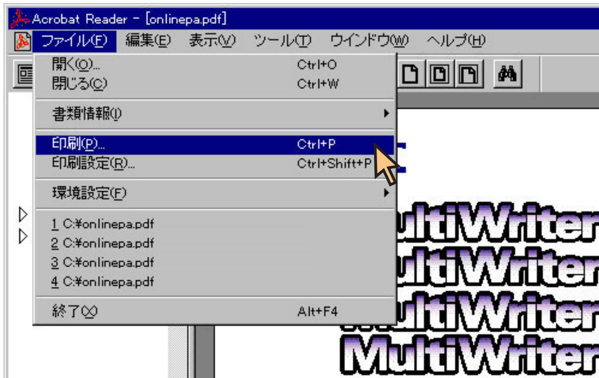


印刷方法

このオンラインマニュアルは、ディスプレイ上で閲覧しやすいように作成されています。印刷する場合は、複数ページ印刷機能を使ってA4用紙に2ページずつ印刷することをおすすめします。印刷手順は次のとおりです。

1. [ファイル] メニューの [印刷] をクリックする。

[印刷] ダイアログボックスが開きます。



2. [プロパティ] をクリックする。

プロパティダイアログボックスが開きます。

3. [レイアウト] タブをクリックし、[複数ページ印刷] のページ数を「2ページ→1ページ」に指定する。もしくは、[用紙] シートの [用紙サイズ] で「A4×2→A4」を選択する。



4. [OK] をクリックする。

用紙サイズなど、さらに詳しい設定をしたい場合は、設定変更をしてから [OK] をクリックします。

[印刷] ダイアログボックスに戻ります。

5. [印刷]ダイアログボックスにおいて、印刷範囲、部数を指定し、[OK]をクリックする。

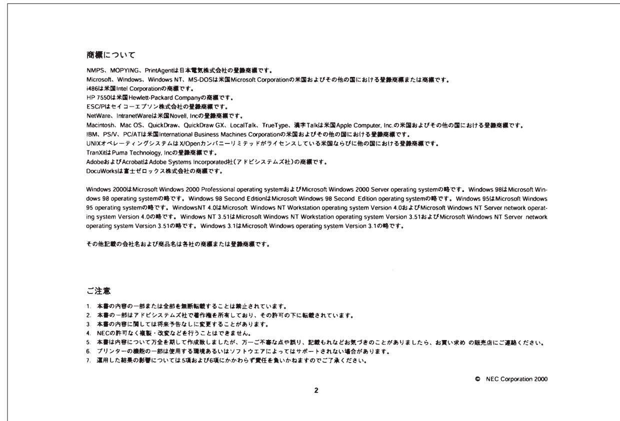
印刷が開始されます。印刷結果はご覧のとおりです。


NEC

MultiWriter 2650
MultiWriter 2650E
MultiWriter 2250
MultiWriter 2050
MultiWriter 2200X2
MultiWriter 2200XE
MultiWriter 2000X2
MultiWriter 1400X
レーザープリンター

オンラインマニュアル
フリンターソフトウエアの詳細

808-895179-002-A
初版


商標について

NMPS、MOPYING、PrintAgentは日本電気株式会社の登録商標です。
Microsoft、Windows、Windows NT、MS-DOSは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
i486は米国Intel Corporationの商標です。
HP 7550は米国Hewlett-Packard Companyの商標です。
ESC/Pはセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
NetWare、IntranetWareは米国Novell, Incの登録商標です。
Macintosh、Mac OS、QuickDraw、QuickDraw GX、LocalTalk、TrueType、漢字Talkは米国Apple Computer, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
IBM、PS/V、PC/ATは米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
UNIXオペレーティングシステムはX/Openカンパニーリミテッドがライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。
TranXitはPuma Technology, Incの登録商標です。
AdobeおよびAcrobatはAdobe Systems Incorporated社(アドビシステムズ社)の商標です。
DocuWorksは富士ゼロックス株式会社の商標です。

Windows 2000はMicrosoft Windows 2000 Professional operating systemおよびMicrosoft Windows 2000 Server operating systemの略です。Windows 98はMicrosoft Windows 98 operating systemの略です。Windows 98 Second EditionはMicrosoft Windows 98 Second Edition operating systemの略です。Windows 95はMicrosoft Windows 95 operating systemの略です。WindowsNT 4.0はMicrosoft Windows NT Workstation operating system Version 4.0およびMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 4.0の略です。Windows NT 3.51はMicrosoft Windows NT Workstation operating system Version 3.51およびMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 3.51の略です。Windows 3.1はMicrosoft Windows operating system Version 3.1の略です。

その他記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

ご注意

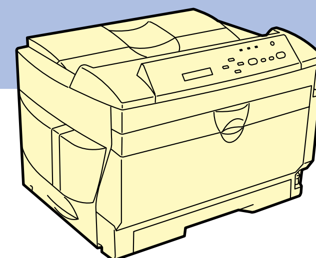
1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の一部はアドビシステムズ社で著作権を所有しており、その許可の下に転載されています。
3. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
4. NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
5. 本書は内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求め の販売店にご連絡ください。
6. プリンターの機能の一部は使用する環境あるいはソフトウエアによってはサポートされない場合があります。
7. 運用した結果の影響については5項および6項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

© NEC Corporation 2000

2

（このページは白紙ページです）

第1章
プリンタードライバー



プリンタードライバーはMultiWriterで印刷を行うためのソフトウエアです。本章では一般的な印刷の手順と印刷の詳細を設定するためのプロパティダイアログボックスの概要を各OSに分けて説明します。

印刷の手順

本項の説明は、MultiWriter 2650Eを選択して進めています。ここでは、各OSの一般的な印刷手順を説明します。お使いになるアプリケーションによってはメニュー構成など多少異なる点があるかもしれません。詳細はアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

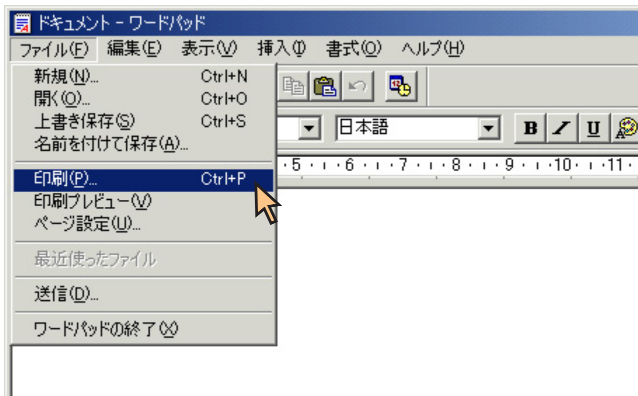
Windows 2000の場合

ここでは、Windows 2000に付属されている日本語ワードプロセッサー「ワードパッド」を例にとって一般的な印刷手順について説明します。任意のワードパッド文書を表示させて次の手順を確認してください。

印刷の手順

1. [ファイル]メニューの[印刷]をクリックする。

[印刷]ダイアログボックスが開きます。



2. 使用するプリンターとして[NEC MultiWriter 2650E]が選択されていることを確認する。

もし選択されていなければ選択し直します。

選択方法については「プリンターを選択する」を参照してください。



3. ページ範囲、部数を指定し、[印刷]をクリックする。

印刷が開始されます。

用紙サイズなど、さらに詳しい設定をしたい場合は各シートのタブをクリックし、設定を変更してから[印刷]をクリックします。

設定方法の詳細については「プロパティダイアログボックス」を参照してください。



プリンターを選択する

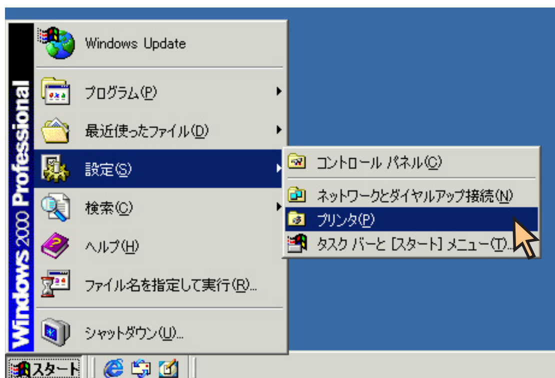
Windows 2000から印刷をするために、あらかじめMultiWriter 2650Eを［通常使うプリンタ］として選択しておく方法を説明します。


ヒント

お使いになっているアプリケーションによっては［プリンタの設定］ダイアログボックスを使ってMultiWriter 2650Eを［通常使うプリンタ］として選択することができます。詳しくはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

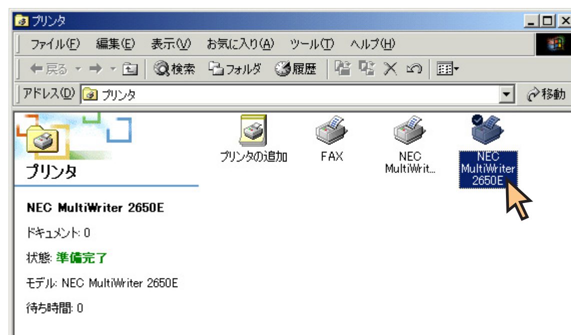
1. ［プリンタ］フォルダーを開く。

［NEC MultiWriter 2650E］アイコンが［プリンタ］フォルダー内に表示されます。（表示されない場合はプリンタードライバーがインストールされていません。ユーザーズマニュアルをご覧になり、プリンタードライバーをインストールしてください。）



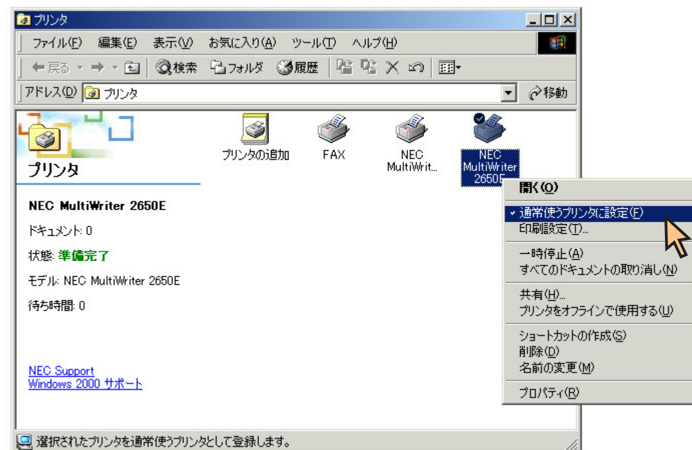
2. ［NEC MultiWriter 2650E］アイコンを右クリックする。

メニューが表示されます。



3. メニューの［通常使うプリンタに設定］をクリックする。

すでに設定されている場合はチェックマークが表示されています。



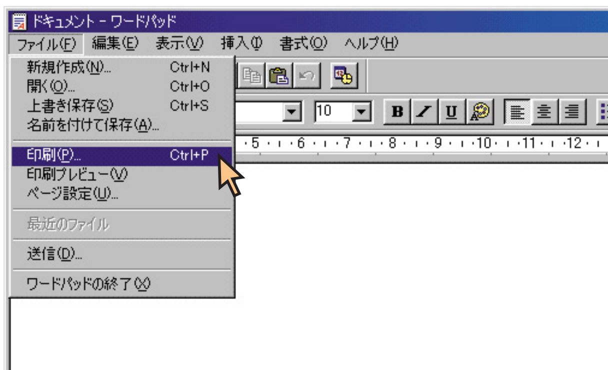
Windows 98/95/NT 4.0の場合

ここでは、Windows 98/95に付属されている日本語ワードプロセッサー「ワードパッド」を例にとって一般的な印刷手順について説明します(Windows NT 4.0の場合は、多少画面の表示が異なります)。任意のワードパッド文書を表示させて次の手順を確認してください。

印刷の手順

1. [ファイル]メニューの[印刷]をクリックする。

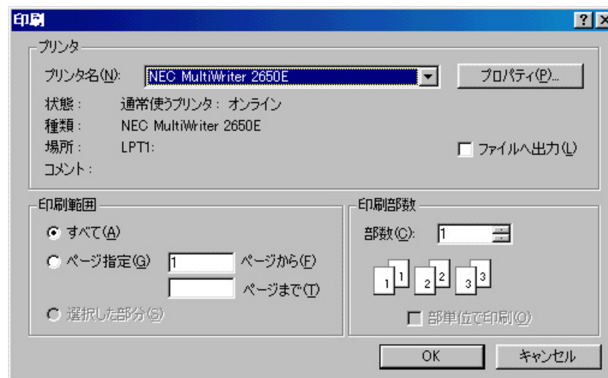
[印刷]ダイアログボックスが開きます。



2. 使用するプリンターとして[NEC MultiWriter 2650E]が選択されていることを確認する。

もし選択されていなければ選択し直します。

選択方法については「プリンターを選択する」を参照してください。

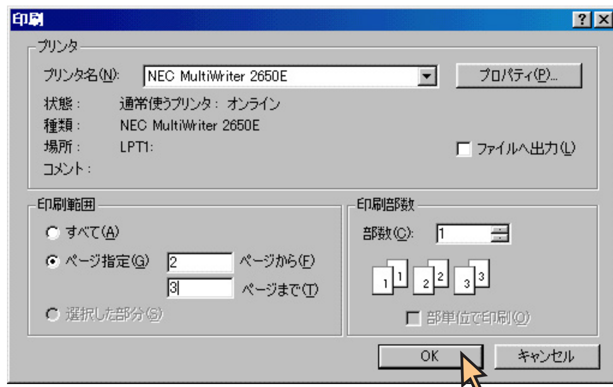


3. 印刷範囲、部数を指定し、[OK]をクリックする。

印刷が開始されます。

用紙サイズなど、さらに詳しい設定をしたい場合は[プロパティ]をクリックし、設定を変更してから[OK]をクリックします。

設定方法の詳細については「プロパティダイアログボックス」を参照してください。



プリンターを選択する

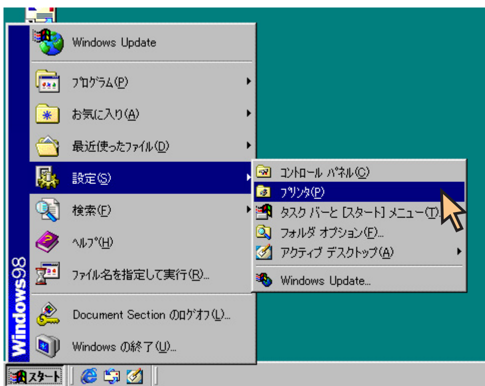
Windows 98/95、Windows NT 4.0から印刷をするために、あらかじめMultiWriter 2650Eを[通常使うプリンタ]として選択しておく方法を説明します。



お使いになっているアプリケーションによっては[プリンタの設定]ダイアログボックスを使ってMultiWriter 2650Eを[通常使うプリンタ]として選択することができます。詳しくはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

1. [プリンタ]フォルダーを開く。

[NEC MultiWriter 2650E]アイコンが[プリンタ]フォルダー内に表示されます。(表示されない場合はプリンタードライバーがインストールされていません。ユーザーズマニュアルをご覧になり、プリンタードライバーをインストールしてください。)



2. [NEC MultiWriter 2650E]アイコンを右クリックする。

メニューが表示されます。



3. メニューの[通常使うプリンタに設定]をクリックする。

すでに設定されている場合はチェックマークが表示されています。



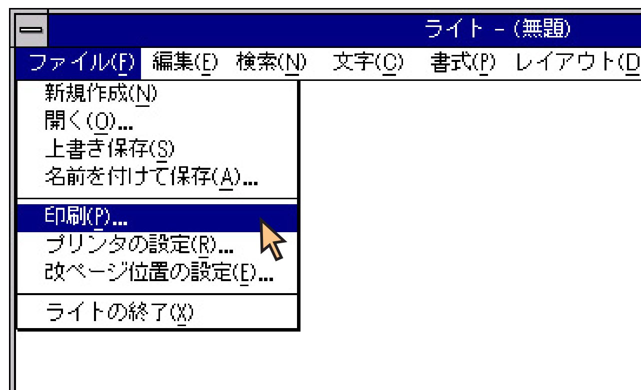
Windows NT 3.51の場合

ここでは、Windows NT 3.51に付属されている日本語ワードプロセッサー「ライト」を例にとって一般的な印刷手順について説明します。任意のライト文書を表示させて次の手順を確認してください。

印刷の手順

1. [ファイル]メニューの[印刷]をクリックする。

[印刷]ダイアログボックスが開きます。



2. [プリンタの設定]をクリックする。

[プリンタの設定]ダイアログボックスが開きます。

3. 使用するプリンターとして[NEC MultiWriter 2650E]が選択されていることを確認する。

もし選択されていなければ選択し直します。

選択方法については「プリンターを選択する」を参照してください。



4. **印刷範囲、部数を指定し、[OK]をクリックする。**

印刷が開始されます。

用紙サイズなど、さらに詳しい設定をしたい場合は[プリンタの設定]をクリックし、設定を変更してから[OK]をクリックします。

設定方法の詳細については「プロパティダイアログボックス」を参照してください。



プリンターを選択する

Windows NT 3.51から印刷をするために、あらかじめMultiWriter 2650Eを[通常使うプリンタ]として選択しておく方法を説明します。

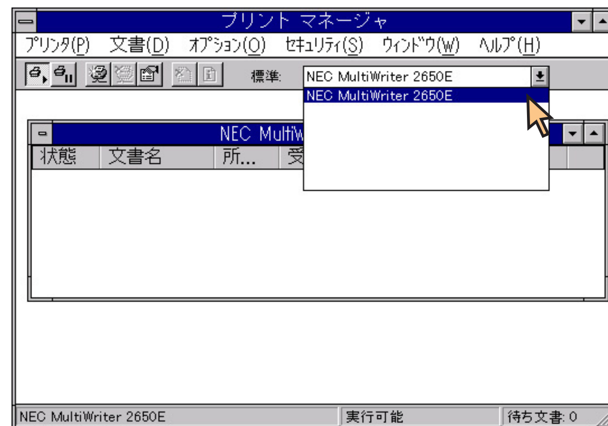


お使いになっているアプリケーションによっては[プリンタの設定]ダイアログボックスを使ってMultiWriter 2650Eを[通常使うプリンタ]として選択することができます。詳しくはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

1. [プリントマネージャ]を開く。



2. ツールバーの[標準：]ボックスから[NEC MultiWriter 2650E]を選ぶ。



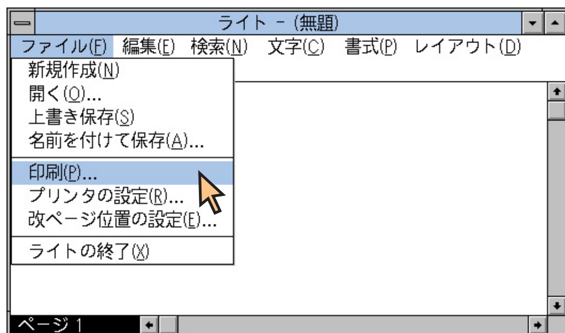
Windows 3.1の場合

ここでは、Windows 3.1に付属されている日本語ワードプロセッサー「ライト」を例にとって一般的な印刷手順について説明します。任意のライト文書を表示させて次の手順を確認してください。

印刷の手順

1. [ファイル]メニューの[印刷]をクリックする。

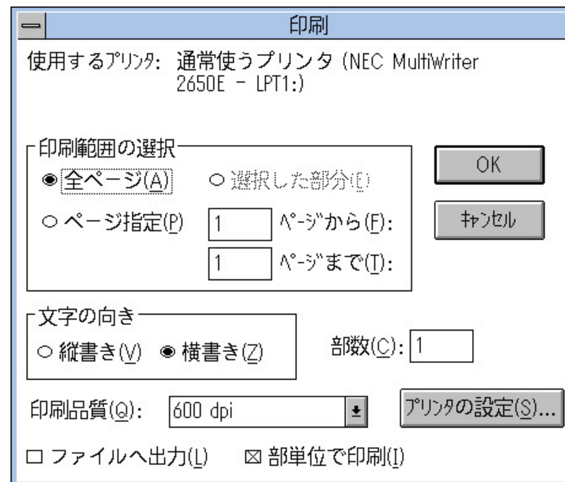
[印刷]ダイアログボックスが開きます。



2. [使用するプリンタ：]として[NEC MultiWriter 2650E]が選択されていることを確認する。

もし選択されていなければ選択し直します。

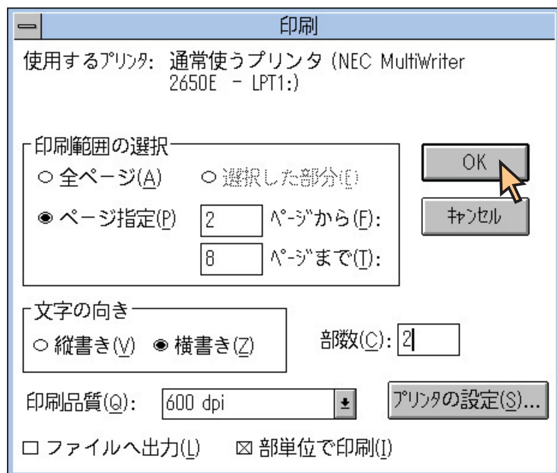
詳細については「プリンターを選択する」を参照してください。



3. **印刷範囲、部数を指定、[OK]をクリックする。**

用紙サイズなど、さらに詳しい設定を変更したい場合は[プリンタの設定]をクリックし、設定を変更してから[OK]をクリックします。

設定方法の詳細についてはダイアログボックスの使い方を参照してください。



プリンターを選択する

Windows 3.1から印刷するために、あらかじめMultiWriter 2650Eを[通常使うプリンタ]として選択しておく方法を説明します。



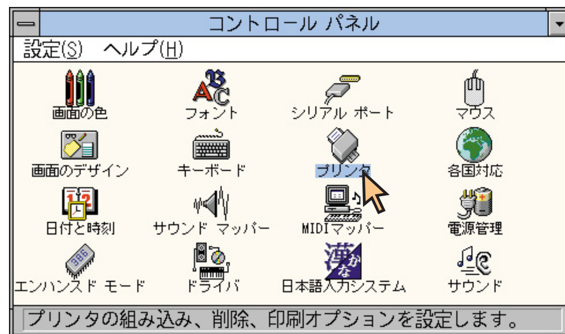
お使いになっているアプリケーションによっては[プリンタの設定]ダイアログボックスを使ってMultiWriter 2650Eを[通常使うプリンタ]として選択することができます。詳しくはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

1. [コントロールパネル]を開く。

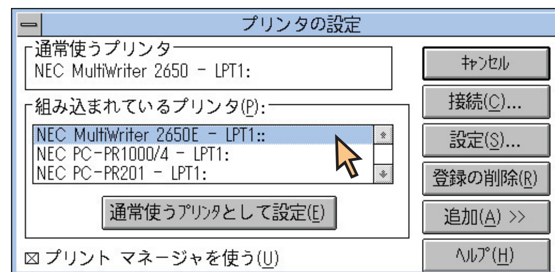


2. [プリンタ]アイコンをダブルクリックする。

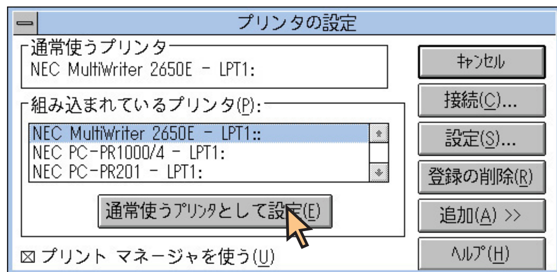
[プリンタの設定]ダイアログボックスが表示されます。



3. [組み込まれているプリンタ]ボックスから[NEC MultiWriter 2650E]をクリックする。



4. [通常使うプリンタとして設定]をクリックする。



プロパティダイアログボックス

MultiWriter 2650/2650E/2250/2050/2200X2/2200XE/2000X2/1400Xでは[プロパティダイアログボックス]と呼ばれる画面を使って印刷の詳細な設定を行います。ここではプロパティダイアログボックスの開き方とダイアログボックスの設定の概要を各OSに分けて説明します。

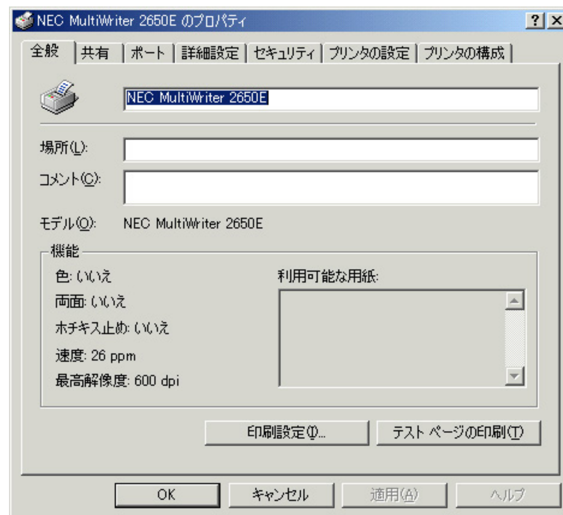
Windows 2000の場合

Windows 2000では、印刷の詳細な設定は以下の2つのプロパティダイアログボックスで行います。
MultiWriter 2650/2250/2200X2/2200XE/2000X2/1400Xは、OS標準のプリンタードライバーをご利用ください。ここではMultiWriter 2650E/2050について説明します。

[プリンタのプロパティ]ダイアログボックス

このダイアログボックスはプリンターのポートや共有などに関する設定を行うものです。次の7枚のプロパティシートで構成されています。このダイアログボックスはアプリケーションのメニューからは表示させることができません。

- [全般]シート
- [共有]シート
- [ポート]シート
- [詳細設定]シート
- [セキュリティ]シート
- [プリンタの設定]シート
- [プリンタの構成]シート

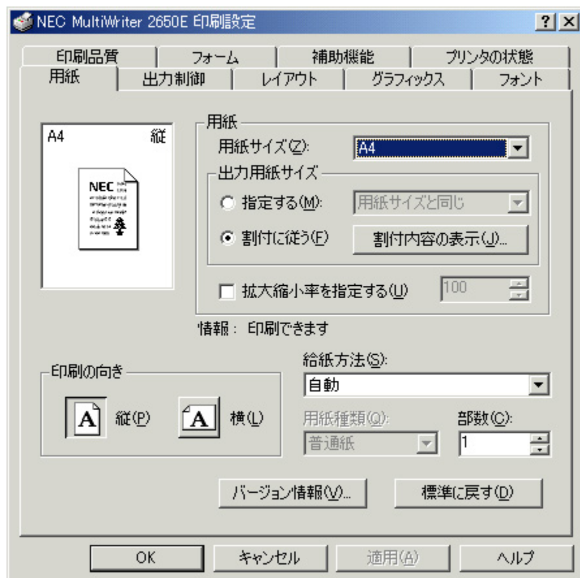


[印刷設定]ダイアログボックス

このダイアログボックスは印刷の詳細な設定を行うものです。次の9枚のプロパティシートで構成されています。

- [用紙]シート
- [出力制御]シート
- [レイアウト]シート
- [グラフィックス]シート
- [フォント]シート
- [印刷品質]シート
- [フォーム]シート
- [補助機能]シート*
- [プリンタの状態]シート

＊　2050には対応していません。



ダイアログボックスの開き方

プロパティダイアログボックスを開く方法は次の2通りあります。

- **アプリケーションのメニューから開く方法**

  一般的にダイアログボックスの設定は、そのアプリケーションでのみ有効となります。また用紙の設定の項目など表示できないことがあります。アプリケーションから呼び出せるのは印刷の設定を行う[印刷設定]ダイアログボックスだけです。

- **デスクトップ上の[スタート]を使って開く方法**

  ダイアログボックスの設定は[印刷設定]、[プリンタのプロパティ]ともにすべてのアプリケーションでの基本設定になります。

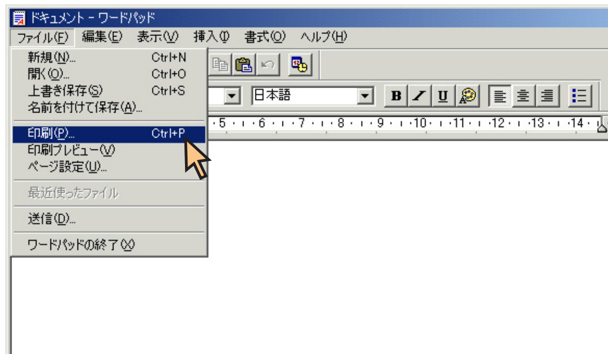
アプリケーションから開く

アプリケーションから[印刷設定]ダイアログボックスを開く場合、[ファイル]メニューの[印刷]コマンドか[プリンタの設定]コマンドを使います。（このコマンドはほとんどの場合[ファイル]メニューの中にありますが、[ファイル]メニューの構成はアプリケーションによって異なります。詳しくはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。）

ここではWindows 2000に付属されている日本語ワードプロセッサー「ワードパッド」を例にとって、[印刷設定]ダイアログボックスを開く手順を説明します。任意のワードパッド文書を表示させて次の手順を確認してください。

1. ［ファイル］メニューの［印刷］をクリックする。

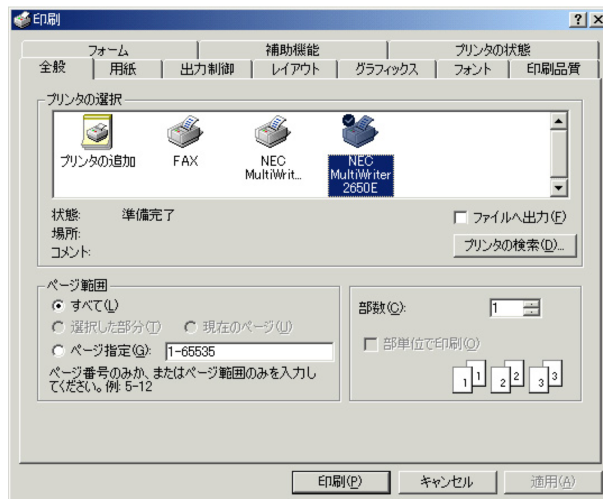
［印刷］ダイアログボックスが開きます。



このような［印刷］ダイアログボックスが表示されます。

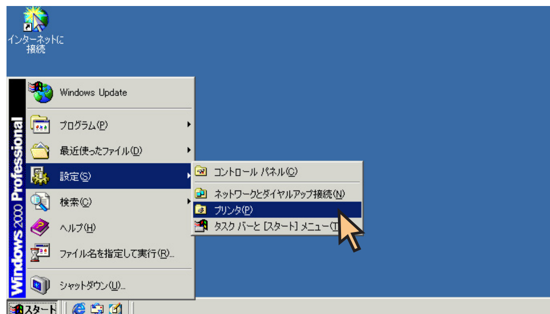
タブをクリックすることにで各シートを開くことができます。

各プロパティシートについては、「設定の概要（印刷設定）」を参照してください。



[スタート]を使って開く

1. [プリンタ]フォルダーを開く。

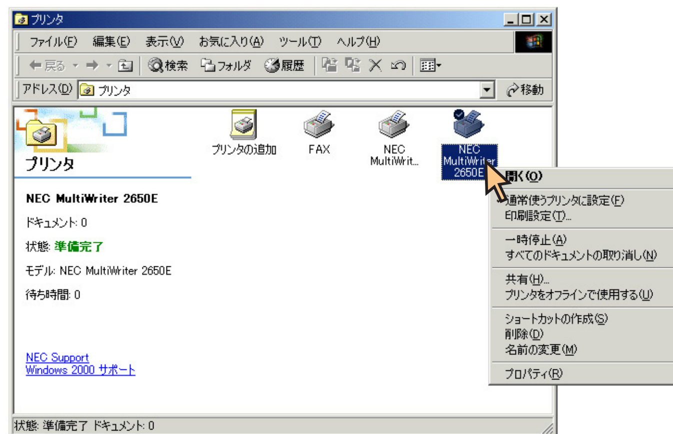


2. [NEC MultiWriter 2650E] アイコンを右クリックする。

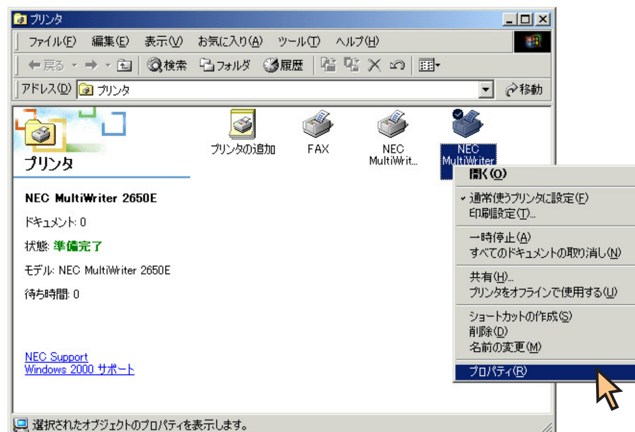
プリンターのアイコンが選択され、メニューが表示されます。

このメニューから2つのプロパティダイアログボックスが開きます。

[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスを開きたい場合は手順3へ、[印刷設定]ダイアログボックスを開きたい場合は手順４へ進みます。

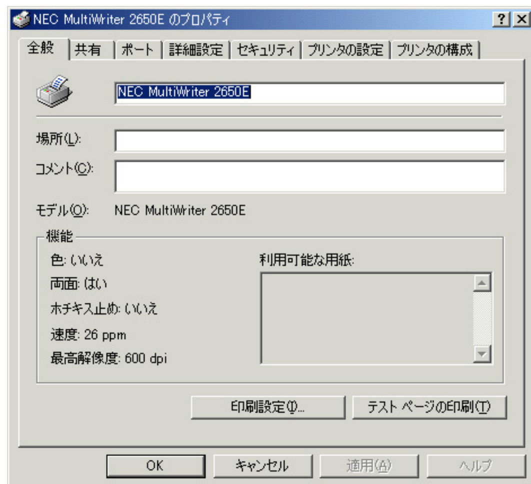


3. [プロパティ]をクリックして、[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスを開く。

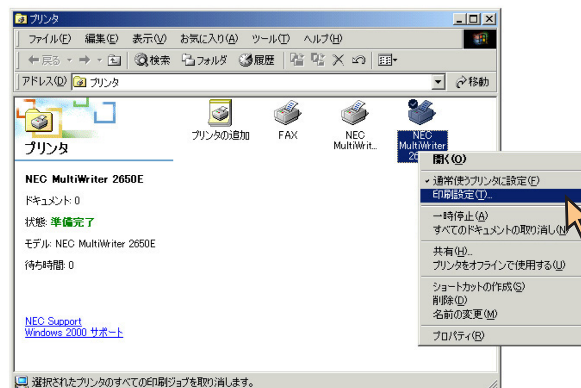


このような[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。

各プロパティシートについては、「設定の概要(プリンタのプロパティ)」を参照してください。

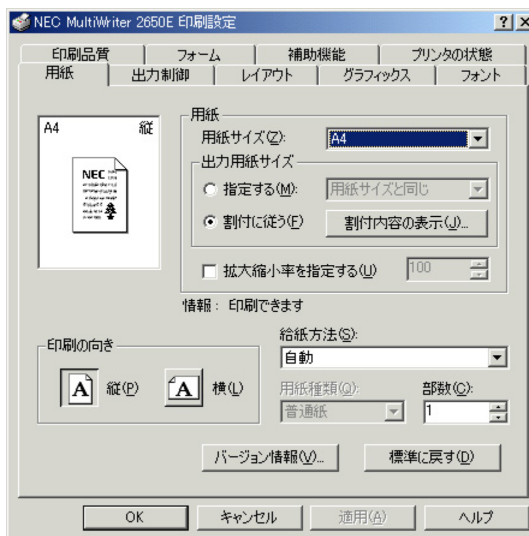


4. [印刷設定]をクリックして、[印刷設定]ダイアログボックスを開く。



このような[印刷設定]ダイアログボックスが表示されます。

各プロパティシートについては、「設定の概要(印刷設定)」を参照してください。



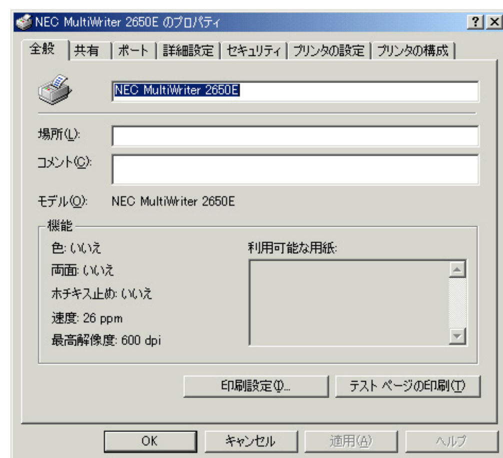
設定の概要(プリンタのプロパティ)

[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスの概要をプロパティシートごとに説明します。詳細は各プロパティシート上のそれぞれの項目の上で右クリックすることによりヘルプでも説明されています。

[全般]シート

このプロパティシートはあらかじめ入力されたプリンターについてのコメントなどを表示・設定します。Windows 2000 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。

通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。詳しくはWindows 2000 日本語版のヘルプをご覧ください。



[共有]シート

このプロパティシートはWindows 2000 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。

プリンターを共有するときの設定を行うシートです。詳しくはWindows 2000 日本語版のヘルプをご覧ください。

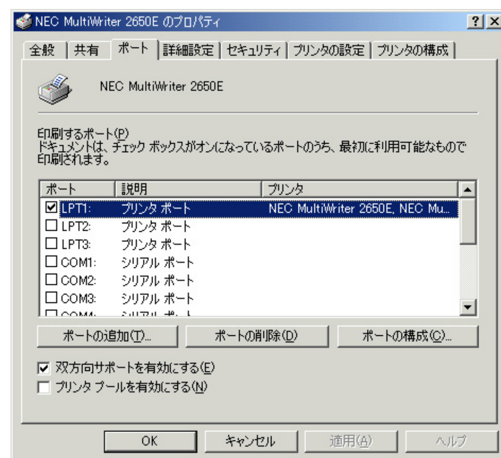


[ポート]シート

このプロパティシートはWindows 2000 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。

PrintAgentを使用する場合は、[双方向サポートを有効にする]がチェックされている必要があります。

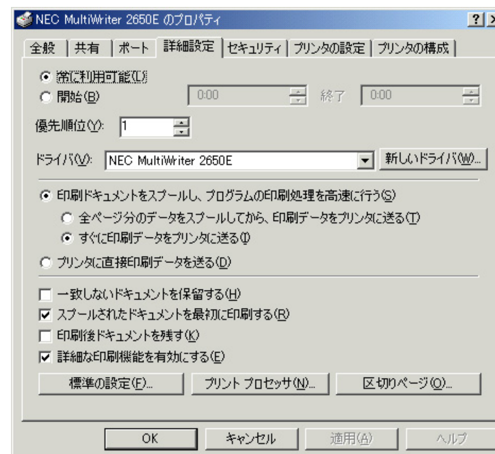
通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。詳しくはWindows 2000 日本語版のヘルプをご覧ください。



[詳細設定]シート

このプロパティシートはWindows 2000 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。

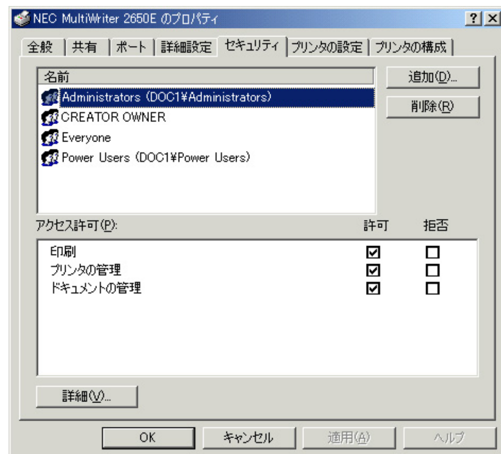
通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。詳しくはWindows 2000 日本語版のヘルプをご覧ください。



[セキュリティ]シート

このプロパティシートはWindows 2000 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。

通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。詳しくはWindows 2000 日本語版のヘルプをご覧ください。

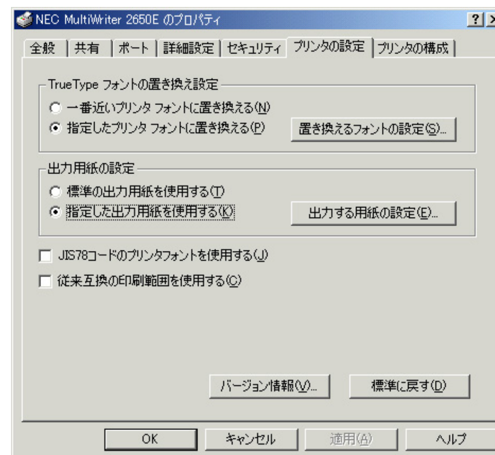


[プリンタの設定]シート

このプロパティシートは以下のプリンターの設定を行います。

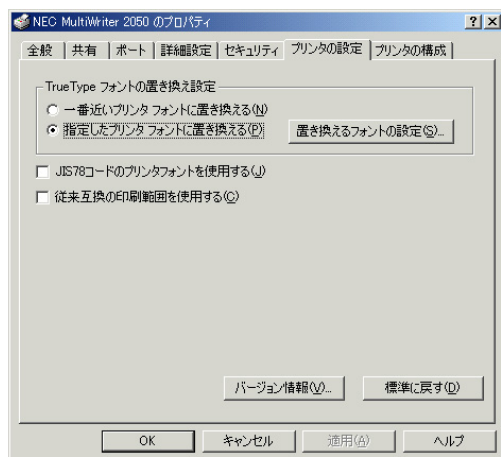
【MultiWriter 2650Eの場合】

- TrueTypeフォントの置き換え設定
- 出力用紙の設定
- JIS78コードのプリンタフォントを使用する/しない
- 従来互換の印刷範囲を使用する/しない



【MultiWriter 2050の場合】

- TrueTypeフォントの置き換え設定
- JIS78コードのプリンタフォントを使用する/しない
- 従来互換の印刷範囲を使用する/しない



「TrueTypeフォントの置き換え設定」

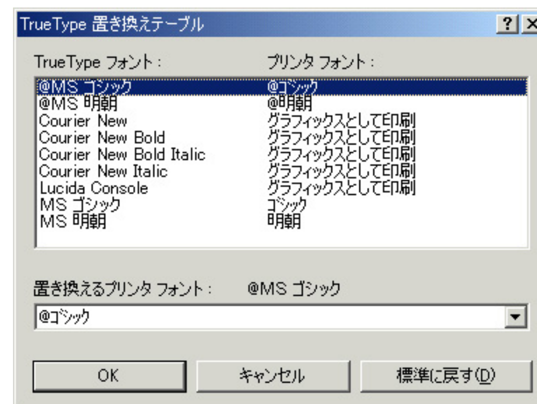
TrueTypeフォントの置き換え方法を設定することができます。

- 一番近いプリンタフォントに置き換える
  アプリケーションから送られたTrueTypeフォントを書体が似ているプリンターフォントに置き換えます。

- 指定したプリンタフォントに置き換える
  アプリケーションから送られたTrueTypeフォントを[置き換えるフォントの設定]によって設定したプリンターフォントに置き換えます。

[置き換えるフォントの設定]

このダイアログボックスを使って置き換えるプリンターフォントを設定します。それぞれフォントを選択し、置き換えるフォントから置き換えたいフォントを選んで[OK]をクリックすることで置き換えが設定されます。
[標準に戻す]をクリックするとフォントの置き換えに関する設定を標準設定に戻すことができます。



「出力用紙の設定」(2650E)

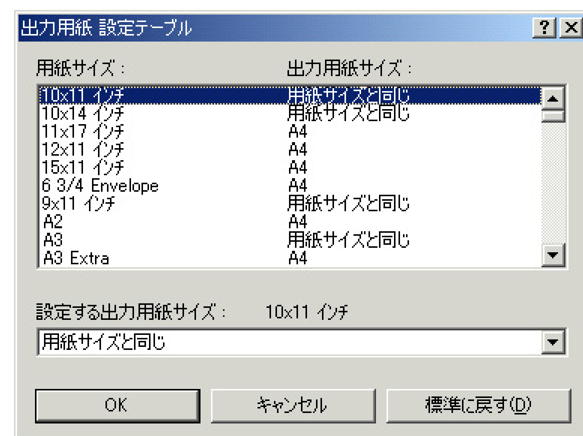
以下の項目から出力用紙を設定することができます。

- **標準の出力用紙を使用する**
  ドライバーの定義する出力用紙の設定を使用します。使用可能なサイズはそのまま出力用紙サイズとし、使用不可能なサイズの用紙の場合は出力用紙サイズにA4用紙が割り当てられます。

- **指定した出力用紙を使用する**
  任意の出力用紙サイズを設定します。設定は[出力する用紙の設定]をクリックすると表示される[出力用紙設定テーブル]で行います。

[出力する用紙の設定](2650E)

このダイアログボックスを使って出力する用紙のサイズを設定します。それぞれのサイズを選択して[OK]をクリックすることで割り付けが設定されます。
[標準に戻す]をクリックすると標準の組み合わせに戻すことができます。



「JIS78コードのプリンタフォントを使用する」

チェックボックスをチェックするとプリンターフォントをJIS78コードで印刷します。

「従来互換の印刷範囲を使用する」

印刷範囲をMultiWriter 2400X/2200NW2など、MultiWriter 2000X以前のMultiWriterシリーズのプリンターと同じ印刷範囲に設定する場合に選択します。

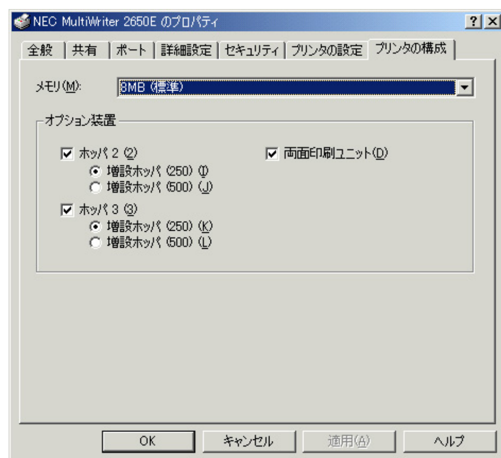
[バージョン情報]

クリックすると本プリンタードライバーのバージョン情報が表示されます。

[プリンタの構成]シート

このプロパティシートはプリンターの構成を表示・設定するものです。プリンターとコンピューターとの間で双方向通信が行われているとき、プリンターに装着されているメモリー、オプション装置が表示されます。双方向通信ができない場合はそれぞれ表示される項目から装着されているものをクリックして選択し、プリンターの構成を設定します。

MultiWriter 2650E/2050の場合、両面印刷ユニットはオプションのため、[プリンタの構成]シートに[オプション装置]として表示されます。



設定の概要(印刷設定)

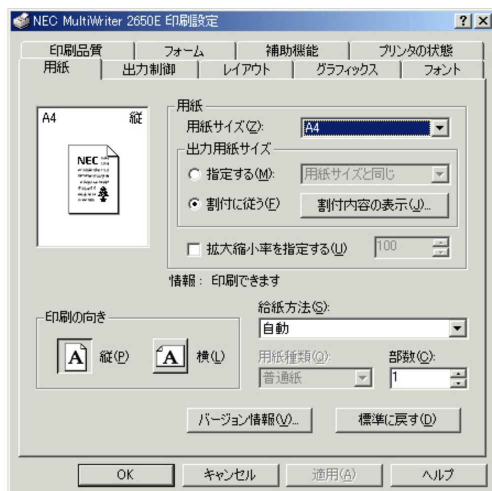
[印刷設定]ダイアログボックスの概要をプロパティシートごとに説明します。詳細は各プロパティシート上のそれぞれの項目の上で右クリックすることによりヘルプでも説明されています。

[用紙]シート

このプロパティシートは以下の用紙に関する設定を行います。

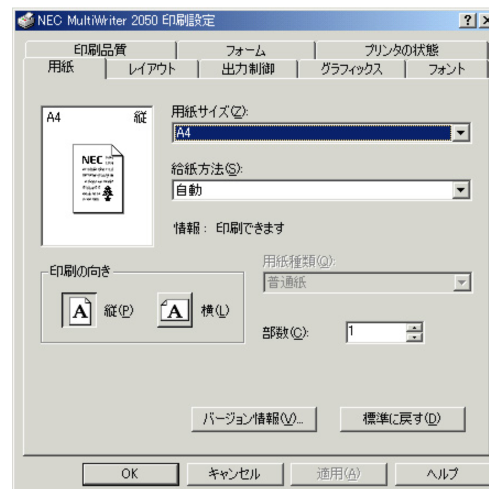
【MultiWriter 2650Eの場合】

- 用紙サイズ
- 出力用紙サイズ
- 拡大縮小率
- 印刷の向き
- 給紙方法
- 用紙種類
- 部数



【MultiWriter 2050の場合】

- 用紙サイズ
- 給紙方法
- 印刷の向き
- 用紙種類
- 部数



「用紙サイズ」

印刷する用紙サイズ、縮小・拡大サイズを選択できます。



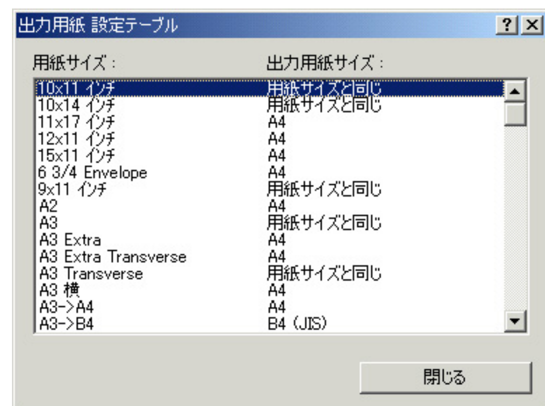
> アプリケーションによっては[A3→A4]などの縮小・拡大が正しく印刷されないものがあります。

「出力用紙サイズ」(2650E)

原稿を実際に印刷する用紙サイズを選択します。

- **指定する**
  サポートするすべての用紙サイズに対して共通の出力用紙サイズを割り付ける場合に選択します。コンボボックスから用紙サイズを選択します。

- **割付に従う**
  [プリンタの設定]シートの[出力用紙の設定]で設定した内容に従って割り付けられた出力用紙で印刷されます。
  [割付内容の表示]をクリックして以下のダイアログを表示させて、現在の出力用紙の割り付け内容の確認ができます。



「拡大縮小率を指定する」(2650E)

文書を印刷する際の拡大縮小率を設定します。10%～400%の範囲で設定が可能です。

「印刷の向き」

ページを縦長(ポートレート)か横長(ランドスケープ)で印刷するかを設定します。枠内の用紙ボタンをクリックして選択します。



> [用紙サイズ]で[LP→A4]、[LP→B4]が設定されている場合、[縦]は設定できません。

「給紙方法」

給紙先(ホッパー/トレー)をコンボボックスから選択します。コンボボックスには使用できる給紙方法が表示されます。自動にしておくと、選択されている用紙サイズがセットされているホッパーから自動的に給紙されます。



> [用紙サイズエラーを検出する]をチェックしていない場合[用紙]シートの[給紙方法]で[自動]を選択しても[トレー]からの給紙を行いません。[トレー]からも給紙を行いたいときは[用紙サイズエラーを検出する]をチェックしてください。ただしプリンター操作パネルで[トレー]が設定されている場合は、[給紙方法]が[自動]でも[用紙サイズエラーを検出する]のチェックにかかわらず、トレーから給紙されます。

「用紙種類」

[給紙方法]が[トレー]のときのみ、用紙の種類を[普通紙]、[厚紙]、[OHP]の3種類から選択できます。[トレー]以外のときは[普通紙]のみとなり、選択することができません。

「部数」

印刷時の部数(コピー部数)を指定することができます。1〜99部まで設定可能です。



チェック

> アプリケーションの印刷機能で部数を設定できる場合があります。アプリケーション側で設定できる場合は、アプリケーション側で設定するようにしてください。

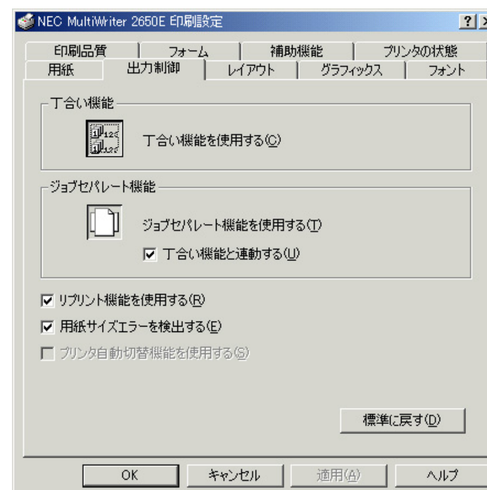
[バージョン情報]

クリックすると本プリンタードライバーのバージョン情報が表示されます。

[出力制御]シート

このプロパティシートは出力制御に関する以下の設定を行います。

- 丁合い機能
- ジョブセパレート機能
- リプリント機能
- 用紙サイズエラーを検出する／しない
- プリンタ自動切替機能



「丁合い」

複数の部数を指定した場合、丁合いの有無が有効になります。ジョブセパレート機能と組み合わせて使用することによって、ソーター機能を実現することができます。

本機能は、[ポート]シートで[双方向サポートを有効にする]が選択されていないとご使用になれません。



アプリケーションの印刷機能で「丁合い」の指定ができる場合がありますが、アプリケーションによっては、プリンターの丁合い機能を使用せずに、アプリケーション独自の機能で丁合い印刷を実現している場合があります。このような場合には、アプリケーションの丁合い機能は使用せずに、プリンターのプロパティで「丁合い」を設定してください。

Windows 2000では、クライアント・サーバーシステムにおいて「丁合い」の設定をご使用になるためには、クライアント、サーバー両者にPrintAgentのインストールが必要です。さらに、PrintAgentのプロパティにおいて、クライアントでは[共有プリンタを利用する]を、サーバーでは[共有プリンタを提供する]をチェックしておく必要があります。

「ジョブセパレート機能を使用する」

ジョブセパレート機能を使用するかしないかを切り替えます。ジョブセパレート機能とは、文書を印刷実行した単位で、縦横に置き分けてスタッカーに排出する機能です。詳細についてはユーザーズマニュアルをご覧ください。

● 丁合い機能と連動する
  チェックボックスをチェックするとジョブセパレート機能と丁合い機能を連動して印刷することができます。



本機能はプリンター本体のいずれかのホッパーまたはトレーにA4用紙を縦、横にセットしておく必要があります。
[用紙サイズ]にA4用紙(＊＊→A4を含む)が設定されていない場合や[給紙方法]に[自動]が設定されていない場合は、ジョブセパレート機能はグレー表示され使用できません。

「リプリント機能を使用する」

リプリント機能を使用するかしないかを選択します。リプリント機能とは一度印刷した文章をアプリケーションから再び印刷を実行することなく、再印刷を行う機能です。詳細についてはユーザーズマニュアルをご覧ください。



本機能は、片方向通信時等でリプリント機能が使用できない場合、またはプリンターが自動切替用としてインストールされている場合は、グレー表示され使用できません。

「用紙サイズエラーを検出する」

チェックボックスをチェックすると、トレーから給紙する際に設定されている用紙サイズと異なる用紙を吸入すると用紙サイズエラーを検出します。



本機能は、[出力用紙サイズ]コンボボックスで[ユーザ定義]を指定した場合はグレー表示され使用できません。

[用紙サイズエラーを検出する]をチェックしていない場合[用紙]シートの[給紙方法]で[自動]を選択しても[トレー]からの給紙を行いません。[トレー]からも給紙を行いたいときは[用紙サイズエラーを検出する]をチェックしてください。ただしプリンター操作パネルで[トレー]が設定されている場合は、[給紙方法]が[自動]でも[用紙サイズエラーを検出する]のチェックにかかわらず、トレーから給紙されます。

「プリンタ自動切替機能を使用する」

プリンター自動切り替え用としてインストールした場合に、チェックボックスをチェックすると、グルーピングされた各プリンターに印刷文書を自動分配します。



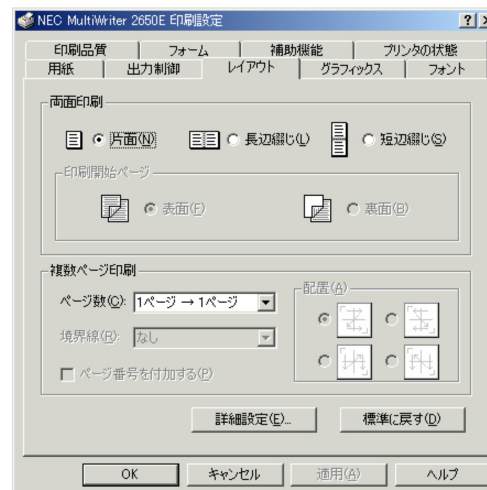
本機能は、プリンターが自動切り替え用としてインストールされていない場合は、グレー表示され使用できません。

[レイアウト]シート

このプロパティシートは以下のレイアウトに関する設定を行うものです。

【MultiWriter 2650Eの場合】

- 両面印刷
- 複数ページ印刷
- 印刷位置の調整(詳細設定)



【MultiWriter 2050の場合】

- 両面印刷
- 印刷位置の調整(詳細設定)



「両面印刷」

両面印刷するかどうか、および両面印刷する場合の綴じ方を設定します。



[用紙]シートの[用紙サイズ]で[はがき]、[往復はがき]、[封筒洋形4号]が選択されている場合や、[用紙種類]で[厚紙]、[OHP]が選択されている場合には、両面印刷はできません。



MultiWriter 2650E/2050で両面印刷を行うには両面印刷ユニット(型番：PR-L2000X2-DL)をプリンターに装着する必要があります。

- 印刷開始ページ
  両面印刷する場合に、先頭ページを用紙の表面から印刷するか裏面から印刷するかを選択します。両面印刷が選択されていない場合はグレー表示となり使用できません。

「複数ページ印刷」(2650E)

● ページ数
コンボボックスで複数のページ印刷を選択すると、選択したページ数分を用紙の一面に縮小印刷します。選択できるページ数は1、2、4、6、8、9、16です。

● 境界線
コンボボックスから境界線を選択できます。複数ページ印刷以外はグレー表示され使用できません。

● 配置
複数ページ印刷の並び方を選択できます。[2ページ→1ページ]の場合は[左→右]、[右→左]または[上→下]、[下→上]の2通り。[4ページ→1ページ]、[6ページ→1ページ]、[8ページ→1ページ]、[9ページ→1ページ]、[16ページ→1ページ]の場合は[Z型]、[逆Z型]、[N型]、[逆N型]から選択できます。複数ページ印刷以外はグレー表示され使用できません。

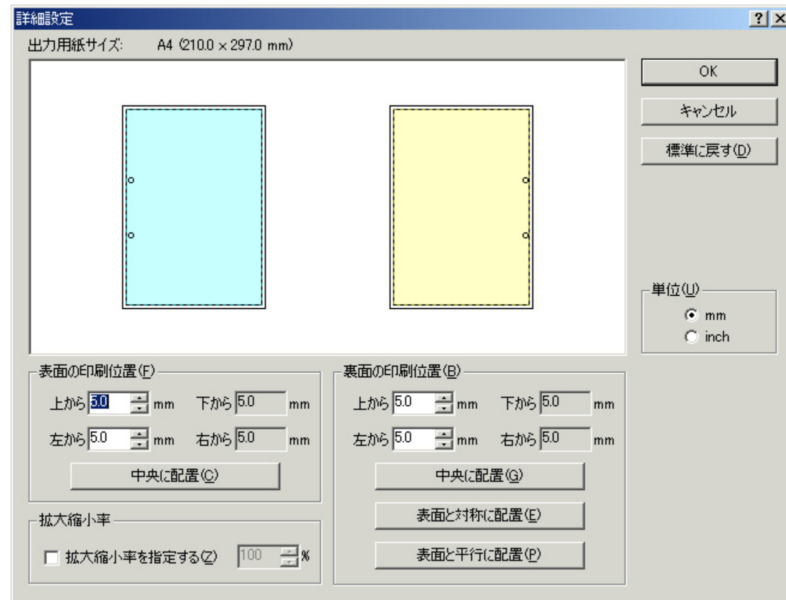
● ページ番号を付加する
チェックボックスをチェックするとページ番号が付加されます。複数ページ印刷以外はグレー表示され使用できません。

「詳細設定」

このボタンをクリックすると以下の[詳細設定]ダイアログボックスが開き、印刷位置や拡大縮小率を設定できます。



本機能は、以下の場合以外はいつでも有効で両面印刷などの印刷機能と組み合わせることができます。
- [フォーム]シートでフォーム印刷を設定している。
- [用紙]シートの[用紙サイズ]で[＊＊→＊＊]の用紙を選択している。



● [中央に配置]
ボタンをクリックすると印刷範囲枠が用紙の中央に配置されます。

● [表面と対称に配置]
両面印刷の場合、裏面設定のみの機能です。ボタンをクリックすると印刷範囲枠が綴じ辺を軸にして表面と対称の位置に配置されます。

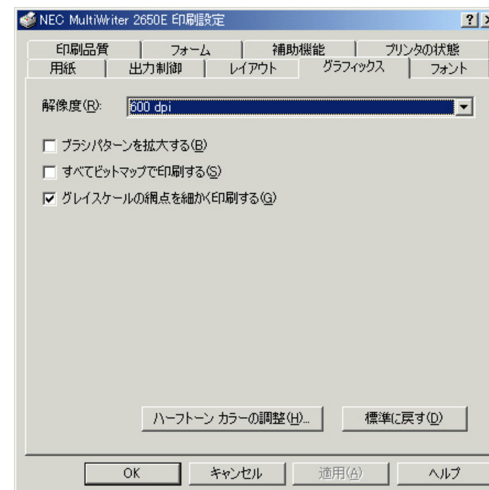
● [表面と平行に配置]
両面印刷の場合、裏面設定のみの機能です。ボタンをクリックすると印刷範囲枠が表面と同じ位置に配置されます。

● 「拡大縮小率」(2650E)
本設定項目は[用紙]シートの[拡大縮小率]と連動しています。動作条件も同様です。また用紙レイアウト表示ウィンドウでマウス操作によって印刷範囲の大きさを変更した場合も、それに連動して表示されている数値が変更されます。
10%〜400%の範囲で設定が可能です。

[グラフィックス]シート

このプロパティシートは印刷解像度やグラフィックスデータに対するプリンターの処理の設定を行うものです。以下の設定が可能です。

- 解像度
- ブラシパターンを拡大して印刷
- 印刷データ全体をビットマップで印刷
- グレイスケールの網点を細かくして印刷
- ハーフトーン カラーの調整



「解像度」

解像度を600dpi、400dpi、300dpi、240dpi、200dpiから選択できます。

「ブラシパターンを拡大する」

解像度に合わせてブラシパターンの大きさを変える機能です。拡大率は設定されている解像度によって異なります。240dpiではこの設定は無効です。またアプリケーションによっては効果がないことがあります。

- 600dpi→300%(3倍拡大)
- 400dpi→200%(2倍拡大)
- 300dpi→300%(3倍拡大)
- 240dpi→100%(拡大しない)
- 200dpi→200%(2倍拡大)

「すべてビットマップで印刷する」

コンピューター側で文字、図形などをすべてビットマップ処理します。複雑な図形が多いドキュメントが高速に印刷できます。

「グレイスケールの網点を細かく印刷する」

グレースケールのパターンを細かく印刷します。グレーの濃淡を白地に黒いドットで作られたパターンで表現する際に、パターンの繰り返し周期が短くなります。



本設定は解像度に600dpiが設定されているときのみ有効で、その他の場合はグレー表示され使用できません。

[ハーフトーン カラーの調整]

クリックするとこのダイアログボックスが表示され、ハーフトーンの設定を行います。





設定できる項目はプリンターによって異なります。カラー印刷に適用される項目はMultiWriterシリーズのようなモノクロプリンターでは無効です。

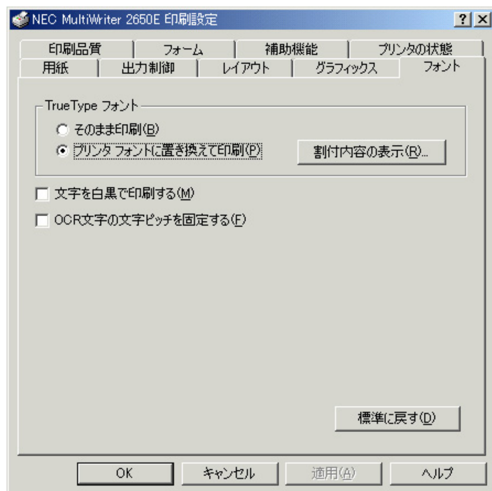
- 「測光用の光」
  照度を調整して、イメージの表示を調整します。
- 「コントラスト」
  明暗の色調の差を調整することができます。
- 「明るさ」
  光の輝度を調整することができます。
- 「色」
  色の鮮やかさを調整することができます。
- 「濃淡」
  色合いを調整することができます。
- 「暗い色」
  露出過度のグラフィックを調整することができます。
- 「反転」
  色を反転することができます。

- 「RGBガンマの入力」
  入力イメージの明るさのアンバランスを修正することができます。赤、緑、青をまとめて調整するときは、それぞれのチェックボックスをオンにします。個別に調整するときはそれぞれのチェックボックスをオフにします。[リニア]チェックボックスをオンにすると入力イメージに等しい明るさを設定できます。
- 「黒/白の混合率」
  モノクロの混合率により、イメージの最も暗い点から明るい点までの範囲を設定することができます。
- 「テストパターン」
  参照色またはグラフィックを選択することができます。
- 「表示」
  テストパターンで選択した参照色またはグラフィックを表示させます。
- 「最大化」
  フルスクリーンを使ってグラフィックを表示させせます。
- 「パレット」
  グラフィックのカラーパレットを表示させせます。
- 「スケール」
  グラフィックを元の比率で表示させせます。
- 「Xフリップ」
  イメージを水平軸に沿って反転させせます。
- 「Yフリップ」
  イメージを垂直軸に沿って反転させせます。
- [既定値]
  クリックするとダイアログボックスの設定を標準の値に戻します。
- [戻す]
  クリックするとダイアログボックスの設定を、ダイアログボックスが表示されたときの状態に戻します。
- [開く]
  クリックするとグラフィックファイルを選択することができます。
- [名前を付けて保存]
  クリックすると開いたグラフィックファイルを保存します。

[フォント]シート

このプロパティシートはフォントに関する以下の設定を行うものです。

- TrueTypeフォントの置き換え方法
- 文字を白黒で印刷する/しない
- OCR文字の文字ピッチ固定



「TrueTypeフォント」

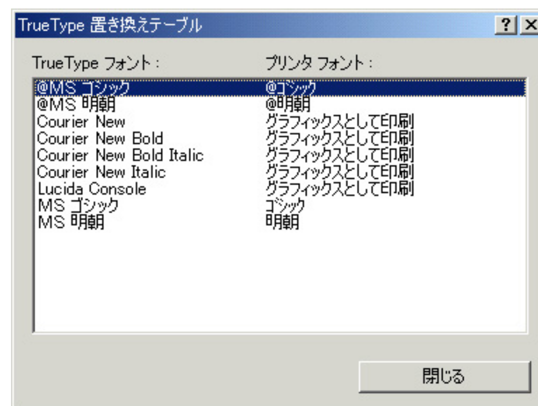
TrueTypeフォントの置き換え方法を設定することができます。

- **そのまま印刷**
  アプリケーションから送られたTrueTypeフォントイメージをそのままビットマップで印刷します。

- **プリンタフォントに置き換えて印刷**
  アプリケーションから送られたTrueTypeフォントを[割付内容の表示]によって表示されるテーブルに従ってプリンターフォントに置き換えます。

[割付内容の表示]

クリックすると[TrueType置き換えテーブル]を表示します。



「文字を白黒で印刷する」

チェックボックスをチェックすると文字の色を、グレースケールを使わずに、白か黒のどちらかで印刷します。

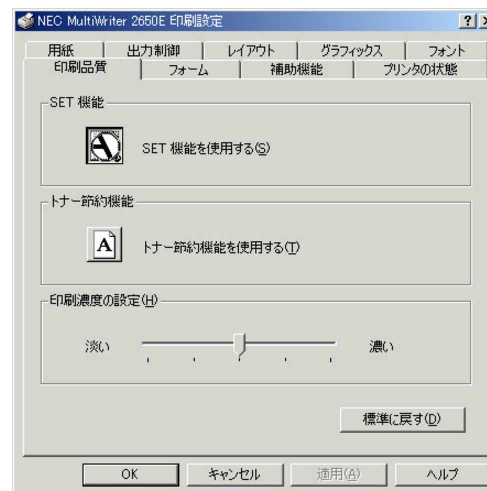
「OCR文字の文字ピッチを固定する」

チェックボックスをチェックするとOCR文字列を強制的にJISで定められた文字ピッチに固定して印刷します。

[印刷品質]シート

このプロパティシートは印刷品質に関する以下の設定を行うものです。

- SET機能
- トナー節約機能
- 印刷濃度の設定



「SET機能」

SET機能を使用するかしないかを選択します。SET機能を使用するとテキストやグラフィックのエッジのギザギザをなくし、画質を向上させることができます。

「トナー節約機能」

トナー節約モードを使用するかしないかを切り替えます。



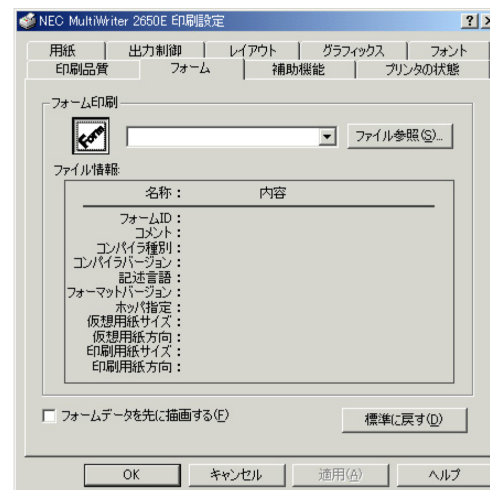
トナー節約機能を使用すると、細い線、濃度の薄い印刷、網かけおよびグラデーションが不鮮明になることがあります。本機能は試し印刷などにご使用ください。

「印刷濃度の設定」

印刷濃度を5段階の中からスライダーで設定します。

[フォーム]シート

このプロパティシートの設定はフォーム印刷を利用する場合にフォーム印刷に関する設定を行うものです。フォーム印刷とは見出し文字や罫線枠などのフォームデータを文書データと重ね合わせて印刷することです。フォームデータを作成するには別売のアプリケーションが必要です。



「フォーム印刷」

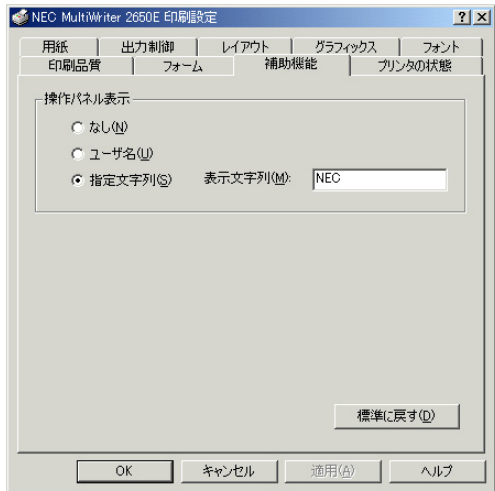
フォーム印刷をする場合、[ファイル]コンボボックスから使用したいフォームファイルを選びます。コンボボックスに希望のファイルがない場合は[ファイル参照]をクリックして他の場所のファイルを参照することができます。

「フォームデータを先に描画する」

フォーム印刷を行う場合、フォームデータを文書データの上に描画するかどうかを選択します。

[補助機能]シート(2650E)

このプロパティシートは印刷時にプリンターの操作パネルの下段に表示する文字列を設定します。



「操作パネル表示」

- **なし**
  プリンターの操作パネルの下段には何も表示しません。

- **ユーザ名**
  ネットワーク上にログインしたときのユーザー名が操作パネルの下段に表示されます。[ユーザ名]をチェックすると[表示文字列]テキストボックスでユーザー名が確認できます。

- **指定文字列**
  プリンターの操作パネルの下段に[表示文字列]に入力した文字列が表示されます。

- **表示文字列**
  プリンターの操作パネルの下段に表示される文字列です。[指定文字列]を選択した場合は、16文字まで入力可能になります。入力可能な文字については以下の表を参照してください。[ユーザ名]を選択した場合は、ユーザー名が表示されます。
  [ユーザ名]に入力可能な文字以外の文字が設定されている場合、[なし]が選択されます。

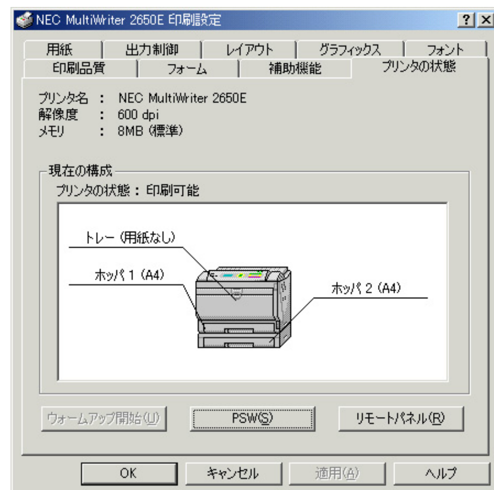
[表示文字列]に入力可能な文字一覧(スペースを含む)

	!	#	$	%	&	‘	(	)	=
-	'	^	|	¦	@	{	[	+	;
*	:	}	]	<	,	>	.	?	/
_									
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z				
a	b	c	d	e	f	g	h	i	j
k	l	m	n	o	p	q	r	s	t
u	v	w	x	y	z				
ｱ	ｲ	ｳ	ｴ	ｵ	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ
ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ	ﾀ	ﾁ	ﾂ	ﾃ	ﾄ
ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ
ﾏ	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	ﾔ	ﾕ	ﾖ	ﾗ	ﾘ
ﾙ	ﾚ	ﾛ	ﾜ	ｦ	ﾝ	ｧ	ｨ	ｩ	ｪ
ｫ	ｬ	ｭ	ｮ	ｯ	ﾞ	ﾟ	ｰ	｢	｣
､	｡	･							

半角文字のみ入力可能です。

[プリンタの状態]シート

このプロパティシートは現在のプリンターの状態を表示するものです。



[ウォームアップ開始]

クリックするとプリンターのウォームアップを開始します。
印刷を開始する前に[ウォームアップ開始]をクリックしておくと、あらかじめプリンターのウォームアップが開始され、ウォームアップによる待ち時間が少なくなります。

[プリンタステータスウインドウ(PSW)]

クリックするとプリンタステータスウィンドウが起動します。

[リモートパネル]

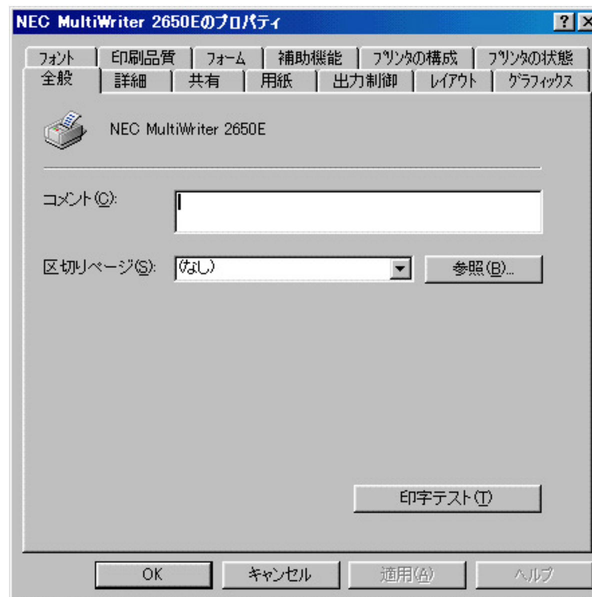
クリックするとリモートパネルが起動します。詳細についてはユーザーズマニュアルを参照してください。

Windows 98/95の場合

Windows 98/95では、印刷の詳細設定はプロパティダイアログボックスで行います。

[プロパティ]ダイアログボックス

この[プロパティ]ダイアログボックスは次のようなプロパティシートで構成されています。



- [全般]シート*1
- [詳細]シート
- [共有]シート
- [用紙]シート
- [出力制御]シート*2
- [レイアウト]シート
- [グラフィックス]シート
- [フォント]シート
- [印刷品質]シート
- [フォーム]シート
- [補助機能]シート
- [プリンタの構成]シート
- [プリンタの状態]シート

*1　お使いのシステムによっては[情報]シートと表示されることがあります。

*2　2200X2/2200XE/2000X2/1400Xには対応していません。

[プロパティ]ダイアログボックスを開く

[プロパティ]ダイアログボックスを開く方法は次の2通りあります。

- **アプリケーションのメニューから開く方法**

  一般的にダイアログボックスの設定は、そのアプリケーションでのみ有効となります。また用紙の設定の項目などが表示できないことがあります。

- **デスクトップ上の[スタート]を使って開く方法**

  ダイアログボックスの設定はすべてのアプリケーションでの基本設定になります。

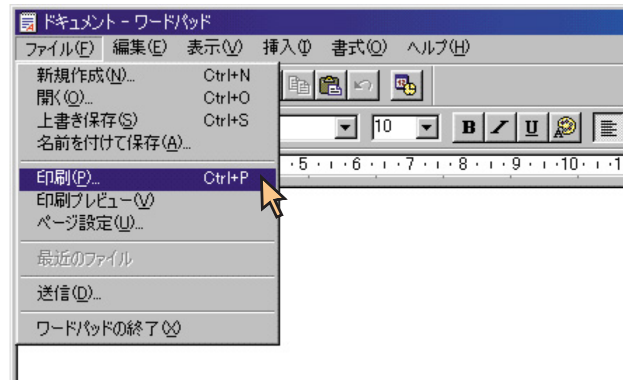
アプリケーションから開く

アプリケーションから[プロパティ]ダイアログボックスを開く場合、[ファイル]メニューの[印刷]コマンドか[プリンタの設定]コマンドを使います。(このコマンドはほとんどの場合[ファイル]メニューの中にありますが、メニューの構成はアプリケーションによって異なります。詳しくはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。)

ここではWindows 98/95に付属されている日本語ワードプロセッサー「ワードパッド」を例にとって説明します。任意のワードパッド文書を表示させて次の手順を確認してください。

1. [ファイル]メニューの[印刷]をクリックする。

[印刷]ダイアログボックスが開きます。

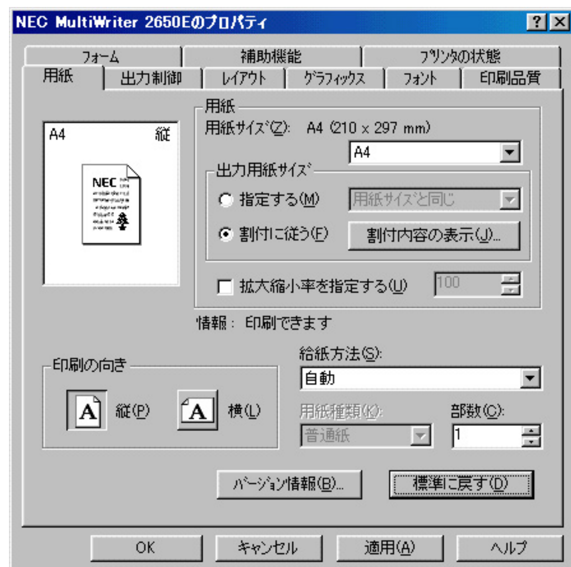


2. [プロパティ]をクリックする。



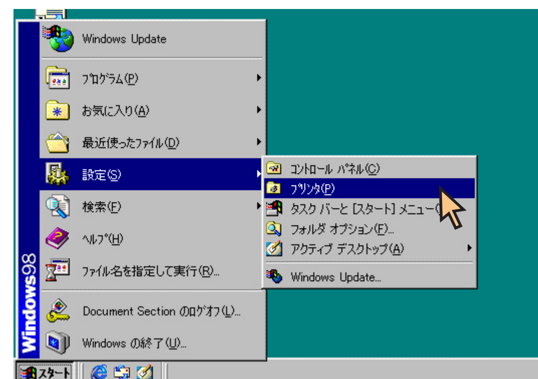
このような[プロパティ]ダイアログボックスが表示されます。

各プロパティシートについては「設定の概要」を参照してください。



[スタート]を使って開く

1. [プリンタ]フォルダーを開く。



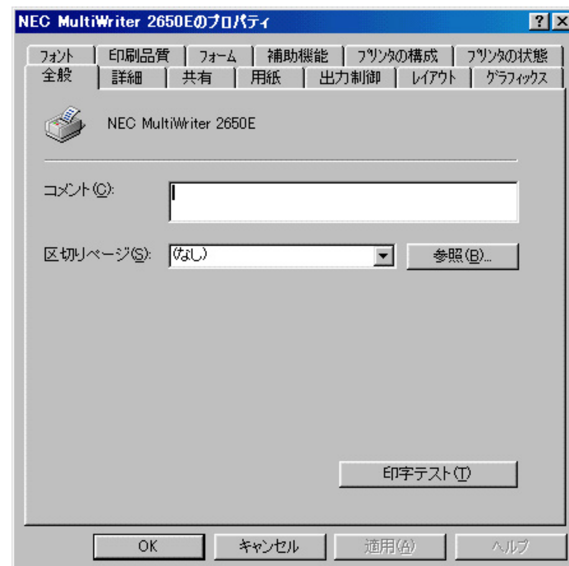
2. [NEC MultiWriter 2650E]アイコンを右クリックする。

プリンターのアイコンが選択され、メニューが表示されます。



3. メニューの[プロパティ]をクリックする。

このような[プロパティ]ダイアログボックスが表示されます。



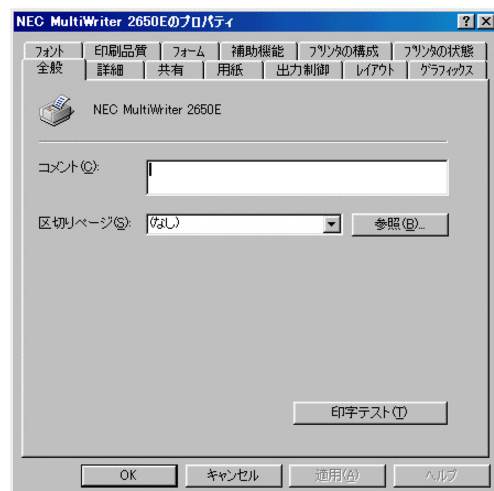
設定の概要

[プロパティ]ダイアログボックスの概要をプロパティシートごとに説明します。詳細は各プロパティシート上のそれぞれの項目の上で右クリックすることによりヘルプでも説明されています。

[全般]シート

このプロパティシートはプリンターに関するコメントを設定・表示します。（Windows 98/95 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。）

通常ご使用になっている上では設定の変更の必要はありません。



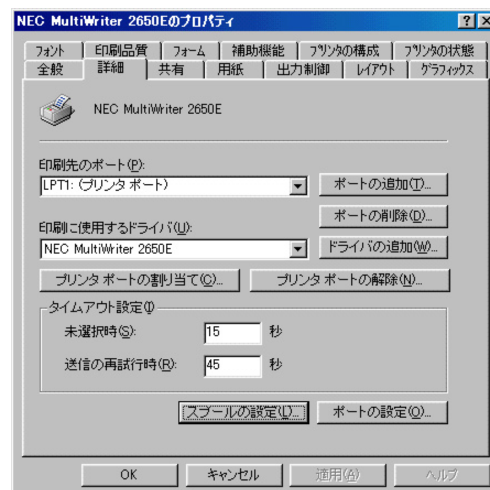
[詳細]シート

このプロパティシートは印刷先のポートや使用するプリンタードライバーなどを表示・設定します。（Windows 98/95 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。）

通常ご使用になっている上では設定の変更の必要はありません。



- タイムアウト設定の時間が短いと、複雑なデータやアプリケーションによっては、印刷データ送信を中止することがあります。その場合には、タイムアウト設定の時間を長くしてください。
- PrintAgentを使用する場合は[スプールの設定]の[このプリンタで双方向通信機能をサポートする]が選択されている必要があります。



[共有]シート

このプロパティシートはプリンターを共有するときの設定を行うシートです。Windows 98/95対応のプリンターをネットワークの設定でプリンターを共有できるように設定している場合に表示されます。(Windows 98/95 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。)

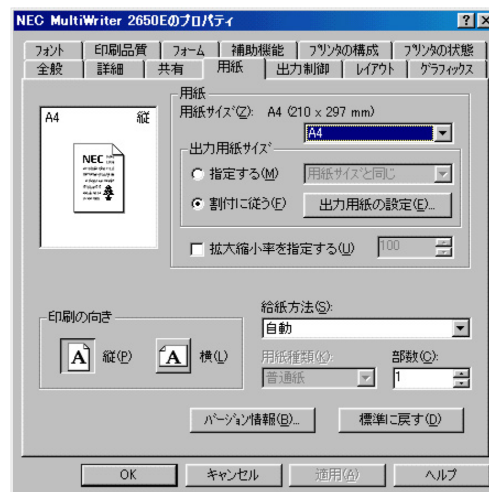


[用紙]シート

このプロパティシートは用紙に関する以下の設定を行います。

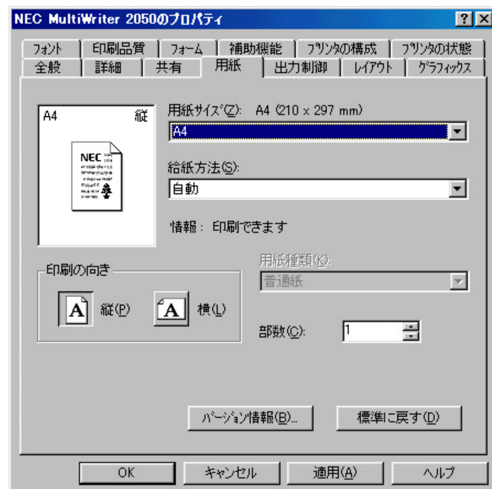
【MultiWriter 2650/2650E/2250場合】

- 用紙サイズ
- 出力用紙サイズ
- 拡大縮小率
- 印刷の向き
- 給紙方法
- 用紙種類
- 部数



【MultiWriter 2050の場合】

- 用紙サイズ
- 給紙方法
- 印刷の向き
- 用紙種類
- 部数



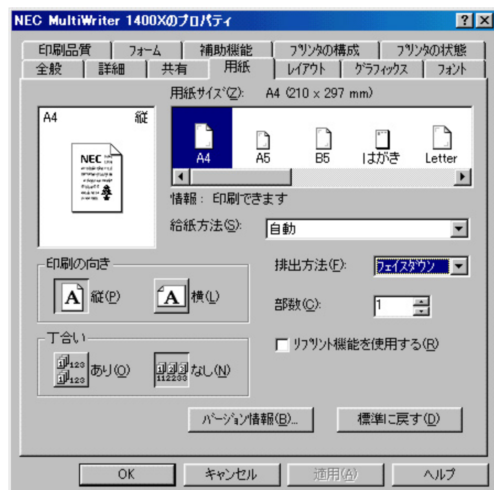
【MultiWriter 2200X2/2200XE/2000X2の場合】

- 用紙サイズ
- 印刷の向き
- 丁合い
- ジョブセパレート機能を使用する
- リプリント機能を使用する
- 給紙方法
- 用紙種類
- 部数



【MultiWriter 1400Xの場合】

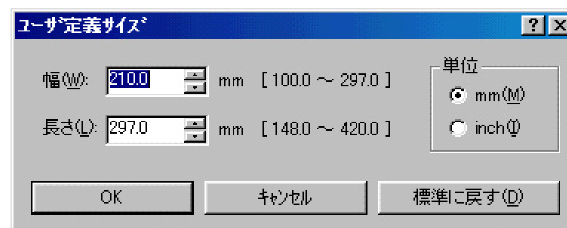
- 用紙サイズ
- 給紙方法
- 印刷の向き
- 排出方法
- 丁合い
- 部数
- リプリント機能を使用する



「用紙サイズ」

印刷する用紙サイズ、縮小・拡大サイズを選択できます。

[ユーザ定義]を選択した場合は、用紙の寸法を入力する次のダイアログボックスが表示されます。(2650/2650E/2250/2050のみ対応)




チェック

アプリケーションによっては[A3→A4]などの縮小・拡大が正しく印刷されないものがあります。

「出力用紙サイズ」(2650/2650E/2250)

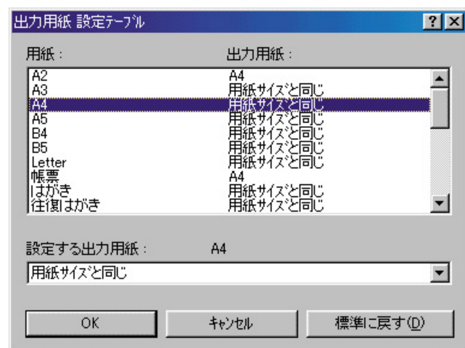
原稿を実際に印刷する用紙サイズを選択します。

- 指定する

  サポートするすべての用紙サイズに対して共通の出力用紙サイズを割り付ける場合に選択します。コンボボックスから用紙サイズを選択します。

● 割付に従う

すでに設定してある用紙割り付けに従って出力用紙を設定する場合に選択します。現在[用紙サイズ]で選択されている用紙サイズに割り付けてある出力用紙サイズがコンボボックス上に表示されます。設定は[出力する用紙の設定]をクリックして以下のダイアログを表示させて行います。



「拡大縮小率を指定する」(2650/2650E/2250)

文書を印刷する際の拡大縮小率を設定します。10%～400%の範囲で設定が可能です。

「印刷の向き」

ページを縦長(ポートレート)か横長(ランドスケープ)で使用するかを設定します。枠内の用紙ボタンをクリックして選択します。


チェック

[用紙サイズ]で[LP→A4]、[LP→B4]が設定されている場合は、[縦]は設定できません。

「給紙方法」

給紙先(ホッパー/トレー)をコンボボックスから選択します。コンボボックスには使用できる給紙方法が表示されます。自動にしておくと、選択されている用紙サイズがセットされているホッパー、トレーから自動的に給紙されます。


チェック

[用紙サイズエラーを検出する]をチェックしていない場合[用紙]シートの[給紙方法]で[自動]を選択しても[トレー]からの給紙を行いません。[トレー]からも給紙を行いたいときは[用紙サイズエラーを検出する]をチェックしてください。ただしプリンター操作パネルで[トレー]が設定されている場合は、[給紙方法]が[自動]でも[用紙サイズエラーを検出する]のチェックにかかわらず、トレーから給紙されます。

「用紙種類」

(2650/2650E/2250/2050/2200X2/2200XE/2000X2)

[給紙方法]が[トレー]のときのみ、用紙の種類を[普通紙]、[厚紙]、[OHP]の3種類から選択できます。[トレー]以外のときは[普通紙]のみとなり、選択することができません。

「排出方法」(1400X)

印刷文書の排出方法を選択します。

- フェイスダウン
  印刷面を下にしてトップカバーの上に排出します。
- フェイスアップ
  印刷面を上にしてプリンター背面に排出します。


ヒント

フェイスアップ排出する場合、オプションのフェイスアップトレイ(型番:PR-L1400X-01)を装着しておくと印刷済み用紙がきれいに排出できます。

「部数」

印刷時の部数(コピー部数)を指定することができます。1〜99部まで設定可能です。


チェック

アプリケーションの印刷機能で部数を設定できる場合があります。アプリケーション側で設定できる場合は、アプリケーション側で設定するようにしてください。

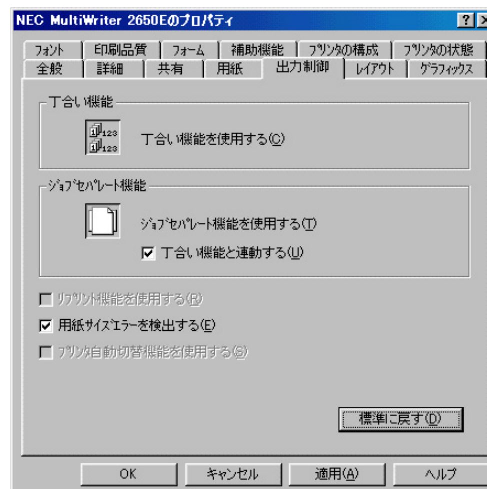
[バージョン情報]

クリックすると本プリンタードライバーのバージョン情報が表示されます。

[出力制御]シート(2650/2650E/2250/2050)

このプロパティシートは出力制御に関する以下の設定を行います。

- 丁合い機能
- ジョブセパレート機能
- リプリント機能
- 用紙サイズエラーの検出する/しない
- プリンタ自動切替機能



「丁合い」

複数の部数を指定した場合、丁合いの有無が有効になります。ジョブセパレート機能と組み合わせて使用することによって、ソーター機能を実現することができます。
[プリンタスプールの設定]で[このプリンタで双方向通信機能をサポートする]を設定していないと使用できません。



アプリケーションの印刷機能で「丁合い」の指定ができる場合がありますが、アプリケーションによっては、プリンターの丁合い機能を使用せずに、アプリケーション独自の機能で丁合い印刷を実現している場合があります。このような場合には、アプリケーションの丁合い機能は使用せずに、プリンターのプロパティで「丁合い」を設定してください。

Windows 98/95では、クライアント・サーバーシステムにおいて「丁合い」の設定をご使用になるためには、クライアント、サーバー両者にPrintAgentのインストールが必要です。さらに、PrintAgentのプロパティにおいて、クライアントでは[共有プリンタを利用する]が、サーバーでは[共有プリンタを提供する]をチェックしておく必要があります。

「ジョブセパレート機能を使用する」

ジョブセパレート機能を使用するかしないかを切り替えます。ジョブセパレート機能とは、文書を印刷実行した単位で、縦横に置き分けてスタッカーに排出する機能です。詳細についてはユーザーズマニュアルをご覧ください。

- 丁合い機能と連動する
  チェックボックスをチェックするとジョブセパレート機能と丁合い機能を連動して印刷することができます。



本機能はプリンター本体のいずれかのホッパーまたはトレーにA4用紙を縦、横にセットしておく必要があります。
[用紙サイズ]にA4用紙(＊＊→A4を含む)が設定されていない場合や[給紙方法]に[自動]が設定されていない場合は、ジョブセパレート機能はグレー表示され使用できません。

「リプリント機能を使用する」

リプリント機能を使用するかしないかを選択します。一度印刷した文章をアプリケーションから再び印刷を実行することなく、再印刷を行う機能です。詳細についてはユーザーズマニュアルをご覧ください。



本機能は、片方向通信時等でリプリント機能が使用できない場合、またはプリンターが自動切替用としてインストールされている場合は、グレー表示され使用できません。

「用紙サイズエラーを検出する」

チェックボックスをチェックすると、トレーから給紙する際に設定されている用紙サイズと異なる用紙を吸入すると用紙サイズエラーを検出します。



本機能は、[出力用紙サイズ]コンボボックスで[ユーザ定義]を指定した場合はグレー表示され使用できません。

[用紙サイズエラーを検出する]をチェックしていない場合[用紙]シートの[給紙方法]で[自動]を選択しても[トレー]からの給紙を行いません。[トレー]からも給紙を行いたいときは[用紙サイズエラーを検出する]をチェックしてください。ただしプリンター操作パネルで[トレー]が設定されている場合は、[給紙方法]が[自動]でも[用紙サイズエラーを検出する]のチェックにかかわらず、トレーから給紙されます。

「プリンタ自動切替機能を使用する」

プリンターが自動切り替え用としてインストールした場合に、チェックボックスをチェックすると、グルーピングされた各プリンターに印刷文書を自動分配します。



本機能は、プリンターが自動切り替え用としてインストールされていない場合は、グレー表示され使用できません。

[レイアウト]シート

このプロパティシートはレイアウトに関する以下の設定を行うものです。

【MultiWriter 2650/2650E/2250の場合】

- 両面印刷
- 複数ページ印刷
- 印刷位置の調整(詳細設定)



【MultiWriter 2050の場合】

- 両面印刷
- 印刷位置の調整（詳細設定）



【MultiWriter 2200X2/2200XE/2000X2/1400Xの場合】

- 両面印刷
- 綴じ方向
- 印刷開始ページ



「両面印刷」

両面印刷するかどうか、および両面印刷する場合の綴じ方を設定します。



[用紙]シートの[用紙サイズ]で[はがき]、[往復はがき]、[封筒洋形4号]、[ユーザ定義サイズ]が選択されている場合や、[用紙種類]で[厚紙]、[OHP]が選択されている場合には、両面印刷はできません。



MultiWriter 2650E/2250/2050/2200XE/2000X2で両面印刷を行うには両面印刷ユニット(型番：PR-L2000X2-DL)をプリンターに装着する必要があります。また、MultiWriter 1400Xで両面印刷を行うには両面印刷ユニット(型番：PR-L1400X-04)をプリンターに装着する必要があります。

- 印刷開始ページ
  両面印刷する場合に、先頭ページを用紙の表面から印刷するか裏面から印刷するかを選択します。両面印刷が選択されていない場合はグレー表示となり使用できません。

「綴じ方向」(2200X2/2200XE/2000X2/1400X)

両面印刷時の綴じ方向と綴じしろを設定します。
綴じしろは0mm～20mmまでの1mm単位で余白の設定ができます。

「複数ページ印刷」(2650/2650E/2250)

- ページ数
  コンボボックスで複数のページ印刷を選択すると、選択したページ数分を用紙の一面に縮小印刷します。選択できるページ数は1、2、4、6、8、9、16です。

- 境界線
  コンボボックスから境界線を選択できます。複数ページ印刷以外はグレー表示され使用できません。

- 配置
  複数ページ印刷の並び方を選択できます。[2ページ→1ページ]の場合は[左→右]、[右→左]の2通り。[4ページ→1ページ]、[6ページ→1ページ]、[8ページ→1ページ]、[9ページ→1ページ]、[16ページ→1ページ]の場合は[Z型]、[逆Z型]、[N型]、[逆N型]から選択できます。複数ページ印刷以外はグレー表示され使用できません。

- ページ番号を付加する
  チェックボックスをチェックするとページ番号が付加されます。複数ページ印刷以外はグレー表示され使用できません。

「詳細設定」(2650/2650E/2250/2050)

このボタンをクリックすると以下の[詳細設定]ダイアログボックスが開き、印刷位置や拡大縮小率を設定できます。



本機能は、以下の場合以外はいつでも有効で両面印刷などの印刷機能と組み合わせることができます。

- [フォーム]シートでフォーム印刷を設定している。
- [用紙]シートの[用紙サイズ]で[＊＊→＊＊]の用紙を選択している。

詳細設定
出力用紙サイズ: A4 (210.0 × 297.0 mm)
OK
キャンセル
標準に戻す(D)
単位(U)
mm
inch
表面の印刷位置(F)
上から 5.0 mm 下から 5.0 mm
左から 5.0 mm 右から 5.0 mm
中央に配置(C)
裏面の印刷位置(B)
上から 5.0 mm 下から 5.0 mm
左から 5.0 mm 右から 5.0 mm
中央に配置(G)
表面と対称に配置(E)
表面と平行に配置(P)
拡大縮小率
拡大縮小率を指定する(Z) 100 %

- [中央に配置]
  ボタンをクリックすると印刷範囲枠が用紙の中央に配置されます。

- [表面と対称に配置]
  両面印刷の場合、裏面設定のみの機能です。ボタンをクリックすると印刷範囲枠が綴じ辺を軸にして表面と対称の位置に配置されます。

- [表面と平行に配置]
  両面印刷の場合、裏面設定のみの機能です。ボタンをクリックすると印刷範囲枠が表面と同じ位置に配置されます。

- 「拡大縮小率」(2650/2650E/2250)
  本設定項目は[用紙]シートの[拡大縮小率]と連動しています。動作条件も同様です。また用紙レイアウト表示ウィンドウでマウス操作によって印刷範囲の大きさを変更した場合も、それに連動して表示されている数値が変更されます。

[グラフィックス]シート

このプロパティシートは印刷解像度やグラフィックスデータに対するプリンターの処理の設定を行うものです。以下の設定が可能です。

【MultiWriter 2650/2650E/2250の場合】

- 解像度
- 濃度
- ディザリング
- 描画方法
- ブラシパターン（解像度に合わせて印刷）
- ビットマップ（低解像度で印刷）
- グレイスケール（網点を細かくして印刷）



【MultiWriter 2050/2200X2/2200XE/2000X2の場合】

- 解像度
- 濃度
- ディザリング
- 描画方法
- ブラシパターン（解像度に合わせて印刷）
- ビットマップ（低解像度で印刷）
- グレイスケール（網点を細かくして印刷）



【MultiWriter 1400Xの場合】

- 解像度
- 濃度
- ディザリング
- 描画方法
- ブラシパターン（解像度に合わせて印刷）
- ビットマップ（低解像度で印刷）



「解像度」

600dpi、400dpi、300dpi、240dpiから選択できます。
（2200X2/2200XE/2000X2/1400Xの場合は600dpi、400dpi、240dpiから選択できます。）

「ディザリング」

グレースケールイメージのデータをプリンターで処理できるように変換する設定です。



チェック

アプリケーションおよび印刷データによっては効果がないことがあります。

- なし
  グラフィックスのグレースケールを白か黒に変換します。この設定はテキストや線画などの印刷に適しています。

- パターン
  グレーの濃淡を白地に黒いドットでできたパターンに変換します。ドットを周期的に集中させて印刷する方式です。
  [コントラストを強くする]をチェックするとハーフトーンセルのグレーの明暗を強く表現します。（2650/2650E/2250/2050のみ対応）

- 誤差拡散法
  [パターン]と同様にドットに変換する方法ですが、ドットを分散させて印刷する方式です。パターンと誤差拡散法は好みに応じて使い分けてください。

「濃度」

グラフィックスの明暗を0～200の範囲で設定することができます。
印刷を薄くするときは[明]の方向へ、濃くするときは[暗]の方向へスライダーを設定してください。

「描画方法」

プリンターの描画方法を設定できます。

- 自動
  アプリケーションの種別によりプリンターで処理するかコンピューターで処理するかを自動的に決定します。

- すべてプリンタ
  すべてプリンターで処理します。簡単な図形や文字中心のドキュメントが高速に印刷できます。

- すべてビットマップ
  コンピューター側で文字、図形などをすべてビットマップ処理します。複雑な図形が多いドキュメントが高速に印刷できます。



自動の場合、文字と図形の重ね合わせの結果が不正になる場合や反転文字などの文字修飾が不正になる場合があります。このような場合には[すべてプリンタ]か[すべてビットマップ]を指定してください。

「ブラシパターンを拡大する」

解像度に合わせてブラシパターンの大きさを変える機能です。拡大率は設定されている解像度によって異なります。240dpiではこの設定は無効です。またアプリケーションによっては効果がないことがあります。

- 600dpi→300%(3倍拡大)
- 400dpi→200%(2倍拡大)
- 300dpi→200%(2倍拡大)*
- 240dpi→100%(拡大しない)

* 2650/2650E/2250/2050に対応

「ビットマップを低解像度で印刷する」

ビットマップデータを1/2の解像度で印刷します。通常の印刷より高速で出力することができます。[描画方法]で[すべてビットマップ]が選択されている場合、または[解像度]が600dpi以外の場合は使用できません。



印刷データによってはハーフトーンがきれいに出ないことがあります。そのような場合はチェックを外してください。

「グレイスケールの網点を細かく印刷する」
(2650/2650E/2250/2050/2200X2/2200XE/2000X2)

グレースケールのパターンを細かく印刷します。グレーの濃淡を白地に黒いドットで作られたパターンで表現する際に、パターンの繰り返し周期が短くなります。



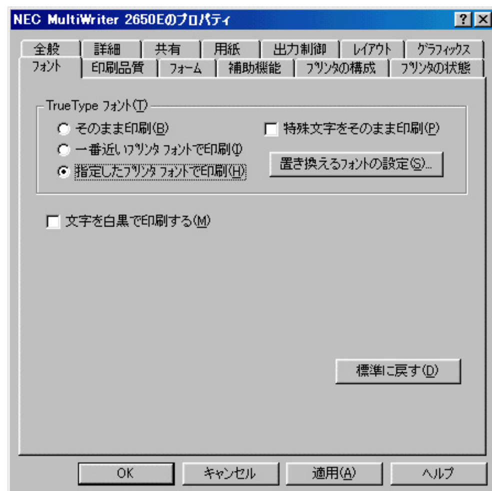
本設定は解像度に600dpiが設定されているときのみ有効で、その他の場合はグレー表示となり使用できません。

[フォント]シート

このプロパティシートはフォントに関する以下の設定を行うものです。

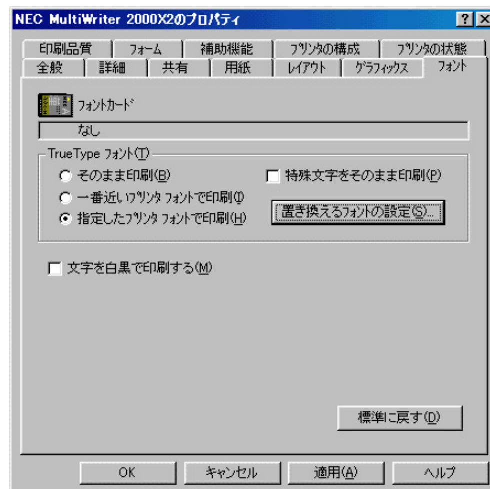
【MultiWriter 2650/2650E/2250/2050/1400Xの場合】

- TrueTypeフォントの置き換え方法
- 文字を白黒で印刷する/しない



【MultiWriter 2200X2/2200XE/2000X2の場合】

- フォントカード
- TrueTypeフォントの置き換え方法
- 文字を白黒で印刷する/しない



「フォントカード」(2200X2/2200XE/2000X2)

プリンター本体にセットしたオプションのフォントカードが表示されます。



MultiWriter 2200X2/2200XE/2000X2で使用できるフォントカードは以下の3つです。

- 丸ゴシック体-M　漢字アウトラインフォントカード(型番：PC-PRPF-01)
- 教科書体-M　漢字アウトラインフォントカード(型番：PC-PRPF-02)
- 瑞筆行書体-M　漢字アウトラインフォントカード(型番：PC-PRPF-03)

「TrueTypeフォント」

TrueTypeフォントの置き換え方法を設定することができます。

- そのまま印刷
  アプリケーションから送られたTrueTypeフォントイメージをそのままビットマップで印刷します。
- 一番近いプリンタフォントで印刷
  アプリケーションから送られたTrueTypeフォントを書体が似ているプリンターフォントに置き換えます。
- 指定したプリンタフォントで印刷
  アプリケーションから送られたTrueTypeフォントを[置き換えるフォントの設定]によって設定したプリンターフォントに置き換えます。

[特殊文字をそのまま印刷]

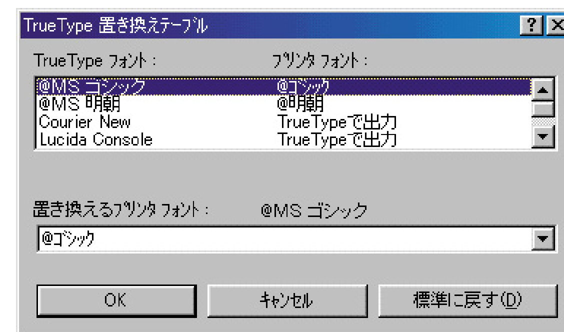
アプリケーションから送られたTrueTypeフォントをプリンターフォントに置き換える際、IBM拡張漢字(髙、﨑)などのフォントデザインが異なる特殊文字はそのまま印刷するかどうかを設定します。

[置き換えるフォントの設定]

このダイアログボックスを使って置き換えるプリンターフォントを設定します。それぞれフォントを選択して[OK]をクリックすることで置き換えが設定されます。
[標準に戻す]をクリックするとフォントの置き換えに関する設定を標準設定に戻すことができます。



ANSI、SHIFT JISなど文字セットが異なるフォント、デザインが著しく異なるフォントの置き換えは行わないでください。期待どおりの印刷結果にならない場合があります。



「文字を白黒で印刷する」

チェックボックスをチェックすると文字の色を、グレースケールを使わずに、白か黒のどちらかで印刷します。

[印刷品質]シート

このプロパティシートは印刷品質に関する以下の設定を行うものです。

- SET機能
- トナー節約機能
- 印刷濃度の設定
- 従来互換の印刷範囲を使用する/しない



「SET機能」

SET機能を使用するかしないかを選択します。SET機能を使用するとテキストやグラフィックのエッジのギザギザをなくし、画質を向上させることができます。

「トナー節約機能」

トナー節約モードを使用するかしないかを切り替えます。



トナー節約機能を使用すると、細い線、濃度の薄い印刷、網かけおよびグラデーションが不鮮明になることがあります。本機能は試し印刷などにご使用ください。

「印刷濃度の設定」

印刷濃度を5段階の中からスライダーで設定します。

「従来互換の印刷範囲を使用する」

印刷範囲をMultiWriter 2400X/2200NW2など、MultiWriter 2000X以前のMultiWriterシリーズのプリンターと同じ印刷範囲に設定する場合に選択します。

[フォーム]シート

このプロパティシートはフォーム印刷を利用する場合に、フォーム印刷に関する設定を行うものです。フォーム印刷は見出し文字や罫線枠などのフォームデータを文書データと重ね合わせて印刷するものです。フォームデータを作成するには別売のアプリケーションが必要です。



「フォーム印刷」

フォーム印刷をする場合、[ファイル]コンボボックスから使用したいフォームファイルを選びます。コンボボックスに希望のファイルがない場合は[ファイル参照]をクリックして他の場所のファイルを参照することができます。

「フォームデータを先に描画する」

フォーム印刷を行う場合、文書データをフォームデータの上に描画するかどうかを選択します。

[補助機能]シート

このプロパティシートは、印刷時にプリンターの操作パネルの下段に表示する文字列を設定します。



「操作パネル表示」

- **なし**
  プリンターの操作パネルの下段には何も表示しません。

- **ユーザ名**
  ネットワーク上にログインしたときのユーザー名が操作パネルの下段に表示されます。[ユーザ名]をチェックすると[表示文字列]テキストボックスでユーザー名が確認できます。

- **指定文字列**
  プリンターの操作パネルの下段に[表示文字列]に入力した文字列が表示されます。

● 表示文字列

プリンターの操作パネルの下段に表示される文字列です。[指定文字列]を選択した場合は、16文字まで入力可能になります。入力可能な文字については以下の表を参照してください。[ユーザ名]を選択した場合は、ユーザー名が表示されます。
[ユーザ名]に入力可能な文字以外の文字が設定されている場合、[なし]が選択されます。

[表示文字列]に入力可能な文字一覧(スペースを含む)

<table>
<tr><td></td><td>!</td><td>#</td><td>$</td><td>%</td><td>&</td><td>‘</td><td>(</td><td>)</td><td>=</td></tr>
<tr><td>-</td><td>'</td><td>^</td><td>|</td><td>¦</td><td>@</td><td>{</td><td>[</td><td>+</td><td>;</td></tr>
<tr><td>*</td><td>:</td><td>}</td><td>]</td><td><</td><td>,</td><td>></td><td>.</td><td>?</td><td>/</td></tr>
<tr><td>_</td><td colspan="9"></td></tr>
<tr><td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td></tr>
<tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td><td>E</td><td>F</td><td>G</td><td>H</td><td>I</td><td>J</td></tr>
<tr><td>K</td><td>L</td><td>M</td><td>N</td><td>O</td><td>P</td><td>Q</td><td>R</td><td>S</td><td>T</td></tr>
<tr><td>U</td><td>V</td><td>W</td><td>X</td><td>Y</td><td>Z</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td>a</td><td>b</td><td>c</td><td>d</td><td>e</td><td>f</td><td>g</td><td>h</td><td>i</td><td>j</td></tr>
<tr><td>k</td><td>l</td><td>m</td><td>n</td><td>o</td><td>p</td><td>q</td><td>r</td><td>s</td><td>t</td></tr>
<tr><td>u</td><td>v</td><td>w</td><td>x</td><td>y</td><td>z</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td>ｱ</td><td>ｲ</td><td>ｳ</td><td>ｴ</td><td>ｵ</td><td>ｶ</td><td>ｷ</td><td>ｸ</td><td>ｹ</td><td>ｺ</td></tr>
<tr><td>ｻ</td><td>ｼ</td><td>ｽ</td><td>ｾ</td><td>ｿ</td><td>ﾀ</td><td>ﾁ</td><td>ﾂ</td><td>ﾃ</td><td>ﾄ</td></tr>
<tr><td>ﾅ</td><td>ﾆ</td><td>ﾇ</td><td>ﾈ</td><td>ﾉ</td><td>ﾊ</td><td>ﾋ</td><td>ﾌ</td><td>ﾍ</td><td>ﾎ</td></tr>
<tr><td>ﾏ</td><td>ﾐ</td><td>ﾑ</td><td>ﾒ</td><td>ﾓ</td><td>ﾔ</td><td>ﾕ</td><td>ﾖ</td><td>ﾗ</td><td>ﾘ</td></tr>
<tr><td>ﾙ</td><td>ﾚ</td><td>ﾛ</td><td>ﾜ</td><td>ｦ</td><td>ﾝ</td><td>ｧ</td><td>ｨ</td><td>ｩ</td><td>ｪ</td></tr>
<tr><td>ｫ</td><td>ｬ</td><td>ｭ</td><td>ｮ</td><td>ｯ</td><td>ﾞ</td><td>ﾟ</td><td>ｰ</td><td>｢</td><td>｣</td></tr>
<tr><td>､</td><td>｡</td><td>･</td><td colspan="7"></td></tr>
</table>

半角文字のみ入力可能です。

[プリンタの構成]シート

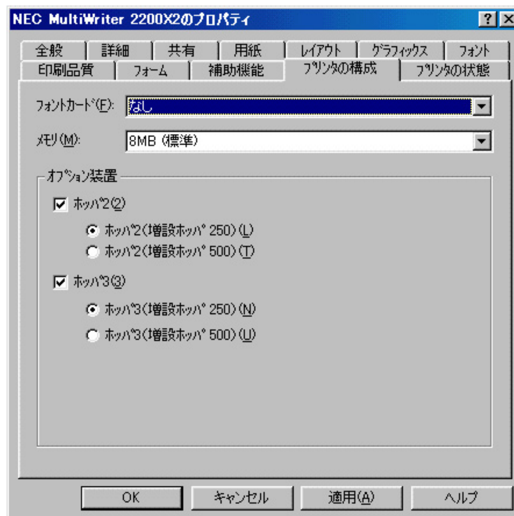
このプロパティシートはプリンターの構成を表示・設定するものです。プリンターとコンピューターとの間で双方向通信が行われているとき、プリンターに装着されているフォントカード、メモリー、オプション装置が表示されます。双方向通信ができない場合はそれぞれ表示される項目から装着されているものをクリックして選択し、プリンターの構成を設定します。

【MultiWriter 2650/2200X2の場合】

MultiWriter 2650/2200X2の場合、両面印刷ユニットは標準装備されるため、[プリンタの構成]シートに[オプション装置]としては表示されません。



MultiWriter 2650



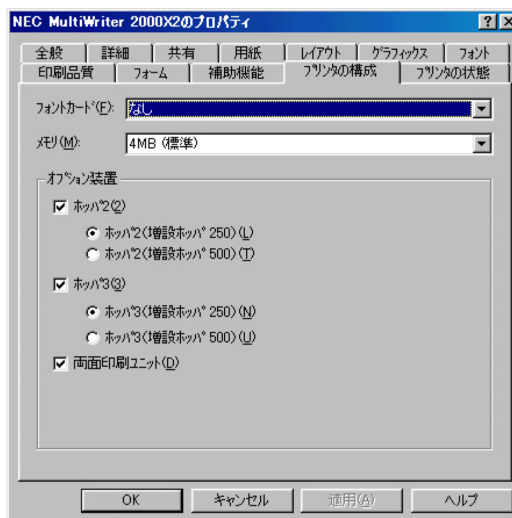
MultiWriter 2200X2

【MultiWriter 2650E/2250/2050/2200XE/2000X2/1400Xの場合】

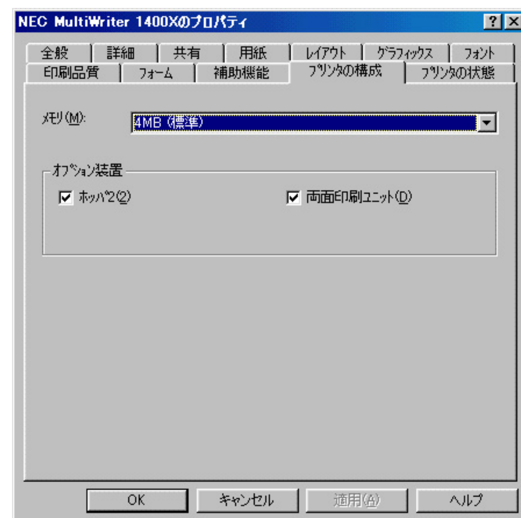
MultiWriter 2650E/2250/2050/2200XE/2000X2/1400Xの場合、両面印刷ユニットはオプションのため、［プリンタの構成］シートに［オプション装置］として表示されます。



MultiWriter 2650E/2250/2050



MultiWriter 2200XE/2000X2



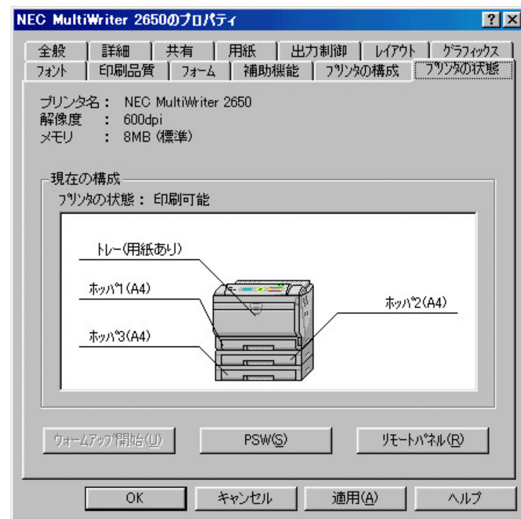
MultiWriter 1400X

[プリンタの状態]シート

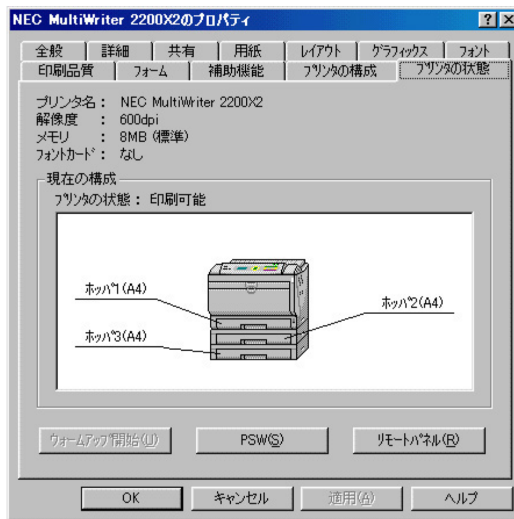
このプロパティシートは現在のプリンターの状態を表示するものです。

【MultiWriter 2650/2200X2の場合】

MultiWriter 2650/2200X2の場合、両面印刷ユニットは標準装備されるため、[プリンタの状態]シートに[現在の構成]としては表示されません。



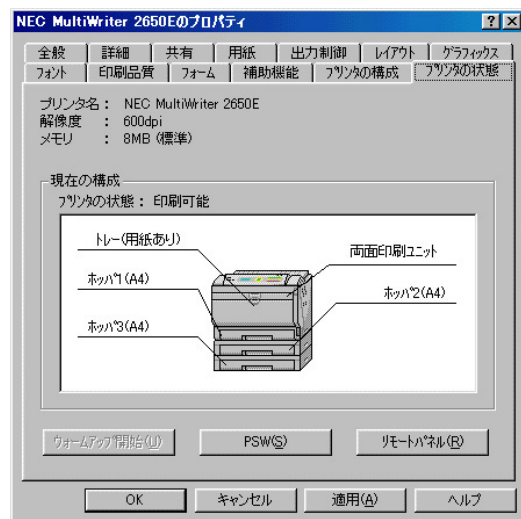
MultiWriter 2650



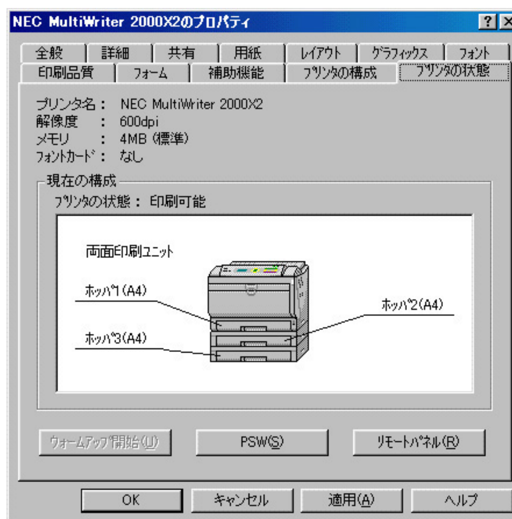
MultiWriter 2200X2

【MultiWriter 2650E/2250/2050/2200XE/2000X2/1400Xの場合】

MultiWriter 2650E/2250/2050/2200XE/2000X2/1400Xの場合、両面印刷ユニットはオプションのため、[プリンタの状態]シートに[現在の構成]として表示されます。



MultiWriter 2650E/2250/2050



MultiWriter 2200XE/2000X2



MultiWriter 1400X

[ウォームアップ開始]

クリックするとプリンターのウォームアップを開始します。
印刷を開始する前に[ウォームアップ開始]をクリックしておくと、あらかじめプリンターのウォームアップが開始され、ウォームアップによる待ち時間が少なくなります。

[プリンタステータスウインドウ(PSW)]

クリックするとプリンタステータスウィンドウが起動します。

[リモートパネル]

クリックするとリモートパネルが起動します。詳細についてはユーザーズマニュアルを参照してください。

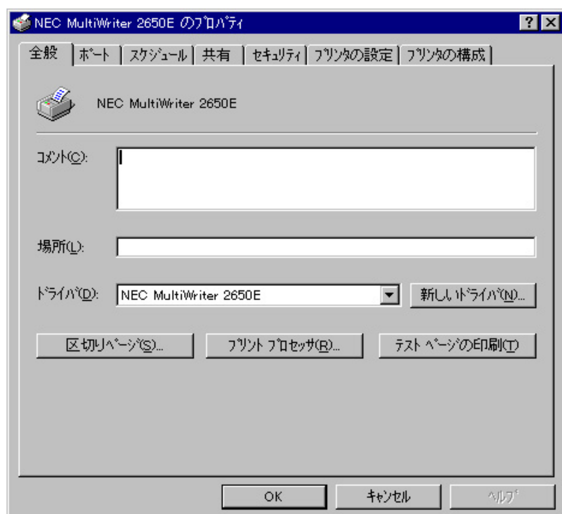
Windows NT 4.0の場合

Windows NT 4.0では、印刷の詳細な設定は以下の2つのプロパティダイアログボックスで行います。

[デバイスプロパティ]ダイアログボックス

このダイアログボックスはプリンターのポートや共有などに関する設定を行うものです。次の7枚のプロパティシートで構成されています。このダイアログボックスはアプリケーションのメニューからは表示させることができません。

- [全般]シート
- [ポート]シート
- [スケジュール]シート
- [共有]シート
- [セキュリティ]シート
- [プリンタの設定]シート
- [プリンタの構成]シート



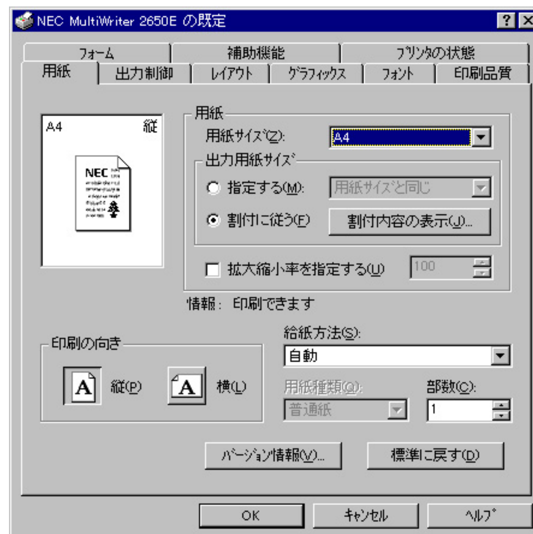
[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックス

このダイアログボックスは印刷の詳細な設定を行うものです。次の9枚のプロパティシートで構成されています。

- [用紙]シート
- [出力制御]シート*1
- [レイアウト]シート
- [グラフィックス]シート
- [フォント]シート
- [印刷品質]シート
- [フォーム]シート
- [補助機能]シート*2
- [プリンタの状態]シート

*1　2200X2/2200XE/2000X2/1400Xには対応していません。

*2　2050/2200X2/2200XE/2000X2/1400Xには対応していません。



ダイアログボックスの開き方

プロパティダイアログボックスを開く方法は次の2通りあります。

- **アプリケーションのメニューから開く方法**

  一般的にダイアログボックスの設定は、そのアプリケーションでのみ有効となります。また用紙の設定の項目など表示できないことがあります。アプリケーションから呼び出せるのは印刷の設定を行う[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスだけです。

- **デスクトップ上の[スタート]を使って開く方法**

  ダイアログボックスの設定は[ドキュメントプロパティ]、[デバイスプロパティ]ともにすべてのアプリケーションでの基本設定になります。

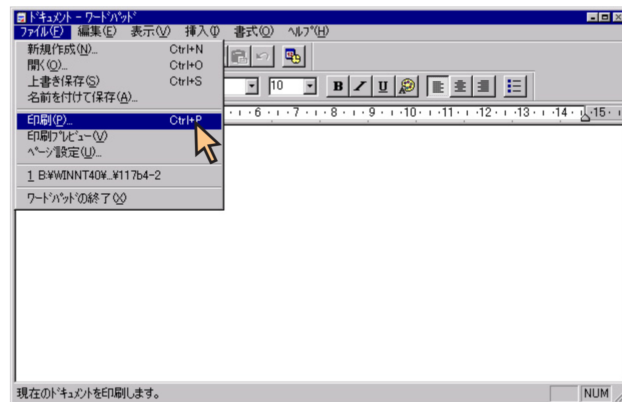
アプリケーションから開く

アプリケーションから[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスを開く場合、[ファイル]メニューの[印刷]コマンドか[プリンタの設定]コマンドを使います。(このコマンドはほとんどの場合[ファイル]メニューの中にありますが、[ファイル]メニューの構成はアプリケーションによって異なります。詳しくはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。)

ここではWindows NT 4.0に付属されている日本語ワードプロセッサー「ワードパッド」を例にとって、[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスを開く手順を説明します。任意のワードパッド文書を表示させて次の手順を確認してください。

1. **[ファイル]メニューの[印刷]をクリックする。**

[印刷]ダイアログボックスが開きます。

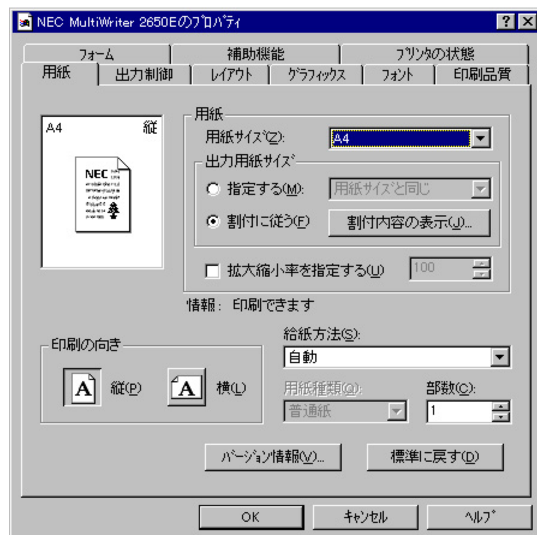


2. **[プロパティ]をクリックする。**



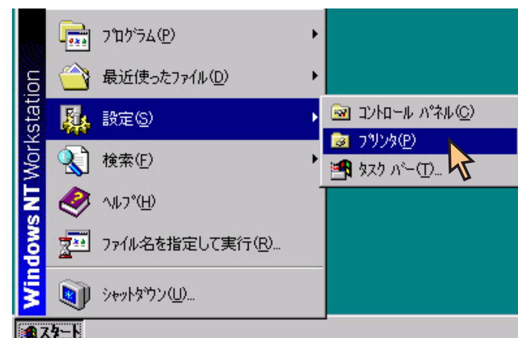
このような[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。

各プロパティシートについては、「設定の概要(ドキュメントプロパティ)」を参照してください。



[スタート]を使って開く

1. [プリンタ]フォルダーを開く。

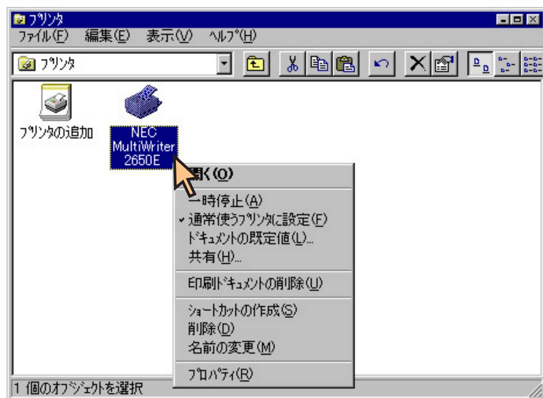


2. [NEC MultiWriter 2650E]アイコンを右クリックする。

プリンターのアイコンが選択され、メニューが表示されます。

このメニューから2つのプロパティダイアログボックスが開きます。

[デバイスプロパティ]ダイアログボックスを開きたい場合は手順3へ、[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスを開きたい場合は手順4へ進みます。

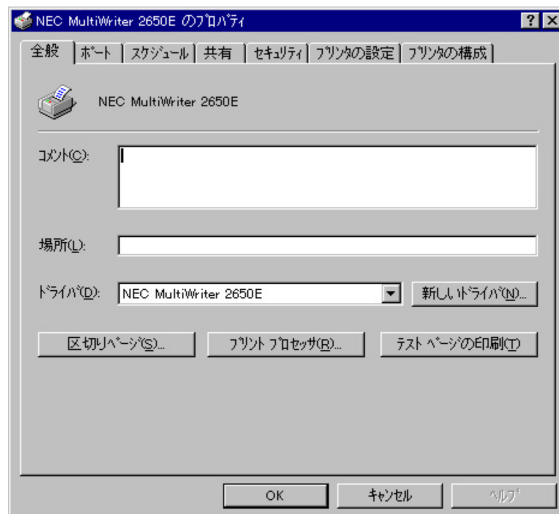


3. [プロパティ]をクリックして、[デバイスプロパティ]ダイアログボックスを開く。

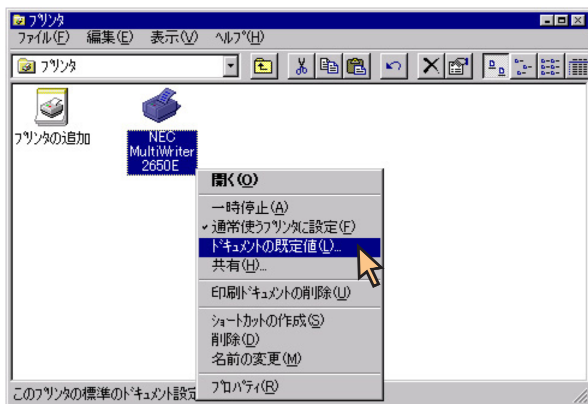


このような[デバイスプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。

各プロパティシートについては、「設定の概要(デバイスプロパティ)」を参照してください。

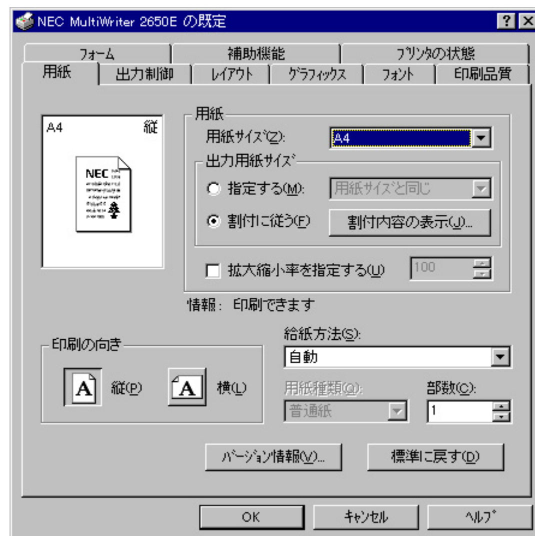


4. **［ドキュメントの既定値］をクリックして、［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスを開く。**



このような［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

各プロパティシートについては、「設定の概要（ドキュメントプロパティ）」を参照してください。



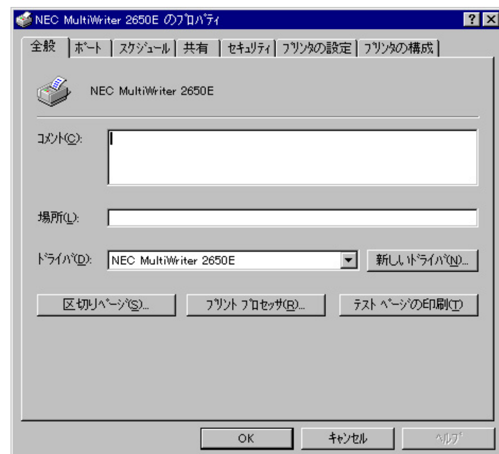
設定の概要(デバイスプロパティ)

[デバイスプロパティ]ダイアログボックスの概要をプロパティシートごとに説明します。詳細は各プロパティシート上のそれぞれの項目の上で右クリックすることによりヘルプでも説明されています。

[全般]シート

このプロパティシートはあらかじめ入力されたプリンターについてのコメントなどを表示・設定します。Windows NT 4.0 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。

通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。詳しくはWindows NT 4.0 日本語版のヘルプをご覧ください。

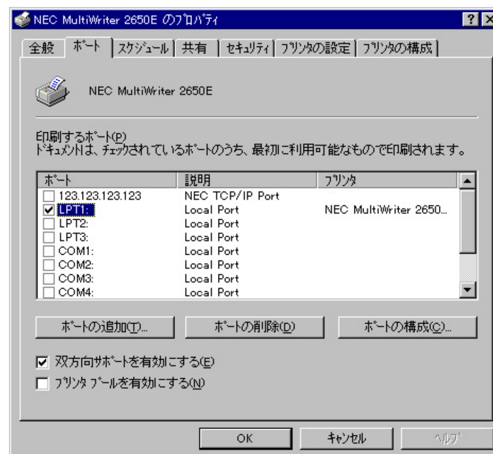


[ポート]シート

このプロパティシートはWindows NT 4.0 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。

PrintAgentを使用する場合は、[双方向サポートを有効にする]がチェックされている必要があります。

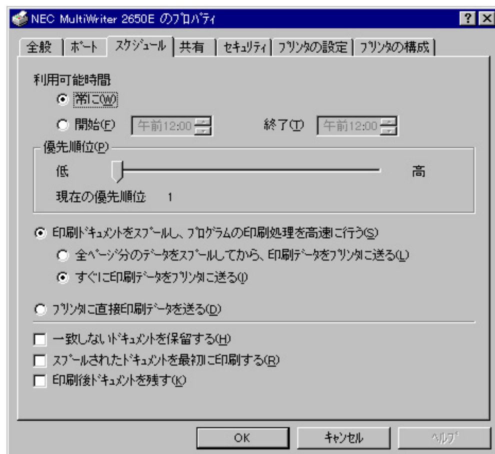
通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。詳しくはWindows NT 4.0 日本語版のヘルプをご覧ください。



[スケジュール]シート

このプロパティシートはWindows NT 4.0 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。

通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。詳しくはWindows NT 4.0 日本語版のヘルプをご覧ください。



[共有]シート

このプロパティシートはWindows NT 4.0 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。

プリンターを共有するときの設定を行うシートです。詳しくはWindows NT 4.0 日本語版のヘルプをご覧ください。



[セキュリティ]シート

このプロパティシートはWindows NT 4.0 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。

通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。詳しくはWindows NT 4.0 日本語版のヘルプをご覧ください。



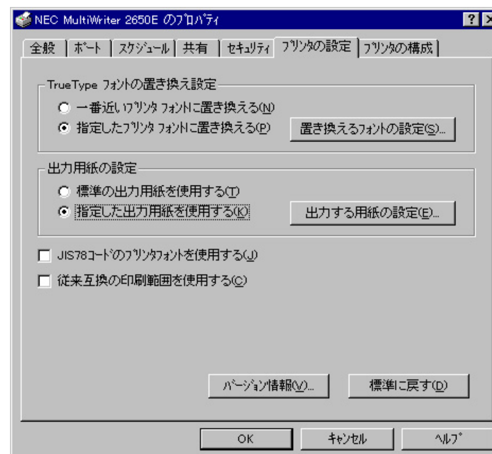
[プリンタの設定]シート

このプロパティシートは以下のプリンターの設定を行います。

【MultiWriter 2650/2650E/2250の場合】

- TrueTypeフォントの置き換え設定
- 出力用紙の設定
- JIS78コードのプリンタフォントを使用する/しない
- 従来互換の印刷範囲を使用する/しない
- ハーフトーンの設定*

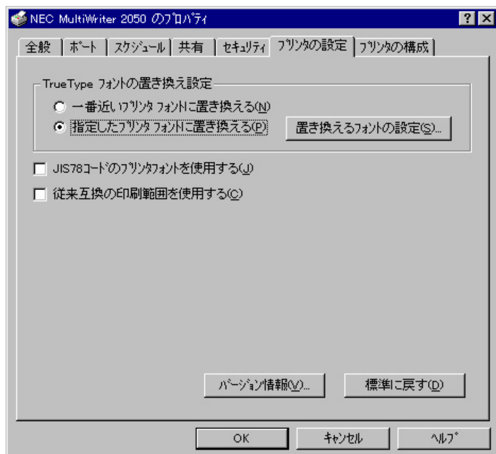
* 2650Eには対応していません。



【MultiWriter 2050/1400Xの場合】

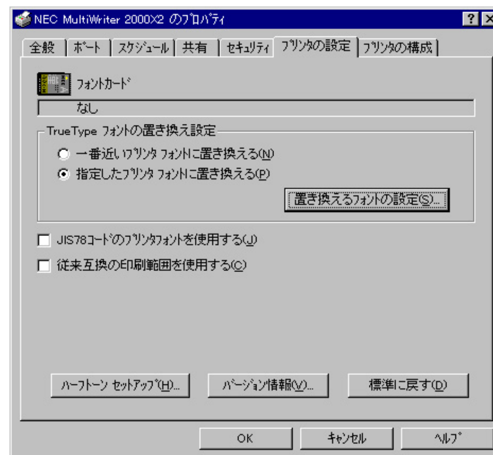
- TrueTypeフォントの置き換え設定
- JIS78コードのプリンタフォントを使用する/しない
- 従来互換の印刷範囲を使用する/しない
- ハーフトーンの設定*

* 2050には対応していません。



【MultiWriter 2200X2/2200XE/2000X2の場合】

- フォントカード
- TrueTypeフォントの置き換え設定
- JIS78コードのプリンタフォントを使用する/しない
- 従来互換の印刷範囲を使用する/しない
- ハーフトーンの設定



「フォントカード」(2200X2/2200XE/2000X2)

プリンター本体にセットしたオプションのフォントカードが表示されます。



MultiWriter 2200X2/2200XE/2000X2で使用できるフォントカードは以下の3つです。

- 丸ゴシック体-M　漢字アウトラインフォントカード（型番：PC-PRPF-01）
- 教科書体-M　漢字アウトラインフォントカード（型番：PC-PRPF-02）
- 瑞筆行書体-M　漢字アウトラインフォントカード（型番：PC-PRPF-03）

「TrueTypeフォントの置き換え設定」

TrueTypeフォントの置き換え方法を設定することができます。

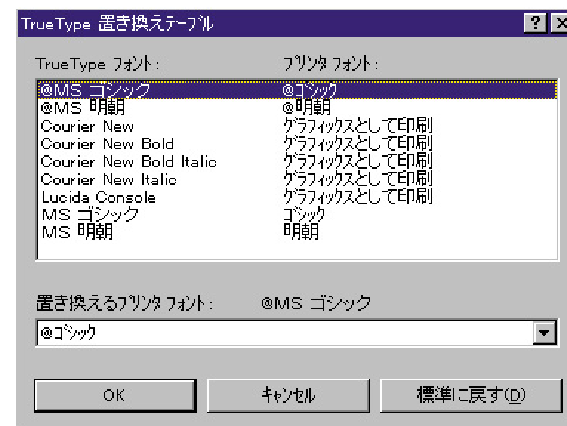
- 一番近いプリンタフォントに置き換える
  アプリケーションから送られたTrueTypeフォントを書体が似ているプリンターフォントに置き換えます。

- 指定したプリンタフォントに置き換える
  アプリケーションから送られたTrueTypeフォントを[置き換えるフォントの設定]によって設定したプリンターフォントに置き換えます。

[置き換えるフォントの設定]

このダイアログボックスを使って置き換えるプリンターフォントを設定します。それぞれフォントを選択して[OK]をクリックすることで置き換えが設定されます。

[標準に戻す]をクリックするとフォントの置き換えに関する設定を標準設定に戻すことができます。





ANSI、SHIFT JISなど文字セットが異なるフォント、デザインが著しく異なるフォントの置き換えは行わないでください。期待どおりの印刷結果にならない場合があります。

「出力用紙の設定」(2650/2650E/2250)

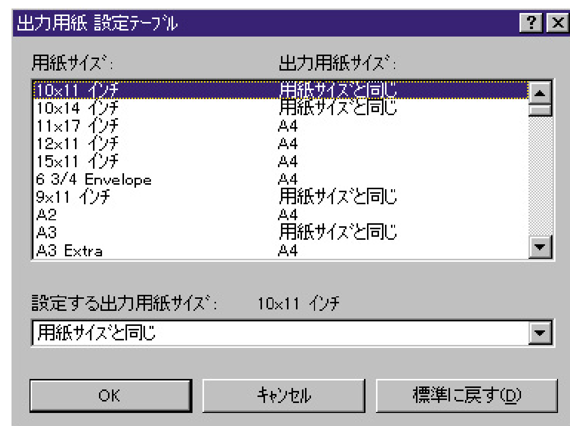
以下の項目から出力用紙を設定することができます。

- **標準の出力用紙を使用する**
  ドライバーの定義する出力用紙の設定を使用します。使用可能なサイズはそのまま出力用紙サイズとし、使用不可能なサイズの用紙の場合は出力用紙サイズにA4用紙が割り当てられます。

- **指定した出力用紙を使用する**
  任意の出力用紙サイズを設定します。設定は[出力する用紙の設定]をクリックすると表示される[出力用紙設定テーブル]で行います。

[出力する用紙の設定](2650/2650E/2250)

このダイアログボックスを使って出力する用紙のサイズを設定します。それぞれのサイズを選択して[OK]をクリックすることで割り付けが設定されます。
[標準に戻す]をクリックすると標準の組み合わせに戻すことができます。



「JIS78コードのプリンタフォントを使用する」

チェックボックスをチェックするとプリンターフォントをJIS78コードで印刷します。

「従来互換の印刷範囲を使用する」

印刷範囲をMultiWriter 2400X/2200NW2など、MultiWriter 2000X以前のMultiWriterシリーズのプリンターと同じ印刷範囲に設定する場合に選択します。



この設定を変更することで、印刷位置が印刷範囲の外側に設定される場合があります。その場合は[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスの[レイアウト]シートにある[詳細設定]にて確認の上、印刷位置を設定し直してください。

従来互換の印刷範囲を設定しない場合は用紙の全周5mm 幅が余白となります。また[複数ページレイアウト]を設定している場合は用紙の全周10mm 幅が余白となります。

[ハーフトーン セットアップ]
(2650/2250/2200X2/2200XE/2000X2/1400X)

クリックするとこのダイアログボックスが表示され、ハーフトーンの設定を行います。



- **ハーフトーンのパターン**
  ハーフトーンパターンのセルサイズを設定することができます。
- **デバイスガンマ**
  デバイスのガンマ補正を行うことができます。
- **ピクセルの大きさ**
  ピクセルの大きさを設定することができます。
- **輝度**
  白の明るさの値を調整することができます。
- **[戻す]**
  クリックするとダイアログボックスの設定を、ダイアログボックスが表示されたときの状態に戻します。
- **[標準値]**
  クリックするとダイアログボックスの設定を標準の値に戻します。

[バージョン情報]

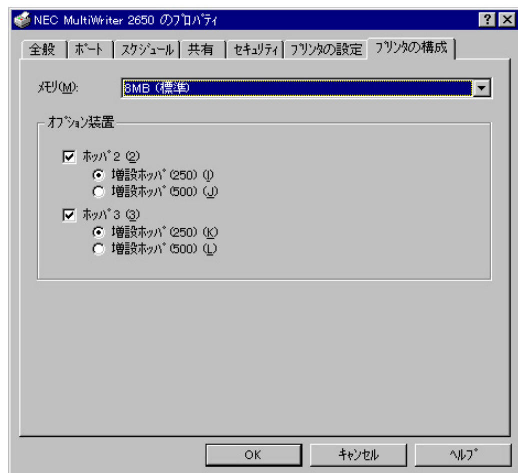
クリックすると本プリンタードライバーのバージョン情報が表示されます。

[プリンタの構成]シート

このプロパティシートはプリンターの構成を表示・設定するものです。プリンターとコンピューターとの間で双方向通信が行われているとき、プリンターに装着されているフォントカード、メモリー、オプション装置が表示されます。双方向通信ができない場合はそれぞれ表示される項目から装着されているものをクリックして選択し、プリンターの構成を設定します。

【MultiWriter 2650/2200X2の場合】

MultiWriter 2650/2200X2の場合、両面印刷ユニットは標準装備されるため、[プリンタの構成]シートに[オプション装置]としては表示されません。



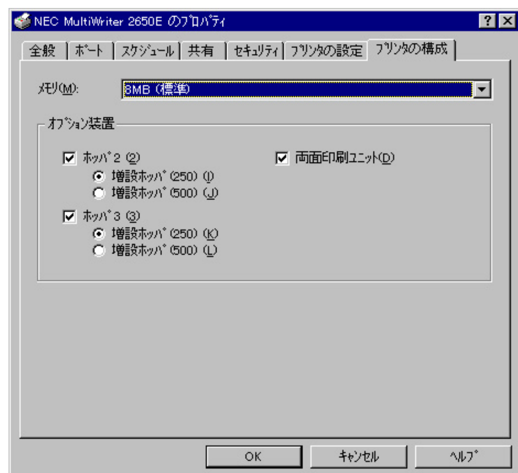
MultiWriter 2650



MultiWriter 2200X2

【MultiWriter 2650E/2250/2050/2200XE/2000X2/1400Xの場合】

MultiWriter 2650E/2250/2050/2200XE/2000X2/1400Xの場合、両面印刷ユニットはオプションのため、[プリンタの構成]シートに[オプション装置]として表示されます。



MultiWriter 2650E/2250/2050



MultiWriter 2200XE/2000X2



MultiWriter 1400X

設定の概要(ドキュメントプロパティ)

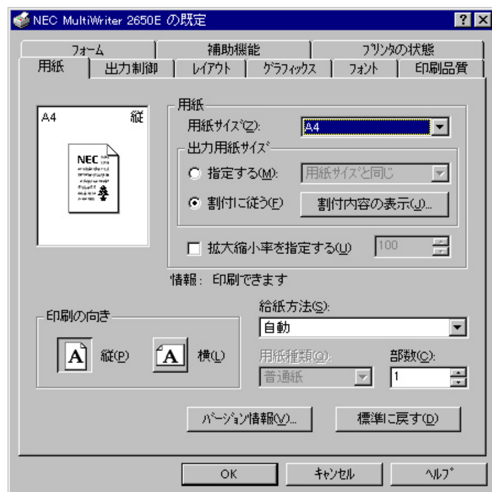
[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスの概要をプロパティシートごとに説明します。詳細は各プロパティシート上のそれぞれの項目の上で右クリックすることによりヘルプでも説明されています。

[用紙]シート

このプロパティシートは以下の用紙に関する設定を行います。

【MultiWriter 2650/2650E/2250の場合】

- 用紙サイズ
- 出力用紙サイズ
- 拡大縮小率
- 印刷の向き
- 給紙方法
- 用紙種類
- 部数



【MultiWriter 2050の場合】

- 用紙サイズ
- 印刷の向き
- 給紙方法
- 用紙種類
- 部数



【MultiWriter 2200X2/2200XE/2000X2の場合】

- 用紙サイズ
- 給紙方法
- 印刷の向き
- 用紙種類
- 丁合い
- 部数
- ジョブセパレート機能を使用する
- リプリント機能を使用する



【MultiWriter 1400Xの場合】

- 用紙サイズ
- 給紙方法
- 印刷の向き
- 部数
- 丁合い
- フェイスアップ排出を使用する
- リプリント機能を使用する



「用紙サイズ」

印刷する用紙サイズ、縮小・拡大サイズを選択できます。



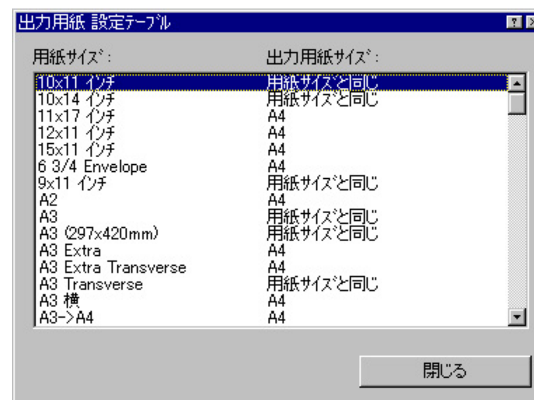
アプリケーションによっては[A3→A4]などの縮小・拡大が正しく印刷されないものがあります。

「出力用紙サイズ」(2650/2650E/2250)

原稿を実際に印刷する用紙サイズを選択します。

● 指定する
サポートするすべての用紙サイズに対して共通の出力用紙サイズを割り付ける場合に選択します。コンボボックスから用紙サイズを選択します。

● 割付に従う
[プリンタの設定]シートの[出力用紙の設定]で設定した内容に従って割り付けられた出力用紙で印刷されます。
[割付内容の表示]をクリックして以下のダイアログを表示させて、現在の出力用紙の割り付け内容の確認ができます。



「拡大縮小率を指定する」(2650/2650E/2250)

文書を印刷する際の拡大縮小率を設定します。10%〜400%の範囲で設定が可能です。

「印刷の向き」

ページを縦長(ポートレート)か横長(ランドスケープ)で印刷するかを設定します。枠内の用紙ボタンをクリックして選択します。



[用紙サイズ]で[LP→A4]、[LP→B4]が設定されている場合、[縦]は設定できません。

「給紙方法」

給紙先（ホッパー/トレー）をコンボボックスから選択します。コンボボックスには使用できる給紙方法が表示されます。自動にしておくと、選択されている用紙サイズがセットされているホッパーから自動的に給紙されます。



[用紙サイズエラーを検出する]をチェックしていない場合[用紙]シートの[給紙方法]で[自動]を選択しても[トレー]からの給紙を行いません。[トレー]からも給紙を行いたいときは[用紙サイズエラーを検出する]をチェックしてください。ただしプリンター操作パネルで[トレー]が設定されている場合は、[給紙方法]が[自動]でも[用紙サイズエラーを検出する]のチェックにかかわらず、トレーから給紙されます。

「用紙種類」
（2650/2650E/2250/2050/2200X2/2200XE/2000X2）

[給紙方法]が[トレー]のときのみ、用紙の種類を[普通紙]、[厚紙]、[OHP]の3種類から選択できます。[トレー]以外のときは[普通紙]のみとなり、選択することができません。

「部数」

印刷時の部数（コピー部数）を指定することができます。1〜99部まで設定可能です。



アプリケーションの印刷機能で部数を設定できる場合があります。アプリケーション側で設定できる場合は、アプリケーション側で設定するようにしてください。

「フェイスアップ排出機能を使用する」（1400X）

印刷面を上にして、プリンター背面に印刷結果を排出するかしないかを設定します。



フェイスアップ排出機能を使用する場合は、オプションのフェイスアップトレイ（型番：PR-L1400X-01）を使用してください。

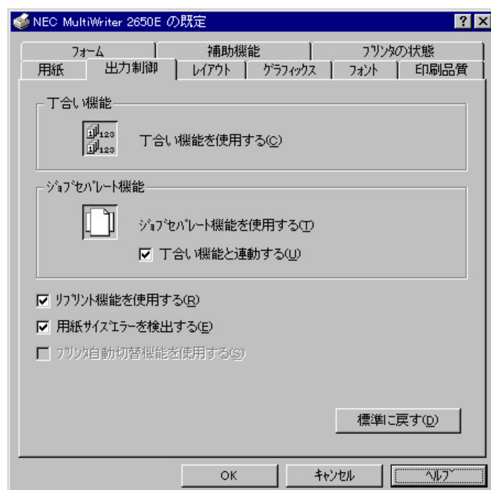
[バージョン情報]

クリックすると本プリンタードライバーのバージョン情報が表示されます。

[出力制御]シート(2650/2650E/2250/2050)

このプロパティシートは出力制御に関する以下の設定を行います。

- 丁合い機能
- ジョブセパレート機能
- リプリント機能
- 用紙サイズエラーを検出する/しない
- プリンタ自動切替機能



「丁合い」

複数の部数を指定した場合、丁合いの有無が有効になります。ジョブセパレート機能と組み合わせて使用することによって、ソーター機能を実現することができます。

本機能は、[ポート]シートで[双方向サポートを有効にする]が選択されていないとご使用になれません。



アプリケーションの印刷機能で「丁合い」の指定ができる場合がありますが、アプリケーションによっては、プリンターの丁合い機能を使用せずに、アプリケーション独自の機能で丁合い印刷を実現している場合があります。このような場合には、アプリケーションの丁合い機能は使用せずに、プリンターのプロパティで「丁合い」を設定してください。

Windows NT 4.0では、クライアント・サーバーシステムにおいて「丁合い」の設定をご使用になるためには、クライアント、サーバー両者にPrintAgentのインストールが必要です。さらに、PrintAgentのプロパティにおいて、クライアントでは[共有プリンタを利用する]が、サーバーでは[共有プリンタを提供する]をチェックしておく必要があります。

「ジョブセパレート機能を使用する」

ジョブセパレート機能を使用するかしないかを切り替えます。ジョブセパレート機能とは、文書を印刷実行した単位で、縦横に置き分けてスタッカーに排出する機能です。詳細についてはユーザーズマニュアルをご覧ください。

● 丁合い機能と連動する
チェックボックスをチェックするとジョブセパレート機能と丁合い機能を連動して印刷することができます。



本機能はプリンター本体のいずれかのホッパーまたはトレーにA4用紙を縦、横にセットしておく必要があります。
[用紙サイズ]にA4用紙(＊＊→A4を含む)が設定されていない場合や[給紙方法]に[自動]が設定されていない場合は、ジョブセパレート機能はグレー表示され使用できません。

「リプリント機能を使用する」

リプリント機能を使用するかしないかを選択します。一度印刷した文章をアプリケーションから再び印刷を実行することなく、再印刷を行う機能です。詳細についてはユーザーズマニュアルをご覧ください。



本機能は、片方向通信時等でリプリント機能が使用できない場合、またはプリンターが自動切替用としてインストールされている場合は、グレー表示され使用できません。

「用紙サイズエラーを検出する」

チェックボックスをチェックすると、トレーから給紙する際に設定されている用紙サイズと異なる用紙を吸入すると用紙サイズエラーを検出します。



本機能は、[出力用紙サイズ]コンボボックスで[ユーザ定義]を指定した場合はグレー表示され使用できません。

[用紙サイズエラーを検出する]をチェックしていない場合[用紙]シートの[給紙方法]で[自動]を選択しても[トレー]からの給紙を行いません。[トレー]からも給紙を行いたいときは[用紙サイズエラーを検出する]をチェックしてください。ただしプリンター操作パネルで[トレー]が設定されている場合は、[給紙方法]が[自動]でも[用紙サイズエラーを検出する]のチェックにかかわらず、トレーから給紙されます。

「プリンタ自動切替機能を使用する」

プリンター自動切り替え用としてインストールした場合に、チェックボックスをチェックすると、グルーピングされた各プリンターに印刷文書を自動分配します。



本機能は、プリンターが自動切り替え用としてインストールされていない場合は、グレー表示され使用できません。

[レイアウト]シート

このプロパティシートは以下のレイアウトに関する設定を行うものです。

【MultiWriter 2650/2650E/2250の場合】

- 両面印刷
- 複数ページ印刷
- 印刷位置の調整(詳細設定)



【MultiWriter 2050の場合】

- 両面印刷
- 印刷位置の調整(詳細設定)



【MultiWriter 2200X2/2200XE/2000X2/1400Xの場合】

● 両面印刷
● 綴じ方向
● 印刷開始ページ



「両面印刷」

両面印刷するかどうか、および両面印刷する場合の綴じ方を設定します。



[用紙]シートの[用紙サイズ]で[はがき]、[往復はがき]、[封筒洋形4号]が選択されている場合や、[用紙種類]で[厚紙]、[OHP]が選択されている場合には、両面印刷はできません。



MultiWriter 2650E/2250/2050/2200XE/2000X2で両面印刷を行うには両面印刷ユニット(型番：PR-L2000X2-DL)をプリンターに装着する必要があります。また、MultiWriter 1400Xで両面印刷を行うには両面印刷ユニット(型番：PR-L1400X-04)をプリンターに装着する必要があります。

● 印刷開始ページ

両面印刷する場合に、先頭ページを用紙の表面から印刷するか裏面から印刷するかを選択します。両面印刷が選択されていない場合はグレー表示となり使用できません。

「綴じ方向」(2200X2/2200XE/2000X2/1400X)

両面印刷時の綴じ方向と綴じしろを設定します。

綴じしろは0mm～20mmまでの1mm単位で余白の設定ができます。

「複数ページ印刷」（2650/2650E/2250）

- **ページ数**
  コンボボックスで複数のページ印刷を選択すると、選択したページ数分を用紙の一面に縮小印刷します。選択できるページ数は1、2、4、6、8、9、16です。

- **境界線**
  コンボボックスから境界線を選択できます。複数ページ印刷以外はグレー表示され使用できません。

- **配置**
  複数ページ印刷の並び方を選択できます。[2ページ→1ページ]の場合は[左→右]、[右→左]または[上→下]、[下→上]の2通り。[4ページ→1ページ]、[6ページ→1ページ]、[8ページ→1ページ]、[9ページ→1ページ]、[16ページ→1ページ]の場合は[Z型]、[逆Z型]、[N型]、[逆N型]から選択できます。複数ページ印刷以外はグレー表示され使用できません。

- **ページ番号を付加する**
  チェックボックスをチェックするとページ番号が付加されます。複数ページ印刷以外はグレー表示され使用できません。

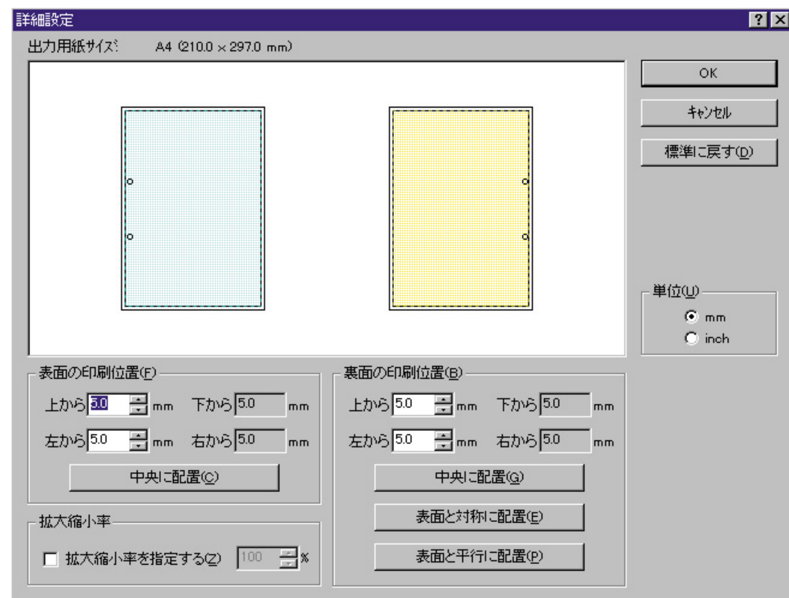
「詳細設定」(2650/2650E/2250/2050)

このボタンをクリックすると以下の[詳細設定]ダイアログボックスが開き、印刷位置や拡大縮小率を設定できます。



本機能は、以下の場合以外はいつでも有効で両面印刷などの印刷機能と組み合わせることができます。

- [フォーム]シートでフォーム印刷を設定している。
- [用紙]シートの[用紙サイズ]で[＊＊→＊＊]の用紙を選択している。



- [中央に配置]
  ボタンをクリックすると印刷範囲枠が用紙の中央に配置されます。

- [表面と対称に配置]
  両面印刷の場合、裏面設定のみの機能です。ボタンをクリックすると印刷範囲枠が綴じ辺を軸にして表面と対称の位置に配置されます。

- [表面と平行に配置]
  両面印刷の場合、裏面設定のみの機能です。ボタンをクリックすると印刷範囲枠が表面と同じ位置に配置されます。

- 「拡大縮小率」(2650/2650E/2250)
  本設定項目は[用紙]シートの[拡大縮小率]と連動しています。動作条件も同様です。また用紙レイアウト表示ウィンドウでマウス操作によって印刷範囲の大きさを変更した場合も、それに連動して表示されている数値が変更されます。

[グラフィックス]シート

このプロパティシートは印刷解像度やグラフィックスデータに対するプリンターの処理の設定を行うものです。以下の設定が可能です。

【MultiWriter 2650/2650E/2250/2050/2200X2/2200XE/2000X2の場合】

- 解像度
- ブラシパターンを拡大して印刷
- 印刷データ全体をビットマップで印刷
- グレイスケールの網点を細かくして印刷
- ハーフトーン カラーの調整



【MultiWriter 1400Xの場合】

- 解像度
- ブラシパターンを拡大して印刷
- 印刷データ全体をビットマップで印刷
- ハーフトーン カラーの調整



「解像度」

解像度を600dpi、400dpi、300dpi、240dpi、200dpiから選択できます。（1400Xの場合は、600dpi、300dpi、240dpiから選択できます。）

「ブラシパターンを拡大する」

解像度に合わせてブラシパターンの大きさを変える機能です。拡大率は設定されている解像度によって異なります。240dpiではこの設定は無効です。またアプリケーションによっては効果がないことがあります。

- 600dpi→300%（3倍拡大）
- 400dpi→200%（2倍拡大）＊
- 300dpi→300%（3倍拡大）
- 240dpi→100%（拡大しない）
- 200dpi→200%（2倍拡大）＊

＊　2650/2650E/2250/2050/2200X2/2200XE/2000X2に対応

「すべてビットマップで印刷する」

コンピューター側で文字、図形などをすべてビットマップ処理します。複雑な図形が多いドキュメントが高速に印刷できます。

「グレイスケールの網点を細かく印刷する」
（2650/2650E/2250/2050/2200X2/2200XE/2000X2）

グレースケールのパターンを細かく印刷します。グレーの濃淡を白地に黒いドットで作られたパターンで表現する際に、パターンの繰り返し周期が短くなります。



本設定は解像度に600dpiが設定されているときのみ有効で、その他の場合はグレー表示され使用できません。

［ハーフトーン カラーの調整］

クリックするとこのダイアログボックスが表示され、ハーフトーンの設定を行います。





設定できる項目はプリンターによって異なります。カラー印刷に適用される項目はMultiWriterシリーズのようなモノクロプリンターでは無効です。

- 「測光用の光」
  照度を調整して、イメージの表示を調整します。
- 「コントラスト」
  明暗の色調の差を調整することができます。
- 「明るさ」
  光の輝度を調整することができます。
- 「色」
  色の鮮やかさを調整することができます。
- 「濃淡」
  色合いを調整することができます。
- 「暗い色」
  露出過度のグラフィックを調整することができます。
- 「反転」
  色を反転することができます。

- 「RGBガンマの入力」
  入力イメージの明るさのアンバランスを修正することができます。赤、緑、青をまとめて調整するときは、それぞれのチェックボックスをオンにします。個別に調整するときはそれぞれのチェックボックスをオフにします。[リニア]チェックボックスをオンにすると入力イメージに等しい明るさを設定できます。

- 「黒/白の混合率」
  モノクロの混合率により、イメージの最も暗い点から明るい点までの範囲を設定することができます。

- 「テストパターン」
  参照色またはグラフィックを選択することができます。

- 「表示」
  テストパターンで選択した参照色またはグラフィックを表示させます。

- 「最大化」
  フルスクリーンを使ってグラフィックを表示させます。

- 「パレット」
  グラフィックのカラーパレットを表示させます。

- 「スケール」
  グラフィックを元の比率で表示させます。

- 「Xフリップ」
  イメージを水平軸に沿って反転させます。

- 「Yフリップ」
  イメージを垂直軸に沿って反転させます。

- [標準値]
  クリックするとダイアログボックスの設定を標準の値に戻します。

- [戻す]
  クリックするとダイアログボックスの設定を、ダイアログボックスが表示されたときの状態に戻します。

- [開く]
  クリックするとグラフィックファイルを選択することができます。

- [名前を付けて保存]
  クリックすると開いたグラフィックファイルを保存します。

[フォント]シート

このプロパティシートはフォントに関する以下の設定を行うものです。

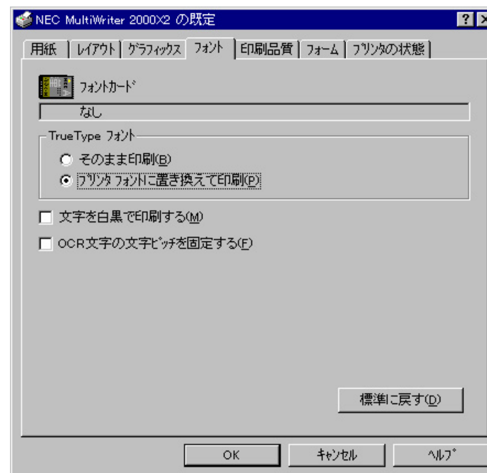
【MultiWriter 2650/2650E/2250/2050の場合】

- TrueTypeフォントの置き換え方法
- 文字を白黒で印刷する/しない
- OCR文字の文字ピッチ固定



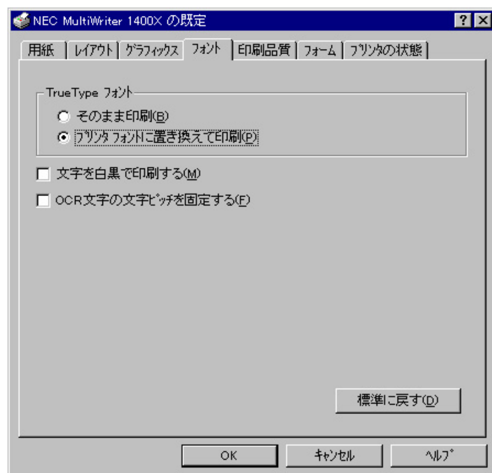
【MultiWriter 2200X2/2200XE/2000X2の場合】

- フォントカード
- TrueTypeフォントの置き換え方法
- 文字を白黒で印刷する/しない
- OCR文字の文字ピッチ固定



【MultiWriter 1400Xの場合】

- TrueTypeフォントの置き換え方法
- 文字を白黒で印刷する/しない
- OCR文字の文字ピッチ固定



「フォントカード」(2200X2/2200XE/2000X2)

プリンター本体にセットしたオプションのフォントカードが表示されます。



MultiWriter 2200X2/2200XE/2000X2で使用できるフォントカードは以下の3つです。

- 丸ゴシック体-M　漢字アウトラインフォントカード（型番：PC-PRPF-01）
- 教科書体-M　漢字アウトラインフォントカード（型番：PC-PRPF-02）
- 瑞筆行書体-M　漢字アウトラインフォントカード（型番：PC-PRPF-03）

「TrueTypeフォント」

TrueTypeフォントの置き換え方法を設定することができます。

- **そのまま印刷**
  アプリケーションから送られたTrueTypeフォントイメージをそのままビットマップで印刷します。

- **プリンタフォントに置き換えて印刷**
  ［プリンタの設定］シートの［置き換えるフォントの設定］をクリックして表示される［TrueType 置き換えテーブル］ダイアログボックスで設定した内容に従って割り付けられたフォントで印刷します。

［割付内容の表示］（2650/2650E/2250/2050）

［TrueType置き換えテーブル］を表示し、割り付け内容の確認を行うことができます。



「文字を白黒で印刷する」

チェックボックスをチェックすると文字の色を、グレースケールを使わずに、白色の文字は白、その他の色の文字は黒で印刷します。

「OCR文字の文字ピッチを固定印刷する」

チェックボックスをチェックするとOCR文字列を強制的にJISで定められた文字ピッチに固定して印刷します。

[印刷品質]シート

このプロパティシートは印刷品質に関する以下の設定を行うものです。

- SET機能
- トナー節約機能
- 印刷濃度の設定



「SET機能」

SET機能を使用するかしないかを選択します。SET機能を使用するとテキストやグラフィックのエッジのギザギザをなくし、画質を向上させることができます。

「トナー節約機能」

トナー節約モードを使用するかしないかを切り替えます。



トナー節約機能を使用すると、細い線、濃度の薄い印刷、網かけおよびグラデーションが不鮮明になることがあります。本機能は試し印刷などにご使用ください。

「印刷濃度の設定」

印刷濃度を5段階の中からスライダーで設定します。

[フォーム]シート

このプロパティシートの設定はフォーム印刷を利用する場合にフォーム印刷に関する設定を行うものです。フォーム印刷とは見出し文字や罫線枠などのフォームデータを文書データと重ね合わせて印刷することです。フォームデータを作成するには別売のアプリケーションが必要です。



「フォーム印刷」

フォーム印刷をする場合、[ファイル]コンボボックスから使用したいフォームファイルを選びます。コンボボックスに希望のファイルがない場合は[ファイル参照]をクリックして他の場所のファイルを参照することができます。

「フォームデータを先に描画する」

フォーム印刷を行う場合、フォームデータを文書データの上に描画するかどうかを選択します。

[補助機能]シート(2650/2650E/2250)

このプロパティシートは印刷時にプリンターの操作パネルの下段に表示する文字列を設定します。



「操作パネル表示」

● **なし**
プリンターの操作パネルの下段には何も表示しません。

● **ユーザ名**
ネットワーク上にログインしたときのユーザー名が操作パネルの下段に表示されます。[ユーザ名]をチェックすると[表示文字列]テキストボックスでユーザー名が確認できます。

● **指定文字列**
プリンターの操作パネルの下段に[表示文字列]に入力した文字列が表示されます。

● **表示文字列**

プリンターの操作パネルの下段に表示される文字列です。[指定文字列]を選択した場合は、16文字まで入力可能になります。入力可能な文字については以下の表を参照してください。[ユーザ名]を選択した場合は、ユーザー名が表示されます。
[ユーザ名]に入力可能な文字以外の文字が設定されている場合、[なし]が選択されます。

[表示文字列]に入力可能な文字一覧(スペースを含む)

	!	#	$	%	&	‘	(	)	=
-	'	^	|	¦	@	{	[	+	;
*	:	}	]	<	,	>	.	?	/
_									
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z				
a	b	c	d	e	f	g	h	i	j
k	l	m	n	o	p	q	r	s	t
u	v	w	x	y	z				
ｱ	ｲ	ｳ	ｴ	ｵ	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ
ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ	ﾀ	ﾁ	ﾂ	ﾃ	ﾄ
ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ
ﾏ	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	ﾔ	ﾕ	ﾖ	ﾗ	ﾘ
ﾙ	ﾚ	ﾛ	ﾜ	ｦ	ﾝ	ｧ	ｨ	ｩ	ｪ
ｫ	ｬ	ｭ	ｮ	ｯ	ﾞ	ﾟ	ｰ	｢	｣
､	｡	･							

半角文字のみ入力可能です。

[プリンタの状態]シート

このプロパティシートは現在のプリンターの状態を表示するものです。

【MultiWriter 2650/2200X2の場合】

MultiWriter 2650/2200X2の場合、両面印刷ユニットは標準装備されるため、[プリンタの状態]シートに[現在の構成]としては表示されません。



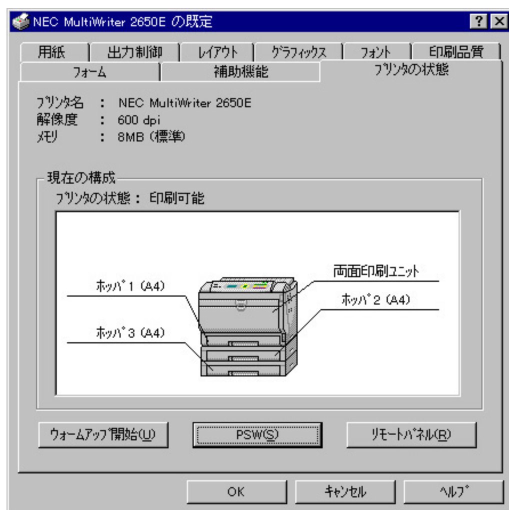
MultiWriter 2650



MultiWriter 2200X2

【MultiWriter 2650E/2250/2050/2200XE/2000X2/1400Xの場合】

MultiWriter 2650E/2250/2050/2200XE/2000X2/1400Xの場合、両面印刷ユニットはオプションのため、[プリンタの状態]シートに[現在の構成]として表示されます。



MultiWriter 2650E/2250/2050



MultiWriter 2200XE/2000X2



MultiWriter 1400X

[ウォームアップ開始]

クリックするとプリンターのウォームアップを開始します。
印刷を開始する前に[ウォームアップ開始]をクリックしておくと、あらかじめプリンターのウォームアップが開始され、ウォームアップによる待ち時間が少なくなります。

[プリンタステータスウインドウ(PSW)]

クリックするとプリンタステータスウィンドウが起動します。

[リモートパネル]

クリックするとリモートパネルが起動します。詳細についてはユーザーズマニュアルを参照してください。

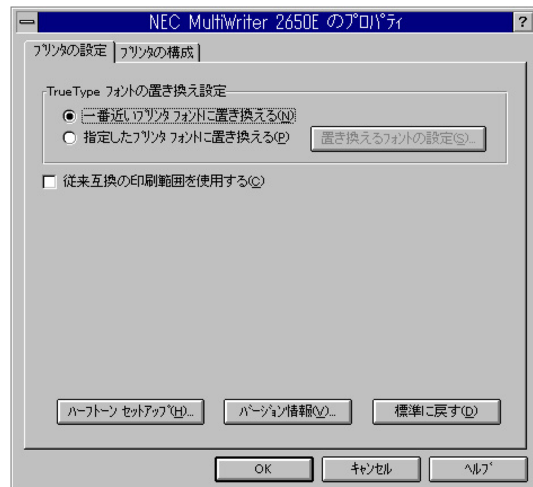
Windows NT 3.51の場合

Windows NT 3.51では以下の2つのプロパティダイアログボックスで行います。

[デバイスプロパティ]ダイアログボックス

このダイアログボックスはプリンターのポートや共有などに関する設定を行うものです。次の2枚のプロパティシートで構成されています。このダイアログボックスはアプリケーションのメニューからは表示させることができません。

- [プリンタの設定]シート
- [プリンタの構成]シート



[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックス

このダイアログボックスは印刷の詳細な設定を行うものです。次の9枚のプロパティシートで構成されています。

- [用紙]シート
- [出力制御]シート*1
- [レイアウト]シート
- [グラフィックス]シート
- [フォント]シート
- [印刷品質]シート
- [フォーム]シート
- [補助機能]シート*2
- [プリンタの状態]シート

*1　2200X2/2200XE/2000X2/1400Xには対応していません。

*2　2050/2200X2/2200XE/2000X2/1400Xには対応していません。



ダイアログボックスの開き方

プロパティダイアログボックスを開く方法は次の2通りあります。

- **アプリケーションのメニューから開く方法**

  一般的にダイアログボックスの設定は、そのアプリケーションでのみ有効となります。またアプリケーションから呼び出せるのは印刷設定を行う[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスだけです。

- **Windows付属の[プリントマネージャ]を使って開く方法**

  ダイアログボックスの設定、[デバイスプロパティ]、[ドキュメントプロパティ]ともに、すべてのアプリケーションでの基本設定になります。

アプリケーションから開く

Windowsのアプリケーションから[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスを開く場合、[印刷]コマンドか[プリンタの設定]コマンドを使います。(このコマンドは、ほとんどの場合[ファイル]メニューの中にありますが、[ファイル]メニューの構成はアプリケーションによって異なります。詳しくはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。)

ここではWindows NT 3.51に付属されている日本語ワードプロセッサー「ライト」を例にとって、[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスを開く手順を説明します。任意のライト文書を表示させて次の手順を確認してください。

1. [ファイル]メニューの[プリンタの設定]をクリックする。

[プリンタの設定]ダイアログボックスが開きます。

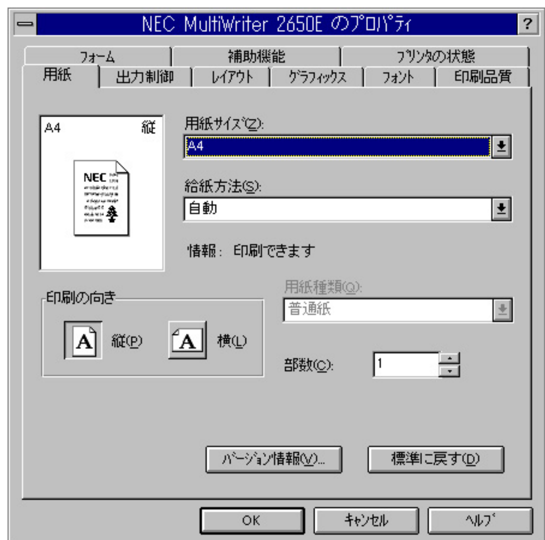


2. [プロパティ]をクリックする。



このような[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。

各プロパティシートについては「設定の概要(ドキュメントプロパティ)」を参照してください。



[プリントマネージャ]を使って開く

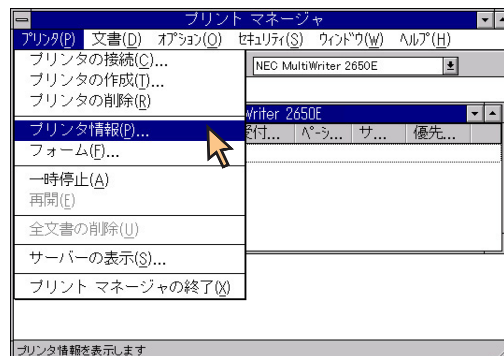
1. [プリントマネージャ]を開く。



2. [プリンタ]メニューの[プリンタ情報]をクリックする。

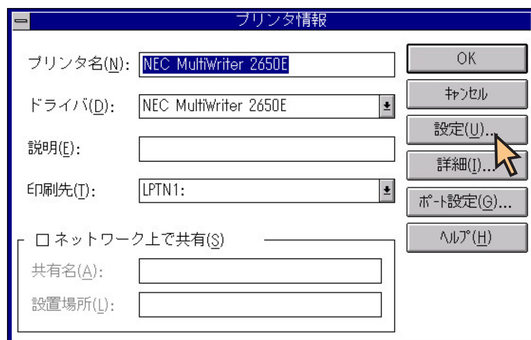
[プリンタ情報]ダイアログボックスが表示されます。

[デバイスプロパティ]ダイアログボックスを開きたい場合は手順3を、[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスを開きたい場合は手順4および手順5を行ってください。



3. [設定]をクリックする。

[デバイスプロパティ]ダイアログボックスが開きます。



このような[デバイスプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。

各プロパティシートについては「設定の概要(デバイスプロパティ)」を参照してください。

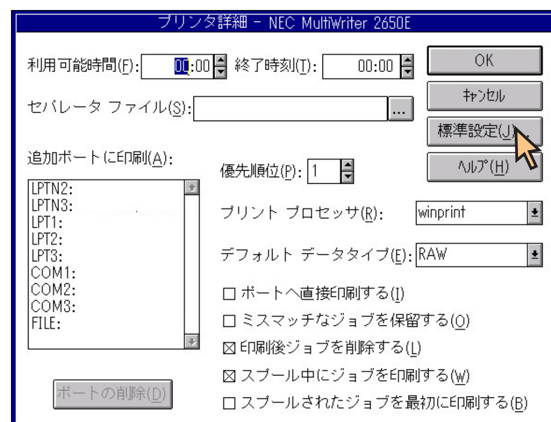


4. [詳細]をクリックする。

[プリンタ詳細]ダイアログボックスが表示されます。



5. [標準設定]をクリックする。



このような[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。

各プロパティシートについては「設定の概要(ドキュメントプロパティ)」を参照してください。



設定の概要(デバイスプロパティ)

[デバイスプロパティ]ダイアログボックスの概要をプロパティシートごとに説明します。詳細は各プロパティシート上のそれぞれの項目の上で右クリックすることによりヘルプでも説明されています。

[プリンタの設定]シート

このプロパティシートは以下のプリンターの設定を行います。

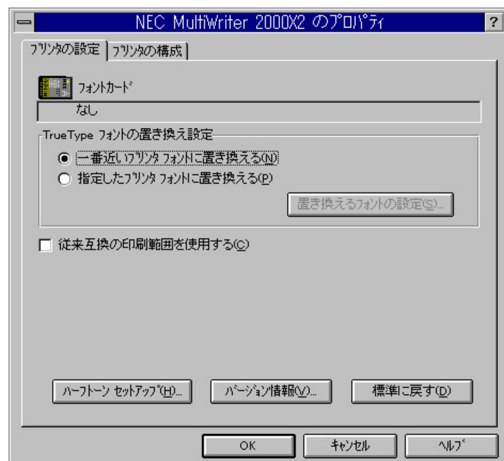
【MultiWriter 2650/2650E/2250/2050/1400X】

- TrueTypeフォントの置き換え設定
- 従来互換の印刷範囲を使用する/しない
- ハーフトーンの設定



【MultiWriter 2200X2/2200XE/2000X2】

- フォントカード
- TrueTypeフォントの置き換え設定
- 従来互換の印刷範囲を使用する/しない
- ハーフトーンの設定



「フォントカード」(2200X2/2200XE/2000X2)

プリンター本体にセットしたオプションのフォントカードが表示されます。



MultiWriter 2200X2/2200XE/2000X2で使用できるフォントカードは以下の3つです。

- 丸ゴシック体-M　漢字アウトラインフォントカード（型番：PC-PRPF-01）
- 教科書体-M　漢字アウトラインフォントカード（型番：PC-PRPF-02）
- 瑞筆行書体-M　漢字アウトラインフォントカード（型番：PC-PRPF-03）

「TrueTypeフォントの置き換え設定」

TrueTypeフォントの置き換え方法を設定することができます。

- 一番近いプリンタフォントに置き換える
  アプリケーションから送られたTrueTypeフォントを書体が似ているプリンターフォントに置き換えます。

- 指定したプリンタフォントに置き換える
  アプリケーションから送られたTrueTypeフォントを[置き換えるフォントの設定]によって設定したプリンターフォントに置き換えます。

[置き換えるフォントの設定]

このダイアログボックスを使って置き換えるプリンターフォントを設定します。それぞれフォントを選択して[OK]をクリックすることで置き換えが設定されます。



[標準に戻す]をクリックするとフォントの置き換えに関する設定を標準設定に戻すことができます。



ANSI、SHIFT JISなど文字セットが異なるフォント、デザインが著しく異なるフォントへの置き換えは行わないでください。期待どおりの印刷結果にならない場合があります。

「従来互換の印刷範囲を使用する」

印刷範囲をMultiWriter 2400X/2200NW2など、MultiWriter 2000X以前のMultiWriterシリーズのプリンターと同じ印刷範囲に設定する場合に選択します。



この設定を変更することで印刷位置が印刷範囲の外側に設定される場合があります。その場合は[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスの[レイアウト]シートにある[詳細設定]にて確認の上、印刷位置を設定し直してください。

従来互換の印刷範囲を設定しない場合は、用紙の全周5mm 幅が余白となります。

[ハーフトーン セットアップ]

クリックするとこのダイアログボックスが表示され、ハーフトーンの設定を行います。



- **ハーフトーンのパターン**
  ハーフトーンパターンのセルサイズを設定することができます。
- **デバイスガンマ**
  デバイスのガンマ補正を行うことができます。
- **ピクセルの大きさ**
  ピクセルの大きさを設定することができます。
- **輝度**
  白の明るさの値を調整することができます。
- **[リセット]**
  クリックするとダイアログボックスの設定をダイアログボックスが表示されたときの状態に戻します。
- **[標準値]**
  クリックするとダイアログボックスの設定を標準の値に戻します。

[バージョン情報]

クリックすると本プリンタードライバーのバージョン情報が表示されます。

[プリンタの構成]シート

このプロパティシートはプリンターの構成を表示・設定するものです。プリンターとコンピューターとの間で双方向通信が行われているとき、プリンターに装着されているフォントカード、メモリー、オプション装置が表示されます。双方向通信ができない場合はそれぞれ表示される項目から装着されているものをクリックして選択し、プリンターの構成を設定します。

【MultiWriter 2650/2200X2の場合】

MultiWriter 2650/2200X2の場合、両面印刷ユニットは標準装備されるため、[プリンタの構成]シートに[オプション装置]としては表示されません。



MultiWriter 2650



MultiWriter 2200X2

【MultiWriter 2650E/2250/2050/2200XE/2000X2/1400Xの場合】

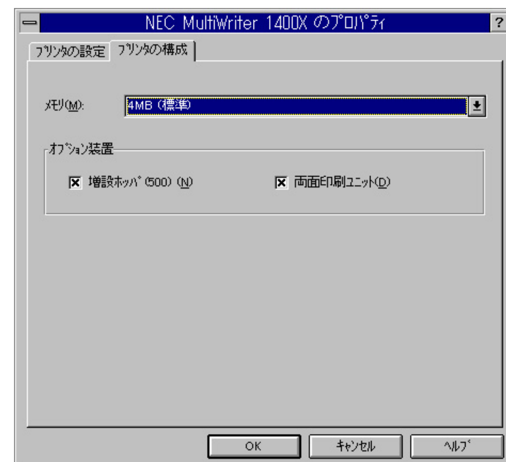
MultiWriter 2650E/2250/2050/2200XE/2000X2/1400Xの場合、両面印刷ユニットはオプションのため、[プリンタの構成]シートに[オプション装置]として表示されます。



MultiWriter 2650E/2250/2050



MultiWriter 2200XE/2000X2



MultiWriter 1400X

設定の概要(ドキュメントプロパティ)

[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスの概要をプロパティシートごとに説明します。詳細は各プロパティシート上のそれぞれの項目の上で右クリックすることによりヘルプでも説明されています。

[用紙]シート

このプロパティシートは以下の用紙に関する設定を行います。

【MultiWriter 2650/2650E/2250の場合】

- 用紙サイズ
- 用紙種類
- 印刷の向き
- 部数
- 給紙方法



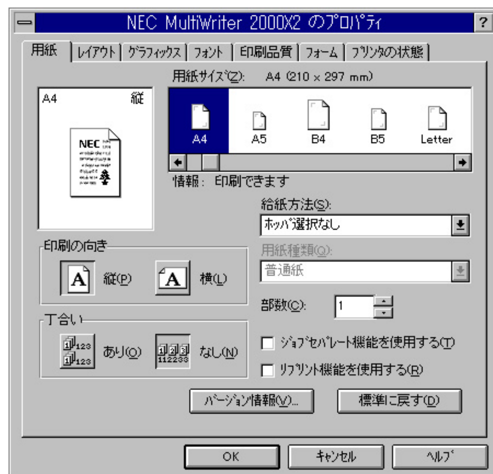
【MultiWriter 2050の場合】

- 用紙サイズ
- 用紙種類
- 印刷の向き
- 部数
- 給紙方法



【MultiWriter 2200X2/2200XE/2000X2の場合】

- 用紙サイズ
- 給紙方法
- 印刷の向き
- 用紙種類
- 丁合い
- 部数
- ジョブセパレート機能を使用する
- リプリント機能を使用する



【MultiWriter 1400Xの場合】

- 用紙サイズ
- 給紙方法
- 印刷の向き
- 部数
- 丁合い
- フェイスアップ排出を使用する
- リプリント機能を使用する



「用紙サイズ」

印刷する用紙サイズ、縮小・拡大サイズを選択できます。



アプリケーションによっては[A3→A4]などの縮小・拡大が正しく印刷されないものがあります。

「給紙方法」

給紙先ホッパをコンボボックスから選択します。コンボボックスには使用できる給紙方法が表示されます。[自動]にしておくと、選択されている用紙サイズがセットされているホッパから自動的に給紙されます。



[用紙サイズエラーを検出する]をチェックしていない場合[用紙]シートの[給紙方法]で[自動]を選択しても[トレー]からの給紙を行いません。[トレー]からも給紙を行いたいときは[用紙サイズエラーを検出する]をチェックしてください。ただしプリンター操作パネルで[トレー]が設定されている場合は、[給紙方法]が[自動]でも[用紙サイズエラーを検出する]のチェックにかかわらず、トレーから給紙されます。

「印刷の向き」

ページを縦長(ポートレート)か横長(ランドスケープ)で印刷するかを設定します。枠内の用紙ボタンをクリックして選択します。

「用紙種類」

[給紙方法]が[トレー]のときのみ、用紙の種類を[普通紙]、[厚紙]、[OHP]の3種類から選択できます。[トレー]以外のときは[普通紙]のみとなり、選択することができません。

「部数」

印刷時の部数(コピー部数)を指定することができます。1〜99部まで設定可能です。



アプリケーションの印刷機能で部数を設定できる場合があります。アプリケーション側で設定できる場合は、アプリケーション側で設定するようにしてください。

「フェイスアップ排出機能を使用する」(1400X)

印刷面を上にして、プリンター背面に印刷結果を排出するかしないかを設定します。



フェイスアップ排出機能を使用する場合は、オプションのフェイスアップトレイ(型番:PR-L1400X-01)を使用してください。

[バージョン情報]

クリックすると本プリンタードライバーのバージョン情報が表示されます。

[出力制御]シート(2650/2650E/2250/2050)

このプロパティシートは以下の出力制御に関する設定を行います。

- 丁合い機能
- ジョブセパレート機能
- リプリント機能
- 用紙サイズエラーを検出する/しない
- プリンタ自動切替機能



「丁合い」

複数の部数を指定した場合、丁合いの有無が有効になります。ジョブセパレート機能と組み合わせて使用することによって、ソーター機能を実現することができます。
[プリンタ情報]ダイアログボックスの[印刷先]で双方向ポートが選択されている場合のみ使用できます。



アプリケーションの印刷機能で「丁合い」の指定ができる場合がありますが、アプリケーションによっては、プリンターの丁合い機能を使用せずに、アプリケーション独自の機能で丁合い印刷を実現している場合があります。このような場合には、アプリケーションの丁合い機能は使用せずに、プリンターのプロパティで「丁合い」を設定してください。

Windows NT 3.51では、クライアント・サーバーシステムにおいて「丁合い」の設定をご使用になるためには、クライアント、サーバー両者にPrintAgentのインストールが必要です。さらに、PrintAgentのプロパティにおいて、クライアントでは[共有プリンタを利用する]が、サーバーでは[共有プリンタを提供する]をチェックしておく必要があります。

「ジョブセパレート機能を使用する」

ジョブセパレート機能を使用するかしないかを切り替えます。ジョブセパレート機能とは、文書を印刷実行した単位で、縦横に置き分けてスタッカーに排出する機能です。詳細についてはユーザーズマニュアルをご覧ください。

● 丁合い機能と連動する
チェックボックスをチェックするとジョブセパレート機能と丁合い機能を連動して印刷することができます。



本機能はプリンター本体のいずれかのホッパーまたはトレーにA4用紙を縦、横にセットしておく必要があります。
[用紙サイズ]にA4用紙(＊＊→A4を含む)が設定されていない場合や[給紙方法]に[自動]が設定されていない場合は、ジョブセパレート機能はグレー表示され使用できません。

「リプリント機能を使用する」

リプリント機能を使用するかしないかを選択します。一度印刷した文章をアプリケーションから再び印刷を実行することなく、再印刷を行う機能です。詳細についてはユーザーズマニュアルをご覧ください。



本機能は、片方向通信時等でリプリント機能が使用できない場合、またはプリンターが自動切替用としてインストールされている場合は、グレー表示され使用できません。

「用紙サイズエラーを検出する」

チェックボックスをチェックすると、トレーから給紙する際に設定されている用紙サイズと異なる用紙を吸入すると用紙サイズエラーを検出します。



本機能は、[出力用紙サイズ]コンボボックスで[ユーザ定義]を指定した場合はグレー表示され使用できません。
[用紙サイズエラーを検出する]をチェックしていない場合[用紙]シートの[給紙方法]で[自動]を選択しても[トレー]からの給紙を行いません。[トレー]からも給紙を行いたいときは[用紙サイズエラーを検出する]をチェックしてください。ただしプリンター操作パネルで[トレー]が設定されている場合は、[給紙方法]が[自動]でも[用紙サイズエラーを検出する]のチェックにかかわらず、トレーから給紙されます。

「プリンタ自動切替機能を使用する」

プリンターを自動切り替え用としてインストールした場合に、チェックボックスをチェックすると、グルーピングされた各プリンターに印刷文書を自動分配します。



本機能は、プリンターが自動切り替え用としてインストールされていない場合は、グレー表示され使用できません。

[レイアウト]シート

このプロパティシートは以下のレイアウトに関する設定を行うものです。

【MultiWriter 2650/2650E/2250/2050の場合】

- 両面印刷
- 印刷開始ページ
- 印刷位置の調整(詳細設定)



【MultiWriter 2200X2/2200XE/2000X2/1400Xの場合】

- 両面印刷
- 綴じ方向
- 印刷開始ページ



「両面印刷」

両面印刷するかどうか、および両面印刷する場合の綴じ方を設定します。



[用紙]シートの[用紙サイズ]で[はがき]、[往復はがき]、[封筒洋形4号]、[ユーザ定義サイズ]が選択されている場合や、[用紙種類]で[厚紙]、[OHP]が選択されている場合には、両面印刷はできません。



MultiWriter 2650E/2250/2050/2200XE/2000X2で両面印刷を行うには両面印刷ユニット(型番：PR-L2000X2-DL)をプリンターに装着する必要があります。また、MultiWriter 1400Xで両面印刷を行うには両面印刷ユニット(型番：PR-L1400X-04)をプリンターに装着する必要があります。

- 印刷開始ページ
  両面印刷する場合に、先頭ページを用紙の表面から印刷するか裏面から印刷するかを選択します。両面印刷が選択されていない場合はグレー表示となり使用できません。

「綴じ方向」(2200X2/2200XE/2000X2/1400X)

両面印刷時の綴じ方向と綴じしろを設定します。
綴じしろは0mm～20mmまでの1mm単位で余白の設定ができます。

「詳細設定」(2650/2650E/2250/2050)

このボタンをクリックすると以下の[詳細設定]ダイアログボックスが開き、印刷位置を設定できます。



本機能は、以下の場合以外はいつでも有効で両面印刷などの印刷機能と組み合わせることができます。

- [フォーム]シートやフォーム印刷を設定している。
- [用紙]シートの[用紙サイズ]で[＊＊→＊＊]の用紙を選択している。

詳細設定

用紙サイズ:　A4 (210.0 × 297.0 mm)

OK
キャンセル
標準に戻す(D)

表面の印刷位置(F)
上から 5.0 mm　下から 5.0 mm
左から 5.0 mm　右から 5.0 mm
中央に配置(C)

裏面の印刷位置(B)
上から 5.0 mm　下から 5.0 mm
左から 5.0 mm　右から 5.0 mm
中央に配置(G)
表面と対称に配置(E)
表面と平行に配置(P)

単位(U)
mm　inch

- **[中央に配置]**
  ボタンをクリックすると印刷範囲枠が用紙の中央に配置されます。

- **[表面と対称に配置]**
  両面印刷の場合、裏面設定のみの機能です。ボタンをクリックすると印刷範囲枠が綴じ辺を軸にして表面と対称の位置に配置されます。

- **[表面と平行に配置]**
  両面印刷の場合、裏面設定のみの機能です。ボタンをクリックすると印刷範囲枠が表面と同じ位置に配置されます。

[グラフィックス]シート

このプロパティシートは印刷解像度やグラフィックスデータに対するプリンターの処理の設定を行うものです。以下の設定が可能です。

【MultiWriter 2650/2650E/2250/2050/2200X2/2200XE/2000X2の場合】

- 解像度
- ブラシパターンを拡大して印刷
- 印刷データ全体をビットマップで印刷
- グレイスケール(網点を細かくして印刷)
- ハーフトーン カラーの調整



【MultiWriter 1400Xの場合】

- 解像度
- ブラシパターンを拡大して印刷
- 印刷データ全体をビットマップで印刷
- ハーフトーン カラーの調整



「解像度」

解像度を600dpi、400dpi、300dpi、240dpi、200dpiから選択できます。（1400Xの場合は、600dpi、300dpi、240dpiから選択できます。）

「ブラシパターンを拡大する」

解像度に合わせてブラシパターンの大きさを変える機能です。拡大率は設定されている解像度によって異なります。240dpiではこの設定は無効です。またアプリケーションによっては効果がないことがあります。

- 600dpi→300%（3倍拡大）
- 400dpi→200%（2倍拡大）*
- 300dpi→300%（3倍拡大）
- 240dpi→100%（拡大しない）
- 200dpi→200%（2倍拡大）*

* 2650/2650E/2250/2050/2200X2/2200XE/2000X2に対応

「すべてビットマップで印刷する」

コンピューター側で文字、図形などをすべてビットマップ処理します。複雑な図形が多いドキュメントが高速に印刷できます。

「グレイスケールの網点を細かく印刷する」
（2650/2650E/2250/2050/2200X2/2200XE/2000X2）

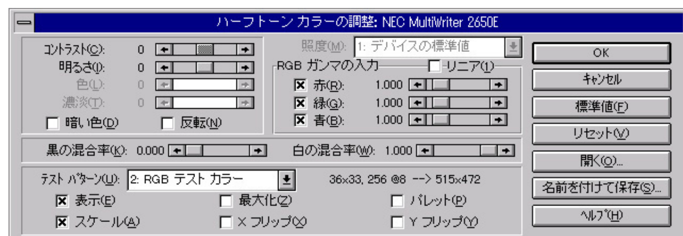
グレースケールのパターンを細かく印刷します。グレーの濃淡を白地に黒いドットで作られたパターンで表現する際に、パターンの繰り返し周期が短くなります。



本設定は解像度に600dpiが設定されているときのみ有効で、その他の場合はグレー表示され使用できません。

[ハーフトーン カラーの調整]

クリックするとこのダイアログボックスが表示され、ハーフトーンの設定を行います。




チェック

設定できる項目はプリンターによって異なります。カラー印刷に適用される項目はMultiWriterシリーズのようなモノクロプリンターでは無効です。

- 「測光用の光」
  照度を調整して、イメージの表示を調整します。
- 「コントラスト」
  明暗の色調の差を調整することができます。
- 「明るさ」
  光の輝度を調整することができます。
- 「色」
  色の鮮やかさを調整することができます。
- 「濃淡」
  色合いを調整することができます。
- 「暗い色」
  露出過度のグラフィックを調整することができます。
- 「反転」
  色を反転することができます。
- 「RGBガンマの入力」
  入力イメージの明るさのアンバランスを修正することができます。赤、緑、青をまとめて調整するときは、それぞれのチェックボックスをオンにします。個別に調整するときはそれぞれのチェックボックスをオフにします。[リニア]チェックボックスをオンにすると入力イメージに等しい明るさを設定できます。
- 「黒/白の混合率」
  モノクロの混合率により、イメージの最も暗い点から明るい点までの範囲を設定することができます。
- 「テストパターン」
  参照色またはグラフィックを選択することができます。
- 「表示」
  テストパターンで選択した参照色またはグラフィックを表示させます。
- 「最大化」
  フルスクリーンを使ってグラフィックを表示させます。
- 「パレット」
  グラフィックのカラーパレットを表示させます。
- 「スケール」
  グラフィックを元の比率で表示させます。
- 「Xフリップ」
  イメージを水平軸に沿って反転させます。
- 「Yフリップ」
  イメージを垂直軸に沿って反転させます。
- [標準値]
  クリックするとダイアログボックスの設定を標準の値に戻します。

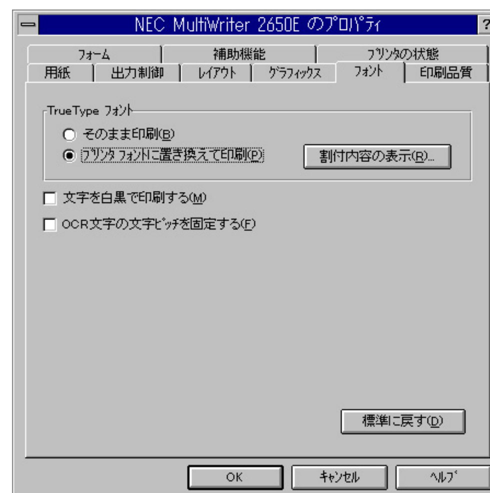
- [戻す]
  クリックするとダイアログボックスの設定を、ダイアログボックスが表示されたときの状態に戻します。
- [開く]
  クリックするとグラフィックファイルを選択することができます。
- [名前を付けて保存]
  クリックすると開いたグラフィックファイルを保存します。

[フォント]シート

このプロパティシートはフォントに関する以下の設定を行うものです。

【MultiWriter 2650/2650E/2250/2050の場合】

- TrueTypeフォントの置き換え方法
- 文字を白黒で印刷する/しない
- OCR文字の文字ピッチ固定



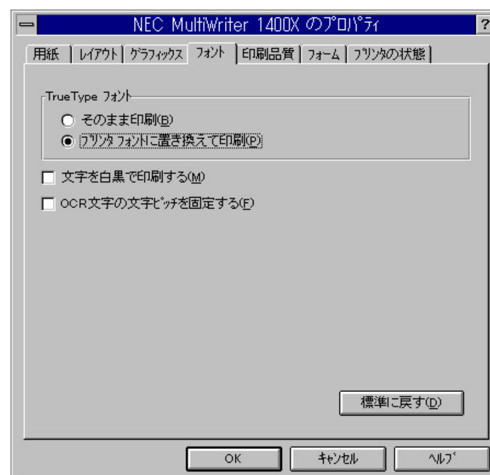
【MultiWriter 2200X2/2200XE/2000X2の場合】

- フォントカード
- TrueTypeフォントの置き換え方法
- 文字を白黒で印刷する/しない
- OCR文字の文字ピッチ固定



【MultiWriter 1400Xの場合】

- TrueTypeフォントの置き換え方法
- 文字を白黒で印刷する/しない
- OCR文字の文字ピッチ固定



「フォントカード」(2200X2/2200XE/2000X2)

プリンター本体にセットしたオプションのフォントカードが表示されます。



MultiWriter 2200X2/2200XE/2000X2で使用できるフォントカードは以下の3つです。

- 丸ゴシック体-M　漢字アウトラインフォントカード（型番：PC-PRPF-01）
- 教科書体-M　漢字アウトラインフォントカード（型番：PC-PRPF-02）
- 瑞筆行書体-M　漢字アウトラインフォントカード（型番：PC-PRPF-03）

「TrueTypeフォント」

TrueTypeフォントの置き換え方法を設定することができます。

- そのまま印刷
  アプリケーションから送られたTrueTypeフォントイメージをそのままビットマップで印刷します。

- プリンタフォントに置き換えて印刷
  [プリンタの設定]シートの[置き換えるフォントの設定]をクリックして表示される[TrueType 置き換えテーブル]ダイアログボックスで設定した内容に従って割り付けられたフォントで印刷されます。

[割付内容の表示](2650/2650E/2250/2050)

[TrueType置き換えテーブル]を表示します。



「文字を白黒で印刷する」

チェックボックスをチェックすると文字の色を、グレースケールを使わずに、白色の文字は白、その他の色の文字は黒で印刷します。

「OCR文字の文字ピッチを固定して印刷する」

チェックボックスをチェックするとOCR文字列を強制的にJISで定められた文字ピッチに固定して印刷します。

[印刷品質]シート

このプロパティシートは印刷品質に関する以下の設定を行うものです。

- SET機能
- トナー節約機能
- 印刷濃度の設定



「SET機能」

SET機能を使用するかしないかを選択します。SET機能を使用するとテキストやグラフィックのエッジのギザギザをなくし、画質を向上させることができます。

「トナー節約機能」

トナー節約モードを使用するかしないかを切り替えます。


チェック

トナー節約機能を使用すると、細い線、濃度の薄い印刷、網かけおよびグラデーションが不鮮明になることがあります。本機能は試し印刷などにご使用ください。

「印刷濃度の設定」

印刷濃度を5段階の中からスライダーで設定します。

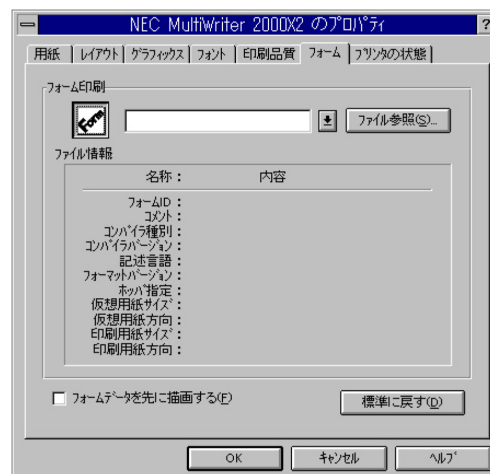
［フォーム］シート

このプロパティシートの設定はフォーム印刷を利用する場合にフォーム印刷に関する設定を行うものです。フォーム印刷とは見出し文字や罫線枠などのフォームデータを文書データと重ね合わせて印刷することです。フォームデータを作成するには別売のアプリケーションが必要です。

【MultiWriter 2650/2650E/2250/2050の場合】



【MultiWriter 2200X2/2200XE/2000X2/1400Xの場合】



「フォーム印刷」

フォーム印刷をする場合、［ファイル］コンボボックスから使用したいフォームファイルを選びます。コンボボックスに希望のファイルがない場合は［ファイル参照］をクリックして他の場所のファイルを参照することができます。

「フォームデータを先に描画する」

フォーム印刷を行う場合、フォームデータを文書データの上に描画するかどうかを選択します。

[補助機能]シート
(2650/2650E/2250/2050/2200X2/2200XE/2000X2)

このプロパティシートは印刷時にプリンターの操作パネルの下段に表示する文字列を設定します。



「操作パネル表示」

● **なし**
プリンターの操作パネルの下段には何も表示しません。

● **ユーザ名**
ネットワーク上にログインしたときのユーザ名が操作パネルの下段に表示されます。[ユーザ名]をチェックすると[表示文字列]テキストボックスでユーザー名が確認できます。

● **指定文字列**
プリンターの操作パネルの下段に[表示文字列]に入力した文字列が表示されます。

● **表示文字列**
プリンターの操作パネルの下段に表示される文字列です。[指定文字列]を選択した場合は、16文字まで入力可能になります。入力可能な文字については以下の表を参照してください。[ユーザ名]を選択した場合は、ユーザー名が表示されます。
[ユーザ名]に入力可能な文字以外の文字が設定されている場合、[なし]が選択されます。

[表示文字列]に入力可能な文字一覧(スペースを含む)

	!	#	$	%	&	‘	(	)	=
-	'	^	|	¦	@	{	[	+	;
*	:	}	]	<	,	>	.	?	/
_									
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z				
a	b	c	d	e	f	g	h	i	j
k	l	m	n	o	p	q	r	s	t
u	v	w	x	y	z				
ｱ	ｲ	ｳ	ｴ	ｵ	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ
ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ	ﾀ	ﾁ	ﾂ	ﾃ	ﾄ
ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ
ﾏ	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	ﾔ	ﾕ	ﾖ	ﾗ	ﾘ
ﾙ	ﾚ	ﾛ	ﾜ	ｦ	ﾝ	ｧ	ｨ	ｩ	ｪ
ｫ	ｬ	ｭ	ｮ	ｯ	ﾞ	ﾟ	ｰ	｢	｣
､	｡	･							

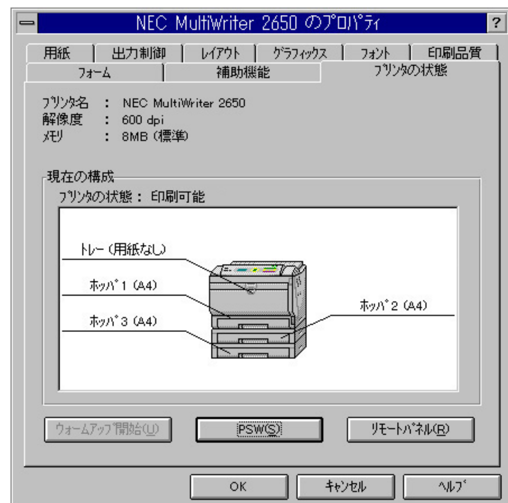
半角文字のみ入力可能です。

[プリンタの状態]シート

このプロパティシートは現在のプリンターの状態を表示するものです。

【MultiWriter 2650/2200X2の場合】

MultiWriter 2650/2200X2の場合、両面印刷ユニットは標準装備されるため、[プリンタの状態]シートに[現在の構成]としては表示されません。



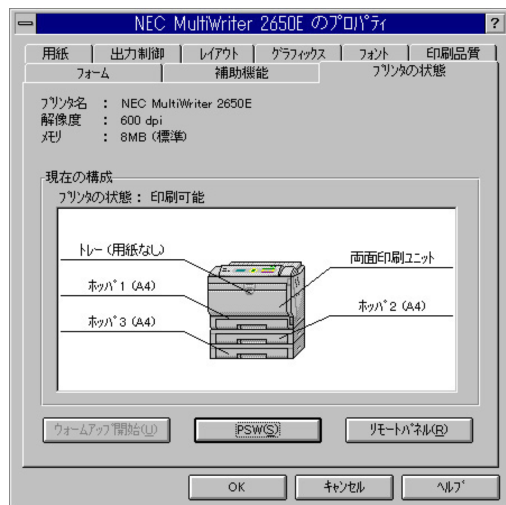
MultiWriter 2650



MultiWriter 2200X2

【MultiWriter 2650E/2250/2050/2200XE/2000X2/1400Xの場合】

MultiWriter 2650E/2250/2050/2200XE/2000X2/1400Xの場合、両面印刷ユニットはオプションのため、[プリンタの状態]シートに[現在の構成]として表示されます。



MultiWriter 2650E/2250/2050



MultiWriter 2200XE/2000X2



MultiWriter 1400X

[ウォームアップ開始]

クリックするとプリンターのウォームアップを開始します。
印刷を開始する前に[ウォームアップ開始]をクリックしておくと、あらかじめプリンターのウォームアップが開始され、ウォームアップによる待ち時間が少なくなります。

[プリンタステータスウインドウ(PSW)]

クリックするとプリンタステータスウィンドウが起動します。

[リモートパネル]

クリックするとリモートパネルが起動します。詳細についてはユーザーズマニュアルを参照してください。

Windows 3.1の場合

Windows 3.1では、次のような[印刷設定]ダイアログボックスで印刷に関する詳細な設定を行うことができます。

[印刷設定]ダイアログボックス

NEC MultiWriter 2650E on LPT1:

用紙ｻｲｽﾞ(Z) A4
用紙種類(K) 普通紙
給紙方法(S) 自動
解像度(R) 600DPI
部数(C) 1
印刷の向き
◉ 縦(P)
○ 横(L)
☒ ｼﾞｮﾌﾞｾﾊﾟﾚｰﾄ機能を使用する(J)
☒ 用紙ｻｲｽﾞｴﾗｰを検出する(E)

OK
ｷｬﾝｾﾙ
ｵﾌﾟｼｮﾝ(O)...
ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ情報(A)...
ﾍﾙﾌﾟ(H)
標準に戻す(D)

[オプション]ダイアログボックス

ｵﾌﾟｼｮﾝ

印刷品質
印刷濃度の設定(D) 普通
☐ ﾄﾅｰ節約機能を使用する(O)
☒ SET機能を使用する(E)
☐ 従来互換の印刷範囲を使用する(W)
ﾌｫﾝﾄ
☐ 文字を白黒で印刷する(B)
ﾌｫﾝﾄ置換設定(T)...
ﾌｫｰﾑ印刷
☐ ﾌｫｰﾑ印刷を行う(M) ﾌｫｰﾑ設定(I)...
☐ ﾌｫｰﾑﾃﾞｰﾀを先に描画する(F)

OK
ｷｬﾝｾﾙ
ﾚｲｱｳﾄ(R)...
ｸﾞﾗﾌｨｯｸｽ(G)...
補助機能(J)...
ﾍﾙﾌﾟ(H)

[フォント置換設定]ダイアログボックス

ﾌｫﾝﾄ置換設定

FontAvenue
☒ 明朝体-Lをﾌﾟﾘﾝﾀﾌｫﾝﾄで印刷(M)
☒ ｺﾞｼｯｸ体-Mをﾌﾟﾘﾝﾀﾌｫﾝﾄで印刷(G)
TrueType
☐ 一番近いﾌﾟﾘﾝﾀﾌｫﾝﾄで印刷(I)
☒ 置換表を使用して印刷(C)
置換表の設定(S)...
☐ 特殊文字をそのまま印刷(P)

OK
ｷｬﾝｾﾙ
ﾍﾙﾌﾟ(H)

[レイアウト]ダイアログボックス

ﾚｲｱｳﾄ

両面印刷
◉ 片面(N) ○ 長辺綴じ(L) ○ 短辺綴じ(S)
印刷開始ページ
◉ 表面(F) ○ 裏面(K)
印刷位置
表面(O)
上から 5.0 下から 5.0
左から 5.0 右から 5.0
標準に戻す(D)
裏面(R)
上から 5.0 下から 5.0
左から 5.0 右から 5.0
対称(T) 平行(P)
単位(U)
◉ mm
○ inch

OK
ｷｬﾝｾﾙ
ﾍﾙﾌﾟ(H)

[グラフィックス]ダイアログボックス

ｸﾞﾗﾌｨｯｸｽ

ﾃﾞｨｻﾞﾘﾝｸﾞ
○ なし(N)
◉ ﾊﾟﾀｰﾝ(P)
☒ ｺﾝﾄﾗｽﾄを強くする(C)
○ 誤差拡散法(E)
濃度(I) 100 %
☐ ﾌﾞﾗｼﾊﾟﾀｰﾝを拡大する(B)
☐ ﾋﾞｯﾄﾏｯﾌﾟを低解像度で印刷する(L)
☒ ｸﾞﾚｲｽｹｰﾙの網点を細かく印刷する(G)

OK
ｷｬﾝｾﾙ
ﾍﾙﾌﾟ(H)

[補助機能]ダイアログボックス

補助機能

操作ﾊﾟﾈﾙ表示
○ なし(N)
○ ﾕｰｻﾞ名(U)
◉ 指定文字列(S)
表示文字列(M) NEC

OK ｷｬﾝｾﾙ ﾍﾙﾌﾟ(H)

[フォーム設定]ダイアログボックス

ﾌｫｰﾑ設定

ﾃﾞｨﾚｸﾄﾘ: (未設定)
ﾌｫｰﾑﾌｧｲﾙ(F)
ｺﾒﾝﾄ
ｴﾗｰ表示
☒ ｴﾗｰ表示を行う(E)

OK
ｷｬﾝｾﾙ
ﾍﾙﾌﾟ(H)
ﾌｫｰﾑ選択(S)...

ダイアログボックスを開く

[印刷設定]ダイアログボックスを開く方法は次の2通りあります。

- アプリケーションのメニューから開く方法

  一般的にダイアログボックスの設定は、そのアプリケーションでのみ有効となります。

- Windows付属の[コントロールパネル]を使って開く方法

  ダイアログボックスの設定はすべてのアプリケーションでの基本設定になります。

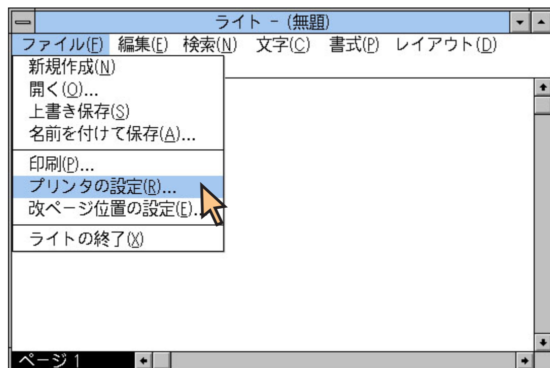
アプリケーションから開く

Windowsのアプリケーションから[印刷設定]ダイアログボックスを開く場合、[印刷]コマンドか[プリンタの設定]コマンドを使います。このコマンドは[ファイル]メニューの中にありますが、[ファイル]メニューの構成はアプリケーションによって異なります。詳しくはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

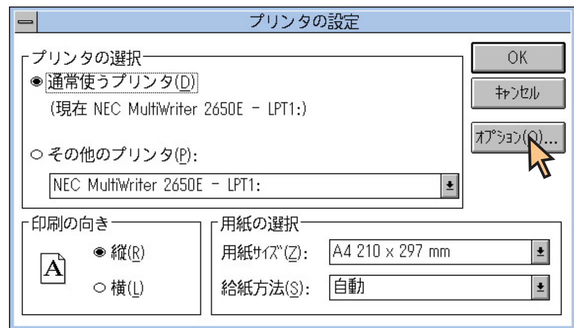
ここではWindows 3.1に付属されている日本語ワードプロセッサー「ライト」を例にとって説明します。任意のライト文書を表示させて次の手順を確認してください。

1. [ファイル]メニューの[プリンタの設定]をクリックする。

[プリンタの設定]ダイアログボックスが開きます。

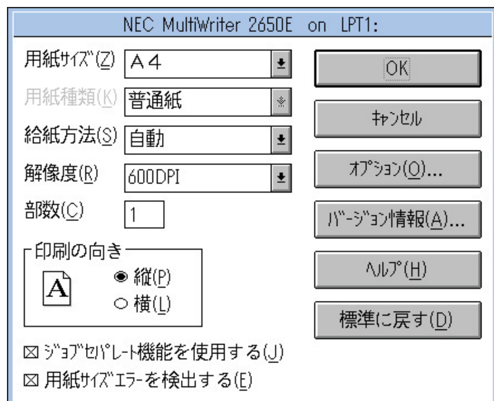


2. [オプション]をクリックする。



このような[印刷設定]ダイアログボックスが表示されます。

各ダイアログボックスについては「設定の概要」を参照してください。



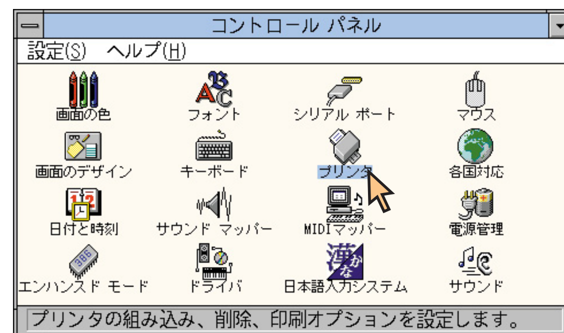
[コントロールパネル]を使って開く

1. [コントロールパネル]を開く。

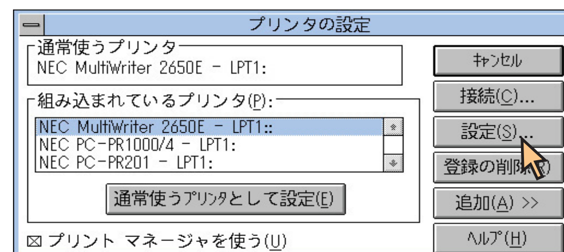


2. [プリンタ]アイコンをダブルクリックする。

[プリンタの設定]ダイアログボックスが表示されます。

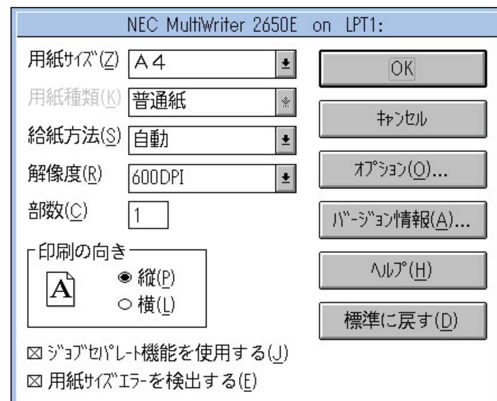


3. [設定]をクリックする。



このような[印刷設定]ダイアログボックスが表示されます。

各ダイアログボックスについては「設定の概要」を参照してください。



設定の概要

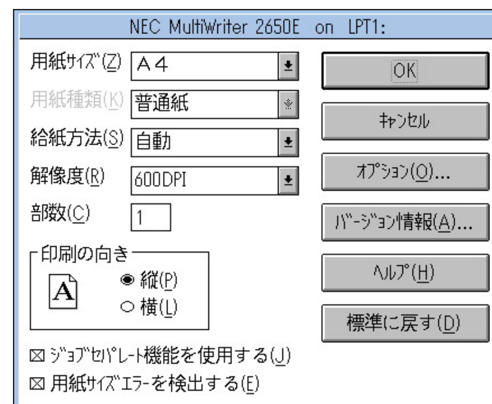
印刷設定ダイアログボックスから開かれる各ダイアログボックスの概要をダイアログボックスごとに説明します。詳細については各ダイアログボックスの[ヘルプ]をクリックすると表示される説明も参照してください。

[印刷設定]ダイアログボックス

このダイアログボックスは用紙や印刷品質に関する設定を行うものです。さらにグラフィックやフォントなど詳細な設定を行いたい場合は[オプション]をクリックすると表示する[オプション]ダイアログボックスから設定することができます。

【MultiWriter 2650/2650E/2250/2050の場合】

- 用紙サイズ
- 用紙種類
- 給紙方法
- 用紙サイズエラーの検出
- 解像度
- 部数
- ジョブセパレート機能



【MultiWriter 2200X2/2200XE/2000X2の場合】

- 用紙サイズ
- 用紙種類
- 給紙方法
- 解像度
- フォントカード
- 部数
- 印刷の向き
- ジョブセパレート機能

NEC MultiWriter 2000X2 on LPT1:

用紙ｻｲｽﾞ(Z) A４

用紙種類(K) 普通紙

給紙方法(S) 自動

解像度(R) 600DPI

ﾌｫﾝﾄｶｰﾄﾞ(F) （なし）

部数(C) 1

印刷の向き

A ◉ 縦(P) ○ 横(L)

□ ｼﾞｮﾌﾞｾﾊﾟﾚｰﾄ機能を使用する(J)

OK

ｷｬﾝｾﾙ

ｵﾌﾟｼｮﾝ(O)...

ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ情報(A)...

ﾍﾙﾌﾟ(H)

標準に戻す(D)

【MultiWriter 1400Xの場合】

- 用紙サイズ
- 給紙方法
- 解像度
- 排出方法
- 部数
- 印刷の向き

NEC MultiWriter 1400X on LPT1:

用紙ｻｲｽﾞ(Z) A４

給紙方法(S) 自動

解像度(R) 600DPI

排出方法(F) ﾌｪｲｽﾀﾞｳﾝ

部数(C) 1

印刷の向き

A ◉ 縦(P) ○ 横(L)

OK

ｷｬﾝｾﾙ

ｵﾌﾟｼｮﾝ(O)...

ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ情報(A)...

ﾍﾙﾌﾟ(H)

標準に戻す(D)

「用紙サイズ」

印刷する用紙サイズ、縮小・拡大サイズを選択できます。コンボボックス内をクリックして選択します。

[ユーザ定義サイズ]を選択した場合は、用紙の寸法を入力する次のダイアログボックスが表示されます。（2650/2650E/2250/2050のみ対応）

ユーザ定義サイズ
単位
◉ mm(M)　○ inch(I)
幅(W): 210.0 mm [100.0 ～ 297.0]
長さ(L): 297.0 mm [148.0 ～ 420.0]
OK　キャンセル



アプリケーションによっては[A3→A4]などの縮小・拡大が正しく印刷されないものがあります。

「用紙種類」
（2650/2650E/2250/2050/2200X2/2200XE/2000X2）

[給紙方法]が[トレー]のときのみ、用紙の種類を[普通紙]、[厚紙]、[OHP]の3種類から選択できます。[トレー]以外のときは[普通紙]のみとなり、選択することができません。

「給紙方法」

給紙先（ホッパー/トレー）をコンボボックスから選択します。コンボボックスには使用できる給紙方法が表示されます。自動にしておくと、選択されている用紙サイズがセットされているホッパーから自動的に給紙されます。



トレーから給紙を行う場合は、コンボボックス内の給紙方法を[トレー]にしてください。自動にしておくとトレーからは給紙されません。また、トレーに用紙をセットした場合にはプリンターの操作パネルの[トレー]スイッチでセットした用紙サイズを選択してください。

「解像度」

解像度を600dpi、400dpi、300dpi、240dpiから選択できます。（2200X2/2200XE/2000X2/1400Xの場合は、600dpi、400dpi、240dpiから選択できます。）

「フォントカード」（2200X2/2200XE/2000X2）

プリンター本体にセットしたオプションのフォントカードが表示されます。



MultiWriter 2200X2/2200XE/2000X2で使用できるフォントカードは以下の3つです。

- 丸ゴシック体-M　漢字アウトラインフォントカード（型番：PC-PRPF-01）
- 教科書体-M　漢字アウトラインフォントカード（型番：PC-PRPF-02）
- 瑞筆行書体-M　漢字アウトラインフォントカード（型番：PC-PRPF-03）

「排出方法」(1400X)

印刷文書の排出方法を選択します。

- フェイスダウン
  印刷面を下にしてトップカバーの上に排出します。
- フェイスアップ
  印刷面を上にしてプリンター背面に排出します。



フェイスアップ排出する場合、オプションのフェイスアップトレイ(型番：PR-L1400X-01)を装着しておくと印刷済み用紙がきれいに排出できます。

「部数」

印刷時の部数(コピー部数)を指定することができます。1〜99部まで設定可能です。



アプリケーションの印刷機能で部数を設定できる場合があります。アプリケーション側で設定できる場合は、アプリケーション側で設定するようにしてください。

「印刷の向き」

ページを縦長(ポートレート)か横長(ランドスケープ)で使用するかを設定するものです。枠内のチェックボックスをクリックして選択します。



[用紙サイズ]で[LP→A4]、[LP→B4]が設定されている場合、[縦]は設定できません。

「ジョブセパレート機能を使用する」
(2650/2650E/2250/2050/2200X2/2200XE/2000X2)

ジョブセパレート機能を使用するかしないかを切り替えます。ジョブセパレート機能とは、文書を印刷実行した単位で、縦横に置き分けてスタッカーに排出する機能です。詳細についてはユーザーズマニュアルをご覧ください。

「用紙サイズエラーを検出する」(2650/2650E/2250/2050)

チェックボックスをチェックすると、トレーから給紙する際に設定されている用紙サイズと異なる用紙を吸入すると用紙サイズエラーを検出します。



本機能は、[出力用紙サイズ]コンボボックスで[ユーザ定義]を指定した場合はグレー表示され使用できません。
[用紙サイズエラーを検出する]をチェックしていない場合[用紙]シートの[給紙方法]で[自動]を選択しても[トレー]からの給紙を行いません。[トレー]からも給紙を行いたいときは[用紙サイズエラーを検出する]をチェックしてください。ただしプリンター操作パネルで[トレー]が設定されている場合は、[給紙方法]が[自動]でも[用紙サイズエラーを検出する]のチェックにかかわらず、トレーから給紙されます。

[オプション]

クリックすると[オプション]ダイアログボックスが表示されます。

[バージョン情報]

クリックするとプリンタードライバーのバージョン情報が表示されます。

［標準に戻す］

クリックすると各設定がインストール時の設定に戻ります。



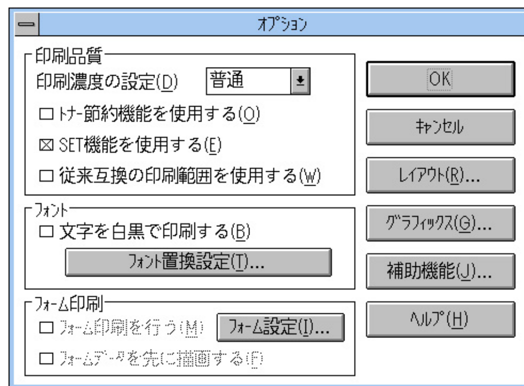
［標準に戻す］をクリックしても一部の設定は元に戻りません。詳しくはヘルプを参照してください。

[オプション]ダイアログボックス

このダイアログボックスは印刷品質、フォント、およびフォーム印刷に関する設定を行うものです。

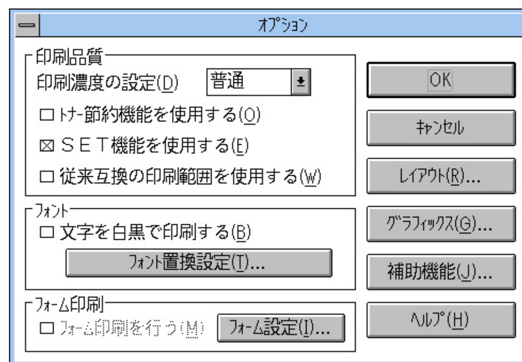
【MultiWriter 2650/2650E/2250/2050の場合】

- 印刷品質の設定
- フォントの設定
- フォーム印刷の設定
- [レイアウト]ダイアログボックスの起動
- [グラフィックス]ダイアログボックスの起動
- [補助機能]ダイアログボックスの起動



【MultiWriter 2200X2/2200XE/2000X2/1400Xの場合】

- 印刷品質の設定
- フォントの設定
- フォーム印刷の設定
- [レイアウト]ダイアログボックスの起動
- [グラフィックス]ダイアログボックスの起動
- [補助機能]ダイアログボックスの起動



「印刷濃度の設定」

[印刷濃度]コンボボックスから濃度を[濃い]、[やや濃い]、[普通]、[やや淡い]、[淡い]の5種類から選択します。

「トナー節約機能を使用する」

トナー節約機能を使用するかしないかを切り替えます。


チェック

トナー節約機能を使用すると細い線、濃度の薄い印刷、網かけおよびグラデーションが不鮮明になることがあります。この機能は試し印刷などにご使用ください。

「SET機能を使用する」

SET機能を使用するかしないかを選択します。SET機能を使用するとテキストやグラフィックのエッジのギザギザをなくし、画質を向上させることができます。

「従来互換の印刷範囲を使用する」

チェックボックスをチェックすると印刷範囲をMultiWriter 2400X/2200NW2など、MultiWriter 2000X以前のMultiWriterシリーズのプリンターと同じ印刷範囲に設定する場合に選択します。

「文字を白黒で印刷する」

チェックボックスをチェックすると文字の色を、グレースケールを使わずに、白色の文字は白、その他の色の文字は黒で印刷します。

[フォント置換設定]

本ボタンをクリックすると[フォント置換設定]ダイアログボックスが開きます。ダイアログボックスの詳細に関しては[フォント置換設定]ダイアログボックスを参照してください。

「フォーム印刷を行う」

このボックスをチェックすると、フォーム印刷を行うことができます。[フォーム設定]については[フォーム設定]ダイアログボックスをご覧ください。

[フォーム設定]

本ボタンをクリックすると[フォーム設定]ダイアログボックスが開きます。ダイアログボックスの詳細に関しては[フォーム設定]ダイアログボックスを参照してください。

「フォームデータを先に描画する」(2650/2650E/2250/2050)

フォーム印刷を行う場合、文書データをフォームデータの上に描画するかどうかを選択します。

[レイアウト]

本ボタンをクリックすると[レイアウト]ダイアログボックスが開きます。ダイアログボックスの詳細に関しては[レイアウト]ダイアログボックスを参照してください。

[グラフィックス]

本ボタンをクリックすると[グラフィックス]ダイアログボックスが開きます。ダイアログボックスの詳細に関しては[グラフィックス]ダイアログボックスを参照してください。

[補助機能]

本ボタンをクリックすると[補助機能]ダイアログボックスが開きます。ダイアログボックスの詳細に関しては[補助機能]ダイアログボックスを参照してください。

[レイアウト]ダイアログボックス

このダイアログボックスは両面印刷機能および印刷位置調整機能に関する設定を行うものです。

【MultiWriter 2650/2650E/2250/2050の場合】

- 両面印刷
- 印刷位置

【MultiWriter 2200X2/2200XE/2000X2/1400Xの場合】

- 両面印刷
- 印刷開始ページ
- 綴じ方向

「両面印刷」

両面印刷するかどうか、および両面印刷する場合の綴じ方を設定します。



[用紙]シートの[用紙サイズ]で[はがき]、[往復はがき]、[封筒洋形4号]、[ユーザ定義サイズ]が選択されている場合や、[用紙種類]で[厚紙]、[OHP]が選択されている場合には、両面印刷はできません。



MultiWriter 2650E/2250/2050/2200XE/2000X2で両面印刷を行うには両面印刷ユニット(型番：PR-L2000X2-DL)をプリンターに装着する必要があります。また、MultiWriter 1400Xで両面印刷を行うには両面印刷ユニット(型番：PR-L1400X-04)をプリンターに装着する必要があります。

- **印刷開始ページ**
  両面印刷する場合に、先頭ページを用紙の表面から印刷するか裏面から印刷するかを選択します。両面印刷が選択されていない場合はグレー表示となり使用できません。

「綴じ方向」(2200X2/2200XE/2000X2/1400X)

両面印刷時の綴じ方向と綴じしろを設定します。
綴じしろは0mm～20mmまでの1mm単位で余白の設定ができます。

「印刷位置」（2650/2650E/2250/2050）

印刷対象の用紙に対して印刷データの印刷位置を設定します。両面印刷する場合は表面と裏面をそれぞれ別に位置調整することが可能です。

- **対称**
  両面印刷の場合、裏面設定のみの機能です。ボタンをクリックすると印刷範囲枠が綴じ辺を軸にして表面と対称の位置に配置されます。

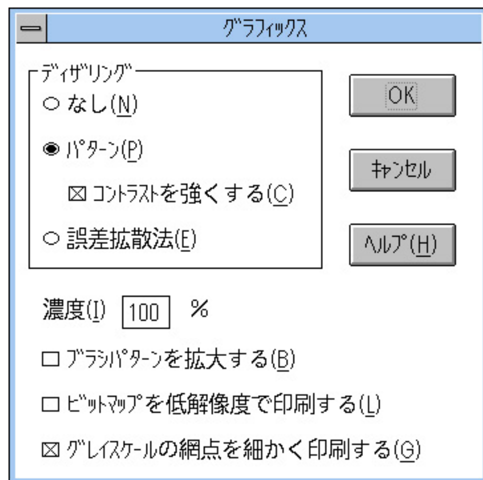
- **平行**
  両面印刷の場合、裏面設定のみの機能です。ボタンをクリックすると印刷範囲枠が表面と同じ位置に配置されます。

[グラフィックス]ダイアログボックス

このダイアログボックスは印刷解像度やグラフィックスデータに対するプリンターの処理の設定を行うものです。

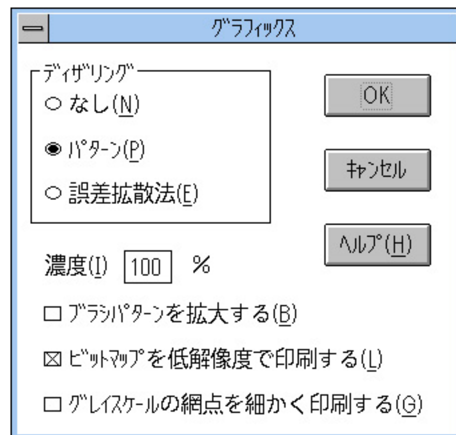
【MultiWriter 2650/2650E/2250/2050の場合】

- ディザリング
- 濃度
- ブラシパターン(解像度に合わせて印刷)
- ビットマップ(低解像度の印刷)
- グレイスケール(網点を細かくして印刷)



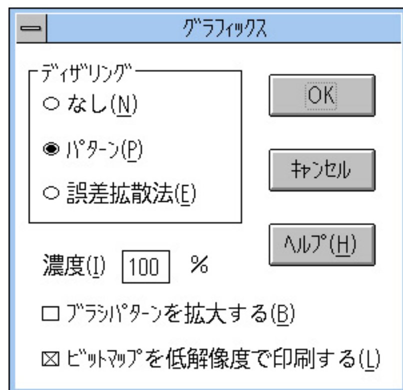
【MultiWriter 2200X2/2200XE/2000X2の場合】

- ディザリング
- 濃度
- ブラシパターン(解像度に合わせて印刷)
- ビットマップ(低解像度の印刷)
- グレイスケール(網点を細かくして印刷)



【MultiWriter 1400Xの場合】

- ディザリング
- 濃度
- ブラシパターン（解像度に合わせて印刷）
- ビットマップ（低解像度の印刷）



「ディザリング」

グレイスケールイメージのデータをプリンターで処理できるように変換する設定です。



アプリケーションおよび印刷データによっては効果がないことがあります。

- なし
  グラフィックスのグレーを白か黒に変換します。この設定はテキストや線画などの印刷に適しています。

- パターン
  グレーの濃淡を白地に黒いドットでできたパターンに変換します。ドットを周期的に集中させて印刷する方式です。
  [コントラストを強くする]をチェックするとハーフトーンセルのグレーの明暗を強く表現します。（2650/2650E/2250/2050のみ対応）

- 誤差拡散法
  [パターン]と同様にドットに変換する方法ですが、ドットを分散させて印刷する方式です。パターンと誤差拡散法は好みに応じて使い分けてください。

「濃度」

グラフィックスの明暗を0〜200の範囲で設定することができます。印刷を薄くするときは[0]へ、濃くするときは[200]へ、テキストボックス中に直接数値を入力して設定してください。

「ブラシパターンを拡大する」

解像度に合わせてブラシパターンの大きさを変える機能です。拡大率は設定されている解像度によって異なります。240dpiではこの設定は無効です。またアプリケーションによっては効果がないことがあります。

- 600dpi→300%(3倍拡大)
- 400dpi→200%(2倍拡大)
- 300dpi→200%(2倍拡大)*
- 240dpi→100%(拡大しない)

* 2650/2650E/2250/2050に対応

「ビットマップを低解像度で印刷する」

ビットマップデータを1/2の解像度で印刷します。通常の印刷より高速で出力することができます。



印刷データによってはハーフトーンがきれいに出ないことがあります。そのような場合はチェックを外してください。
本設定は[解像度]に[600dpi]が設定されているときのみ有効で、その他の場合はグレー表示され使用できません。

「グレイスケールの網点を細かく印刷する」
(2650/2650E/2250/2050/2200X2/2200XE/2000X2)

グレースケールのパターンを細かく印刷します。グレーの濃淡を白地に黒いドットで作られたパターンで表現する際に、パターンの繰り返し周期が短くなります。お好みにより選択してください。



本設定は[解像度]に[600dpi]が設定されているときのみ有効で、その他の場合はグレー表示され使用できません。

[フォント置換設定]ダイアログボックス

このダイアログボックスはFontAvenueフォント、TrueTypeフォントをプリンターフォントに置き換えて印刷する設定を行うものです。

フォント置換設定
FontAvenue
☒ 明朝体-Lをプリンタフォントで印刷(M)
☒ ゴシック体-Mをプリンタフォントで印刷(G)
TrueType
☐ 一番近いプリンタフォントで印刷(I)
☒ 置換表を使用して印刷(C)
置換表の設定(S)...
OK
キャンセル
ヘルプ(H)
☐ 特殊文字をそのまま印刷(P)

「FontAvenue」

FontAvenueフォントの置き換え方法を設定します。

- 明朝体-Lをプリンタフォントで印刷
  アプリケーションから送られたFontAvenueの明朝体をプリンターフォントの明朝体に置き換えて印刷します。

- ゴシック体-Mをプリンタフォントで印刷
  アプリケーションから送られたFontAvenueのゴシック体をプリンターフォントのゴシック体に置き換えて印刷します。

「TrueType」

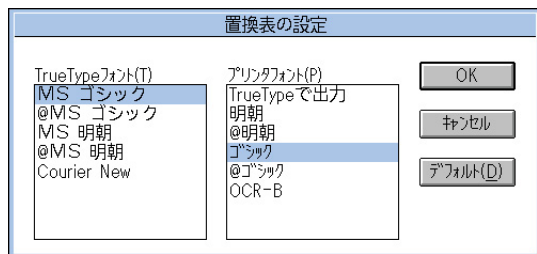
TrueTypeフォントの置き換え方法を設定します。

● 一番近いプリンタフォントで印刷
アプリケーションから送られたTrueTypeフォントを書体が似ているプリンターフォントで置き換えます。

● 置換表を使用して印刷
アプリケーションから送られたTrueTypeフォントを[置換表の設定]によって設定したプリンターフォントで印刷します。

[置換表の設定]

このダイアログボックスを使って置き換えるTrueTypeフォントを設定します。それぞれフォントを選択して[OK]をクリックすることで置き換えが設定されます。



● [デフォルト]
クリックするとフォントの置き換えに関する設定を標準設定に戻すことができます。



ANSI、SHIFT JISなど文字セットが異なるフォント、デザインが著しく異なるフォントへの置き換えは行わないでください。期待どおりの印刷結果にならない場合があります。

「特殊文字をそのまま印刷」

アプリケーションから送られたTrueTypeフォントをプリンターフォントに置き換える際、IBM拡張漢字(髙、﨑)などのフォントデザインが異なる特殊文字はそのまま印刷するかどうかを設定します。

[フォーム設定]ダイアログボックス

このダイアログボックスはフォーム印刷を利用する場合にフォーム印刷に関する設定を行うものです。フォーム印刷とは見出し文字や罫線枠などのフォームデータを文書データと重ね合わせて印刷することです。フォームデータを作成するには別売のアプリケーションが必要です。

フォーム設定
ディレクトリ: (未設定)
フォームファイル(F)
コメント
エラー表示
☒ エラー表示を行う(E)
OK
キャンセル
ヘルプ(H)
フォーム選択(S)...

「ディレクトリ」

フォームファイルを指定するために現在開かれているディレクトリを表示します。この表示は[フォーム選択]によって指定されたディレクトリです。

「フォームファイル」

コンボボックスから使用するファイルを選択します。コンボボックスに希望のファイルがない場合は[フォーム選択]をクリックして他の場所のファイルを参照することができます。

「コメント」

選択したフォームファイルのコメントを表示します。

「エラー表示を行う」

フォームファイルが壊れている場合、フォームファイルが見つからない場合、およびフォームファイルがサポート外の用紙で構成されている場合に、エラーメッセージを表示するかどうかを設定します。

[フォーム選択]

フォームファイルを指定するためのディレクトリを指定します。

[補助機能]ダイアログボックス

このダイアログボックスでは、印刷時にプリンターの操作パネルの下段に表示する文字列を設定します。



「操作パネル表示」

● なし
プリンターの操作パネルの下段には何も表示しません。

● ユーザ名
ネットワーク上にログインしたときのユーザー名が操作パネルの下段に表示されます。[ユーザ名]をチェックすると[表示文字列]テキストボックスでユーザー名が確認できます。

● 指定文字列
プリンターの操作パネルの下段に[表示文字列]に入力した文字列が表示されます。

● 表示文字列
プリンターの操作パネルの下段に表示される文字列です。[指定文字列]を選択した場合は、16文字まで入力可能になります。入力可能な文字については下の表を参照してください。[ユーザ名]を選択した場合、ユーザー名が表示されます。
[ユーザ名]に入力可能な文字以外の文字が設定されている場合、[なし]が選択されます。

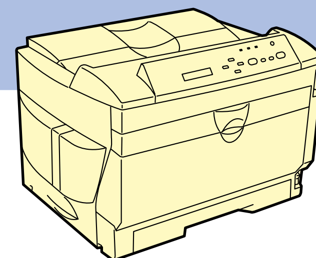
[表示文字列]に入力可能な文字一覧(スペースを含む)

	!	#	$	%	&	‘	(	)	=
-	'	^	|	¦	@	{	[	+	;
*	:	}	]	<	,	>	.	?	/
_									
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z				
a	b	c	d	e	f	g	h	i	j
k	l	m	n	o	p	q	r	s	t
u	v	w	x	y	z				
ｱ	ｲ	ｳ	ｴ	ｵ	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ
ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ	ﾀ	ﾁ	ﾂ	ﾃ	ﾄ
ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ
ﾏ	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	ﾔ	ﾕ	ﾖ	ﾗ	ﾘ
ﾙ	ﾚ	ﾛ	ﾜ	ｦ	ﾝ	ｧ	ｨ	ｩ	ｪ
ｫ	ｬ	ｭ	ｮ	ｯ	ﾞ	ﾟ	ｰ	｢	｣
､	｡	･							

半角文字のみ入力可能です。

（このページは白紙ページです）

第2章 PrintAgent



この章ではPrintAgentが提供する各機能の設定方法、PrintAgentが正常に機能するための注意事項、PrintAgent Eraserについて説明します。なお説明は原則としてWindows 2000の画面を使っています。Windows 98/95、Windows NT 4.0/3.51とは基本的にタイトルバーなどの形状が異なるだけです。OSの違いによる機能の違い、制限事項があった場合はそのつど説明を付け加えています。

ソフトウエアの起動

PrintAgentはローカルプリンターの印刷、管理に加えネットワークプリンターで印刷される方とネットワークプリンターを管理される方のためにさまざまな機能を提供します。PrintAgentの機能は次のソフトウエアを使ってご利用になれます。

これらのソフトウエアはOSのデスクトップ上([スタート]ボタンまたはタスクバーのアイコンなど)から呼び出すことができます。

[スタート]ボタンから

- PrintAgentシステムメニュー

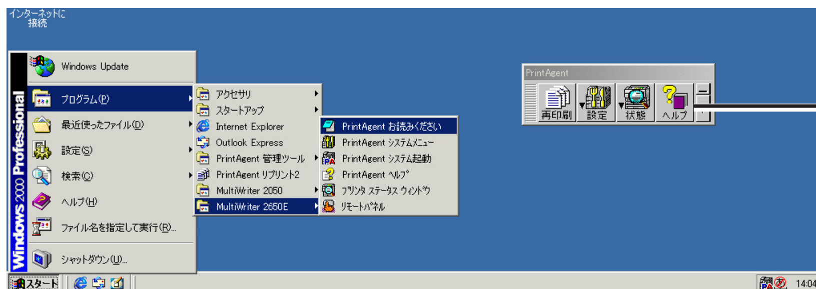
  [PrintAgentシステムメニュー]ダイアログが起動されます。このダイアログではPrintAgentを効率よく運用していただくための環境を設定します。

- PrintAgentシステム起動

  PrintAgentのシステムを起動させます。通常はOSが立ち上がると自動的に起動する設定になっています。

- プリンタステータスウィンドウ(PSW)

  現在使用しているプリンターの状態(用紙無しやカバーオープンなど)や印刷の進行状況をコンピューターの画面上のアニメーションや音声で確認することができます。「PrintAgent」ツールバーから起動することもできます。



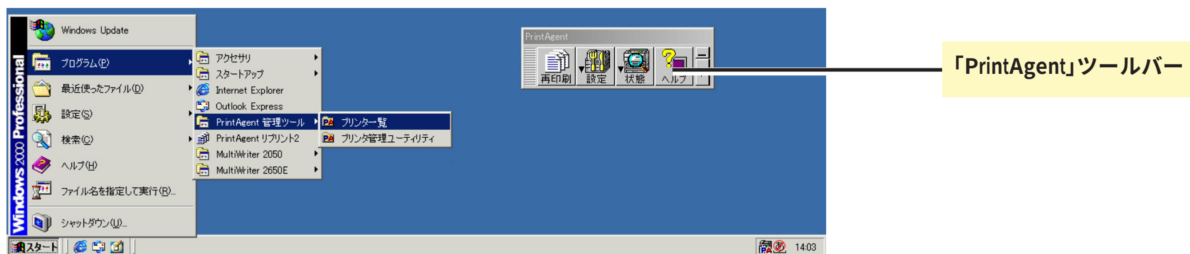
[MultiWriter 2650E]のメニュー

● プリンター覧

お使いのコンピューターにインストールされているプリンターを一覧形式で表示し、各プリンターの使用状況が確認できます。

● プリンタ管理ユーティリティ

お使いのコンピューターが利用できるプリンターを一覧形式で表示したり、プリンターやLANボード、LANアダプターを設定・管理できます。Windows 2000/98/95またはWindows NT 4.0が動作するコンピューターにプリンターソフトウエアを管理者向けでインストールした方のみご利用になれます。



［PrintAgent管理ツール］フォルダー

タスクバーのアイコンから

● ツールバーを表示

「PrintAgent」ツールバーを表示させることができます。「PrintAgent」ツールバーはPrintAgentの機能をボタン化してひとまとめにしています。「PrintAgent」ツールバーはMultiWriter 2650E/2050に対応しています。

● プリンタステータスウィンドウ（PSW）

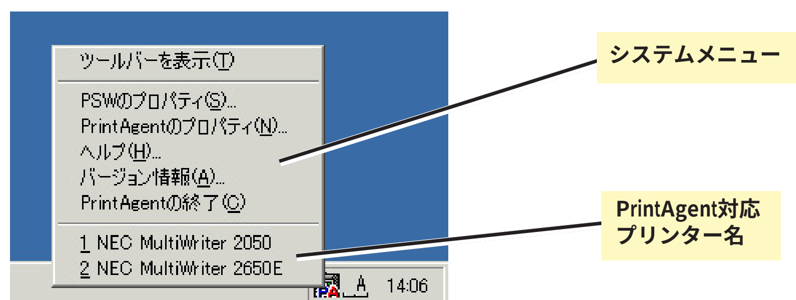
プリンターの状態（用紙無しやカバーオープンなど）や印刷の進行状況をコンピューターの画面上のアニメーションや音声で確認することができます。現在ご使用になっていないプリンターのPSWも起動することができます。ネットワーク内でPSWの対象となっているPrintAgent対応プリンターが列挙されますので希望のプリンターをクリックすることによって該当プリンターのPSWを起動し、プリンターの機能を確認することができます。

● システムメニュー

PrintAgentを効率よく運用していただくための設定ダイアログを直接起動します。またPrintAgentシステムを直接終了することもできます。



タスクバーのアイコン(左クリック)

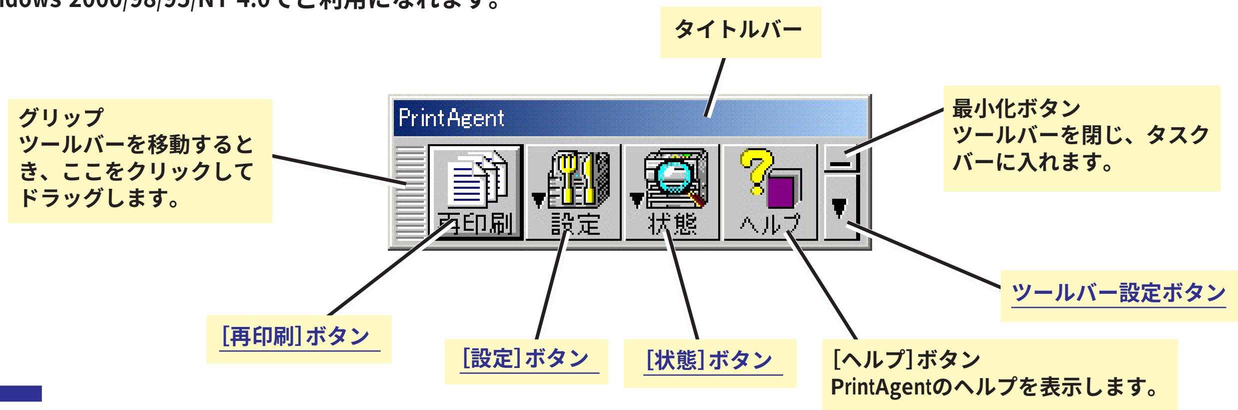


タスクバーのアイコン(右クリック)

「PrintAgent」ツールバー (2650E/2050)

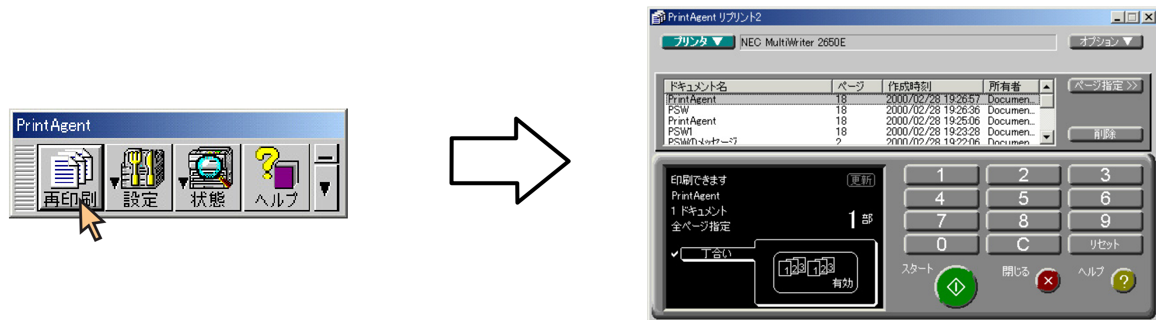
「PrintAgent」ツールバーはPrintAgentの機能のうち「再印刷」、「設定」、「状態」、「ヘルプ」に関する4項目をボタン化し、ツールバーにまとめたものです。「再印刷」機能以外は従来の[スタート]ボタン、タスクバーのアイコンから呼び出す機能と変わりありません。

「PrintAgent」ツールバーはタスクバーのアイコンをダブルクリックするかタスクバーのアイコンのメニューから呼び出すことができます。「PrintAgent」ツールバーはWindows 2000/98/95/NT 4.0でご利用になれます。



再印刷ボタン

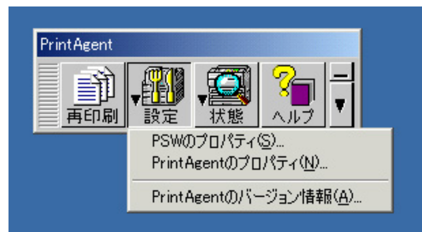
このボタンをクリックするとPrintAgent リプリント2が起動され、再印刷を行うことができます。このウィンドウを使うとPSWから起動するリプリント機能よりさらに便利な機能がご利用になれます。詳細はPrintAgnet リプリント2をご覧ください。



PrintAgnet リプリント2

設定ボタン

PrintAgentの設定に関するコマンドを表示します。



PSWのプロパティ

[PSWのプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。[スタート]ボタン、タスクバーのアイコンを介して表示されるものと同じです。

PrintAgentのプロパティ

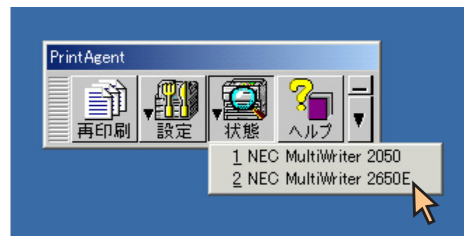
[PrintAgentのプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。[スタート]ボタン、タスクバーのアイコンを介して表示されるものと同じです。

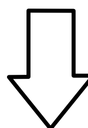
PrintAgentのバージョン情報

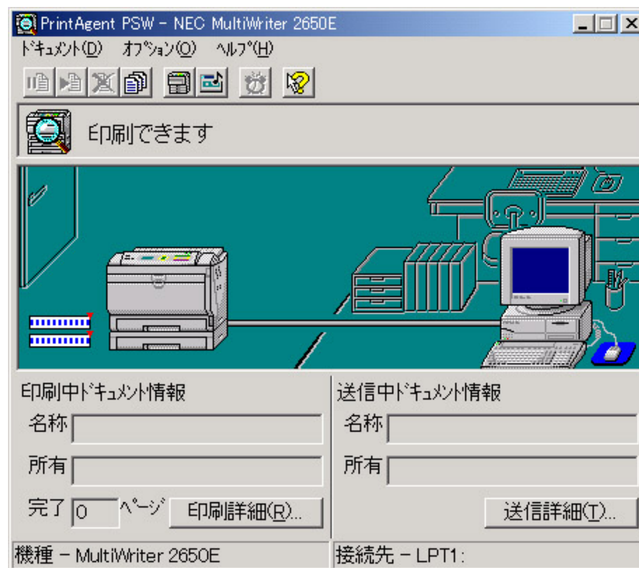
PrintAgentのバージョンが表示されます。

状態ボタン

このボタンをクリックするとPrintAgentに対応しているプリンターをリスト表示します。希望のプリンター名をクリックするとプリンタステータスウィンドウが表示されます。

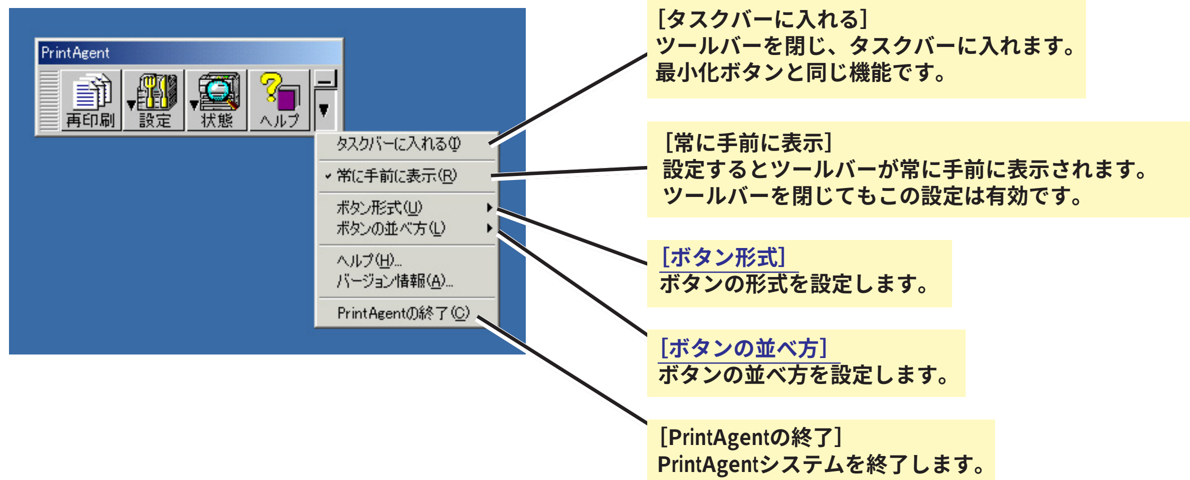






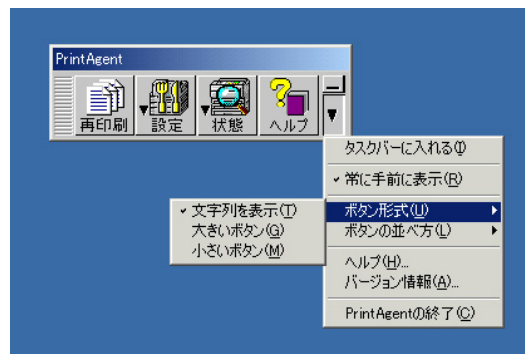
ツールバー設定ボタン

このボタンをクリックするとツールバーの表示形式などを設定するコマンドのメニューが表示されます。



ボタン形式

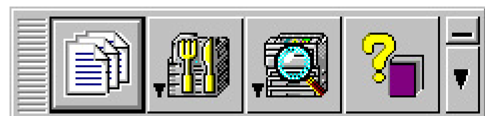
ボタンの形式を次の3種類から選択できます。この設定はツールバーを閉じても有効です。



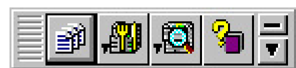
● 文字列を表示



● 大きいボタン



● 小さいボタン

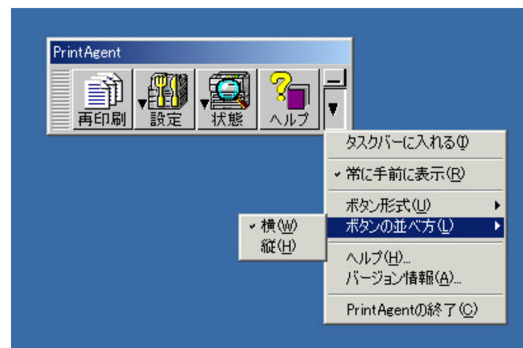




[大きいボタン]、[小さいボタン]で表示したとき、ツールバーを移動するときはグリップをクリックしてドラッグします。

ボタンの並べ方

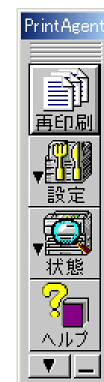
ボタンの並べ方を次の2種類から選択できます。この設定はツールバーを閉じても有効です。



● 横



● 縦



PrintAgent リプリント2　(2650E/2050)

PrintAgnet リプリント2は「PrintAgent」ツールバーの[再印刷]ボタンをクリックしたとき起動されるソフトウエアです。また[スタート]メニューの[プログラム]フォルダーからも起動することができます。

スプールファイルの制限や格納するフォルダなどリプリント機能の設定に関してはPSWから起動するリプリント機能と同じです。ここではPrintAgnet リプリント2ソフトウエアの概要をMultiWriter 2650Eの画面を中心に説明します。このソフトウエアを使った実際の手順はユーザーズマニュアルをご覧ください。

PrintAgnet リプリント2はWindows 2000/98/95/NT 4.0でご利用になれます。

[プリンタ]ボタン
クリックするとリプリント可能なプリンターをリスト表示します。

[オプション]ボタン
PrintAgent リプリント2のオプション機能を設定します。

スプールドキュメントシート
スプールしてあるドキュメントをリスト表示し、リプリントの対象として選ぶことができます。

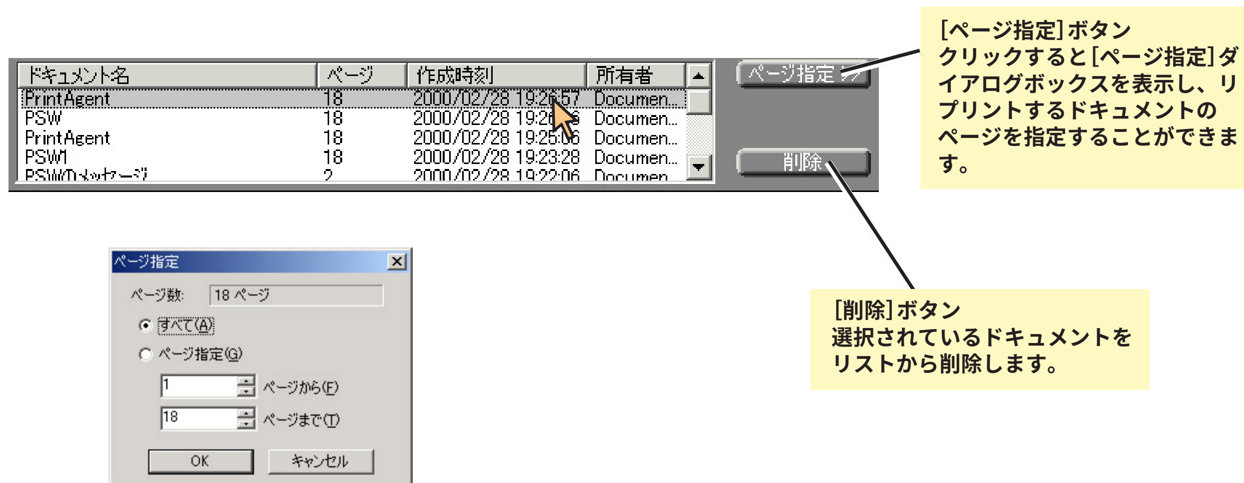
コントロールパネル
直接ボタンをクリックしてリプリント部数(1～99)の入力、リプリントのスタート、リプリントの設定内容のクリアを行います。

ディスプレイパネル
リプリントの設定内容を表示したり丁合いの設定を行います。

スプールドキュメントシート

このシートは[リプリント機能の設定]ダイアログの設定に従って保存してあるドキュメントをリスト表示し、再印刷するドキュメントの選択を設定することができます。

リスト中の希望するドキュメントを直接クリックし、ハイライト表示させることでリプリントするドキュメントとして選択することができます。

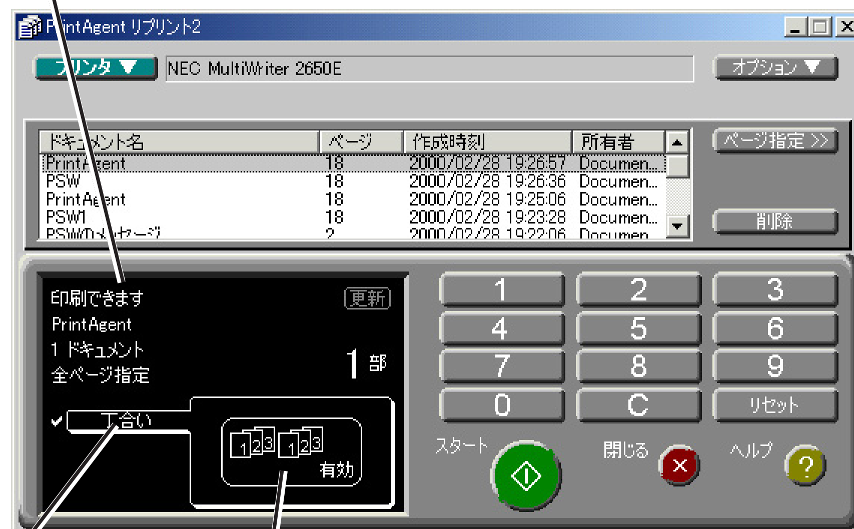


[ページ指定]ダイアログボックス

ディスプレイパネル

ディスプレイパネルはリプリントの設定内容を表示し、リプリント文書に対して丁合いの設定をすることができます。

選択したプリンターでリプリント印刷が可能かどうかを表示します。



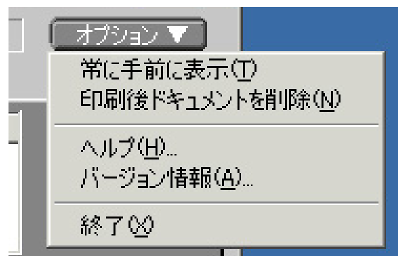
機能選択タブ
クリックすることにより設定したい機能を選択します。

機能設定ボタン
クリックするたびに設定の有効/無効が切り替わります。

ドキュメントを選択し、丁合い機能を有効にしたところ

[オプション]ボタン

[オプション]メニューはPrintAgent リプリント2のオプション機能を設定します。



常に手前に表示

設定するとPrintAgent リプリント2が他のウィンドウよりも常に前に表示されます。



PrintAgent リプリント2を終了してもこの設定は有効です。

印刷後ドキュメントを削除

設定するとリプリント実行後、選択されていたファイルを削除します。



PrintAgent リプリント2を終了してもこの設定は有効です。

ヘルプ

PrintAgent リプリント2のヘルプが表示されます。

バージョン情報

PrintAgent リプリント2のバージョンが表示されます。

終了

PrintAgent リプリント2を終了します。

プリンタステータスウィンドウ(PSW)

PSWは印刷の進行状況やプリンターの状態を画面と音声によるメッセージで通知します。また、印刷のとりやめの指示もこのウィンドウから行うことができます。

メニュー＆ツールバー
メニューとツールバーを使うと印刷の中止、ドキュメント情報の表示、リプリント機能、ウォームアップ開始機能などが利用できます。

プリンター名
プリンターに付けられた名前が表示されます。ここに表示されるのは[プリンタ]フォルダーや[プリントマネージャ]で設定した名前です。

バルーンメッセージ
プリンターの状態やエラー時の対処方法をより詳細に表示します。



ステータス情報エリア
アイコンとメッセージでプリンターの状態などを表示します。

ビジュアル情報エリア
装置の構成、接続状態、印刷状況、障害の状況などをアニメーションで表示します。

用紙残量インジケーター
各ホッパーの用紙残量を示します。

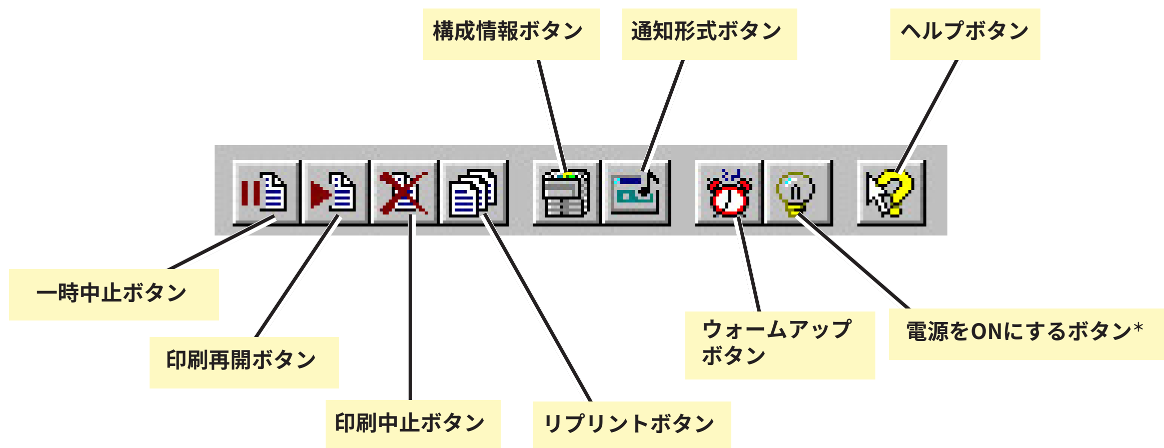
ドキュメント情報エリア
印刷中、送信中のドキュメント情報を表示します。

両面インジケーター＊
両面印刷ユニットの装着状態や両面印刷中であることを示します。

ステータスバー
プリンターの機種名とそのプリンターが接続されているポート名またはネットワークパス名を表示します。
メニューを選択しているときは、メニューの情報が表示されます。

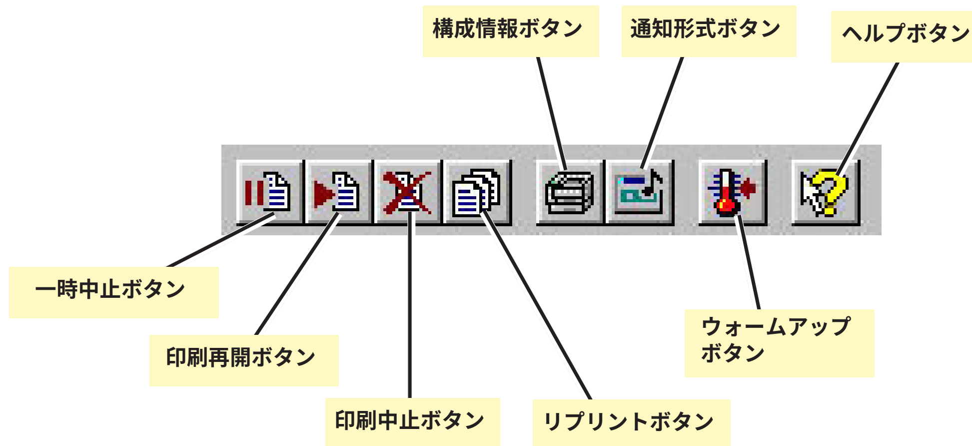
＊ MultiWriter 2650/2200X2の場合、通常表示されません。両面印刷時に表示されます。

プリンタステータスウインドウのツールバー（MultiWriter 2650Eの場合）



＊　2650/2650E/2250で利用可能です。

プリンタステータスウインドウのツールバー（MultiWriter 1400Xの場合）



メニュー＆ツールバー

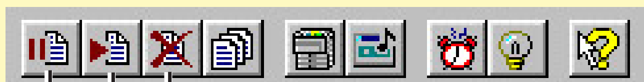
メニューとツールバーを使うと印刷の中止、ドキュメント情報の表示、リプリント機能、ウォームアップ開始機能などが利用できます。ツールバーのボタンはメニューの項目をアイコン化したものです。

ドキュメントを制御する

[送信中ドキュメント情報]に表示されているドキュメントを一時停止、再開、中止する機能です。



Windows 2000、Windows NT 4.0/NT 3.51では、セキュリティーにより「一時停止」、「印刷再開」は実行できません。またネットワーク上のWindows 98/95クライアントでもこの機能は実行できません。



印刷中止ボタン

印刷再開ボタン

一時停止ボタン

送信中ドキュメントの一時停止

ツールバーの一時停止ボタンをクリックするか[ドキュメント]メニューの[一時停止]を選択すると送信中のドキュメントの一時停止を行います。



複数のドキュメントが送られていた場合、一時停止を行うとプリンターは次の印刷待ちドキュメントの印刷をはじめるわけではありません。一時停止されたドキュメントを「印刷再開」または「印刷中止」しないかぎり、以降のドキュメントは処理されません。

一時停止中ドキュメントの印刷再開

ツールバーの印刷再開ボタンをクリックするか[ドキュメント]メニューの[印刷再開]を選択すると一時停止の状態になっている印刷ドキュメントに対し、プリンターへの送信を再開します。

印刷の中止

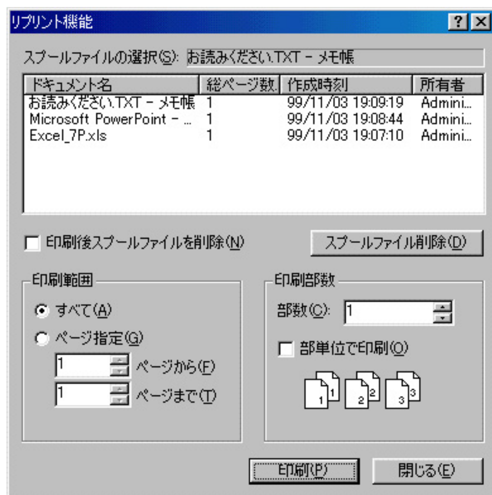
ツールバーの印刷中止ボタンをクリックするか[ドキュメント]メニューの[印刷中止]を選択すると送信中のドキュメントの印刷中止(ジョブキャンセル)を行います。



PrintAgentをご使用になっているかぎり印刷の中止は、この「ジョブキャンセル」機能を使うことをお勧めいたします。ジョブキャンセルは、送信中の印刷データを削除し、印刷を取りやめることができます。すでに送られた印刷データは削除することができません。

リプリント機能を使う

リプリント機能を利用すると一度印刷したデータはアプリケーションから再び印刷を実行することなく、PSWのダイアログボックスから直接再印刷(リプリント)できるようになります。



ツールバーのリプリントボタンをクリックするか[ドキュメント]メニューの[リプリント機能]を選択すると[リプリント機能]ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスを使ってリプリントするドキュメントの設定を行います。

[スプールファイルの選択]

リプリントを行うドキュメントを選択します。

[印刷後スプールファイルを削除]

リプリントを行った後に、プライベートスプールしてあるドキュメントを削除します。プライベートスプールしてあるドキュメントとは、リプリントのために保存されたドキュメントのことです。

[印刷範囲]

[スプールファイルの選択]で選択されたドキュメントの印刷範囲を指定します。

[スプールファイル削除]

クリックすると[スプールファイルの選択]で選択したドキュメントを削除します。

[部数]

印刷時の部数(コピー枚数)を指定することができます(1～99枚まで設定可能)。

[部単位で印刷]

印刷時の部数を複数枚指定した場合、部単位で印刷(丁合い印刷)するかどうかについて指定します。

[印刷]

クリックするとリプリントを実行します。

[閉じる]

クリックするとリプリントを実行せずに、[リプリント機能]ダイアログボックスを閉じます。



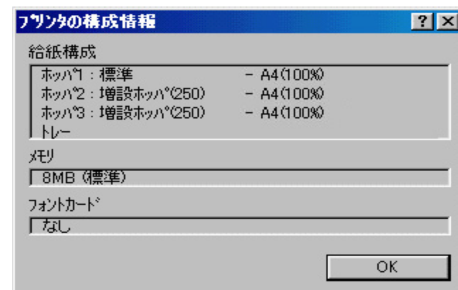
すでに他のPrintAgent対応プリンターをご使用になり、PrintAgentをインストールしている場合に、MultiWriter 2650/2650E/2250/2050/2200X2/2200XE/2000X2/1400XのPrintAgentをインストールすると、リプリント機能のスプールファイルの[ドキュメント数]は、すでにインストールされているPrintAgentの設定値が10未満の場合は10、10以上の設定がされている場合は、その設定値となります。

プリンターの構成情報を見る

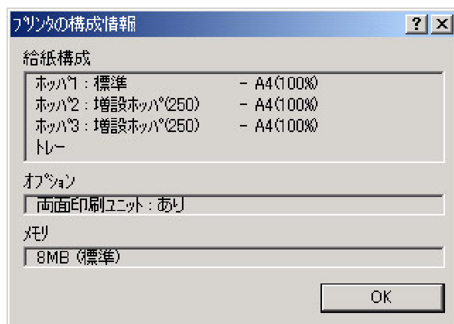
ツールバーの構成情報ボタンをクリックするか[オプション]メニューの[プリンタの構成情報]を選択するとプリンターの給紙構成、オプション、メモリーの情報を表示します。MultiWriter 2650/2200X2以外は、両面印刷ユニットは、オプションとして表示されます。



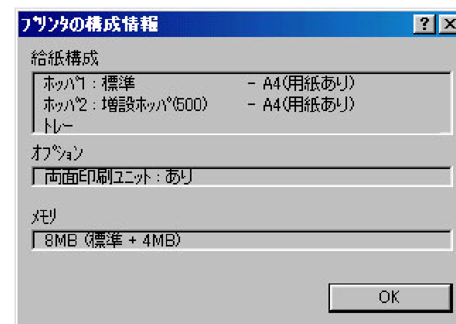
MultiWriter 2650



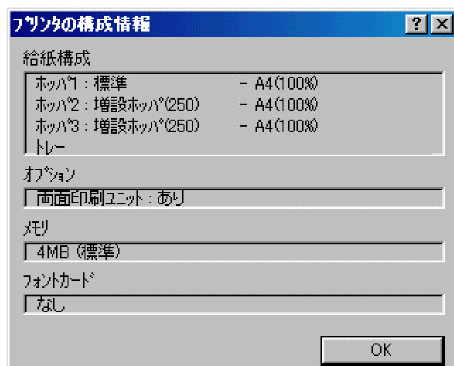
MultiWriter 2200X2



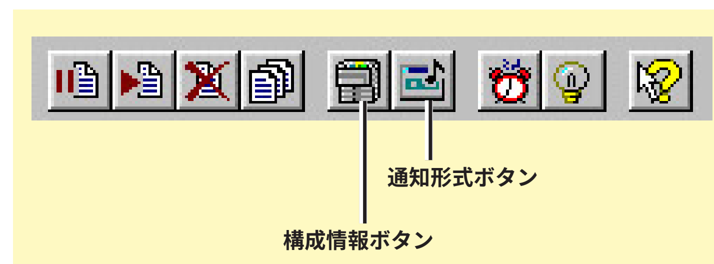
MultiWriter 2650E/2250/2050



MultiWriter 1400X



MultiWriter 2200XE/2000X2

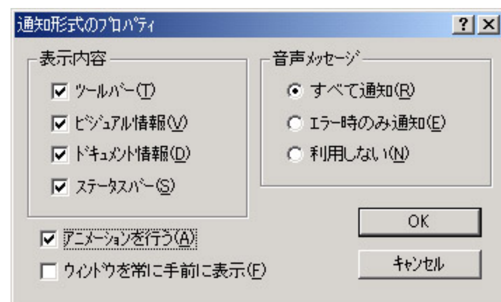




プリンターとコンピューターで双方向通信が行われていないときは[プリンタのプロパティ]ダイアログボックス(Windows 2000の場合)または[プロパティ]ダイアログボックス(Windows 98/95の場合)または[デバイスプロパティ]ダイアログボックス(Windows NT 4.0/3.51の場合)の「プリンタの構成」の設定内容が表示されます。

通知形式を変更する

ツールバーの通知形式ボタンをクリックするか[オプション]メニューの[通知形式]を選択するとPSWの通知形式を変更することができます。



表示内容を必要とする項目だけを選択することにより、ウィンドウをコンパクトにすることができたり、PSWのアニメーションを行うかどうかなどを設定できます。

[表示内容]

ウィンドウに表示する内容を次の項目で選択します。

- ツールバー
- ビジュアル情報
- ドキュメント情報
- ステータスバー

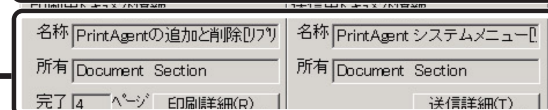
ツールバー



ビジュアル情報



ドキュメント情報



ステータスバー



[音声メッセージ]

音声メッセージの利用方法を切り替えます。

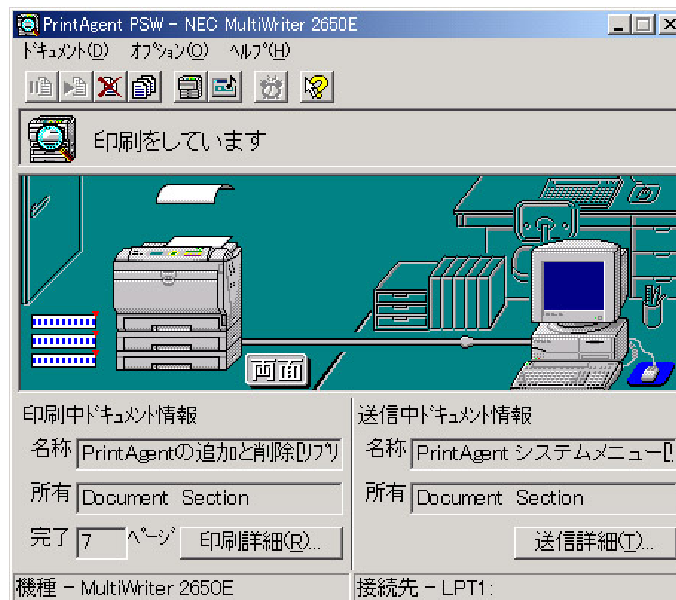
- すべて通知
- エラー時のみ通知
- 利用しない


チェック

- 音声メッセージ通知はインストール時に選択していないとご利用になれません。
- 音声メッセージは、自分のドキュメントの印刷中にはPSWが表示されていない場合でもPrintAgentが起動していれば通知されます。必要ない場合は[音声メッセージ]で[利用しない]を選択してください。
- 音声メッセージは、自分のドキュメントを印刷していないときの通知に関しては、PSWのプロパティの設定内容により変わります。詳細については「PSWのプロパティ」をご覧ください。
- 連続して印刷を行っている場合、印刷開始のメッセージは最初のデータの印刷処理が開始されたときだけ通知されます。同様に印刷終了のメッセージは最後のデータが処理終了したときだけ通知されます。

[アニメーションを行う]

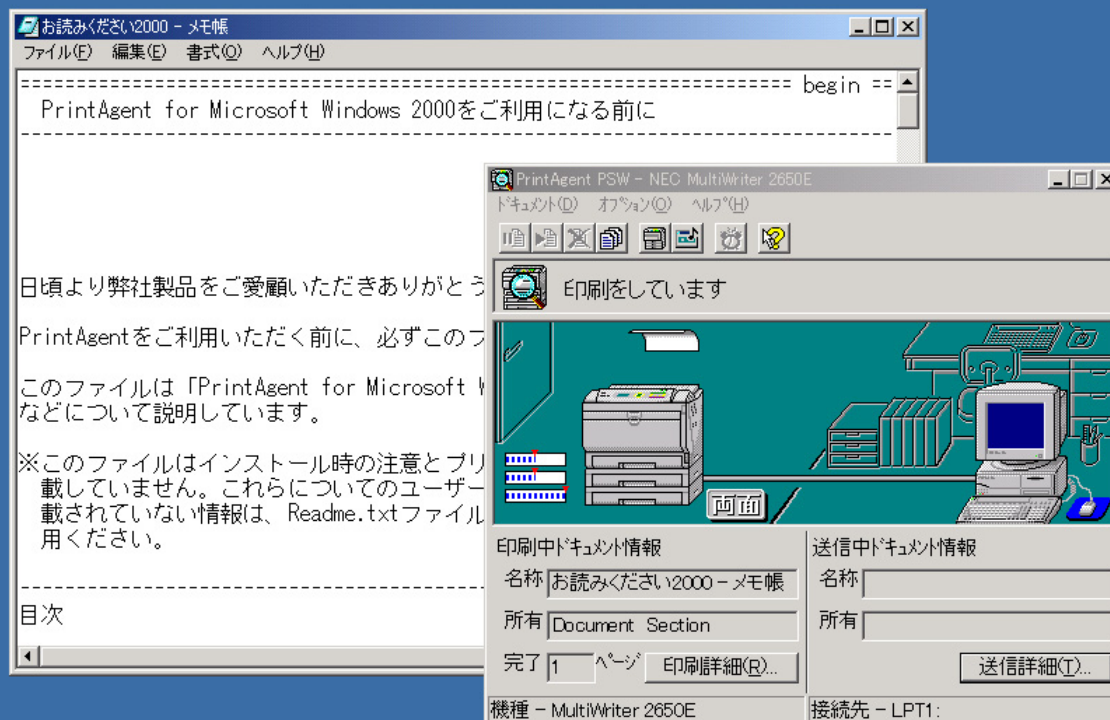
ステータス情報エリアまたはビジュアル情報エリアでアニメーション(エラー/通知アイコン、排紙、印刷データの送信状況の動画表現)を行うかどうかを切り替えます。



印刷時のアニメーション

[常にウィンドウを手前に表示]

これをチェックしておくと一番手前にPSWが表示されるので、プリンターの状態を常に確認できます。



ウォームアップを行う

ツールバーのウォームアップ開始ボタンをクリックするか[オプション]メニューの[ウォームアップ開始]を選択すると節電状態のプリンターのウォームアップを開始します。通常はデータ受信とともにウォームアップを開始しますが印刷前にあらかじめウォームアップを開始させておくと印刷までの時間が早くなります。





節電機能のON/OFFと節電状態に入るまでの時間は、プリンター操作パネルによるメニューモードの[運用メニュー]で設定できます。

プリンターの電源をONする(2650/2650E/2250)

ツールバーの[電源をONにする]ボタンをクリックするか、[オプション]メニューの[電源をONにする]を選択すると指定したプリンターの電源をONすることができます。



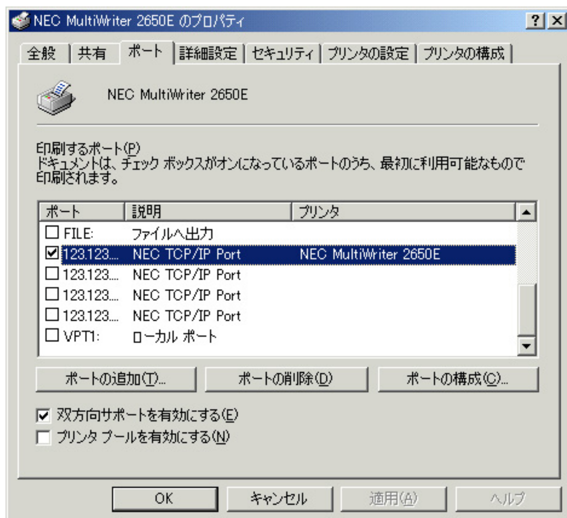


Windows NT 3.51ではPSWでリモート電源制御機能を利用できません。

PSWでリモート電源制御機能を利用するには

印刷先のポートとしてNEC TCP/IP Printing System（NEC Network Port）を直接指定している場合は、以下の設定を行ってください。

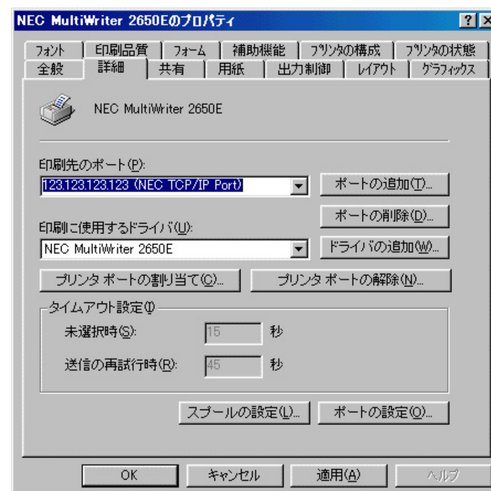
1. [プリンタ]フォルダーから対象プリンターの[プロパティ]ダイアログボックスを開く。



Windows 2000の場合



Windows NT 4.0の場合



Windows 98/95の場合

2. <Windows 2000/NT 4.0の場合>

[ポート]シートの[ポートの構成]を選択し[NEC Network Port]ダイアログボックスを開く。

<Windows 98/95の場合>

[詳細]シートの[ポートの設定]を選択し[NEC TCP/IP Printing System]ダイアログボックスを開く。

3. [電源制御する]をチェックする。

4. [MACアドレス]を入力し[OK]をクリックする。

プリンター本体およびLANアダプターの電源が入っている場合は、[検索]をクリックすることで、自動的にMacアドレスを検索することができます。



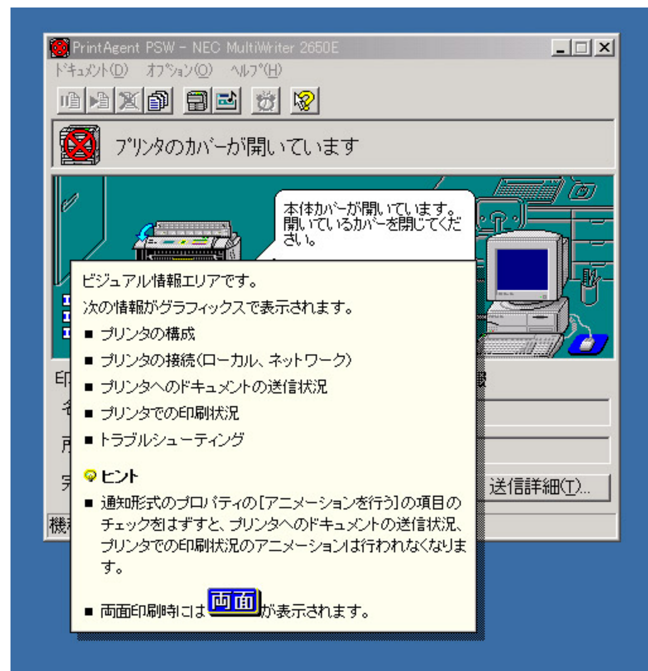


- 本機能はプリンターがリモート電源制御対応LANアダプタ(型番：PR-NP-03TR2)に接続されている場合のみ有効な機能です。
- Windows 2000、Windows NT 4.0ではAdministrators権限のユーザーのみが設定できます。

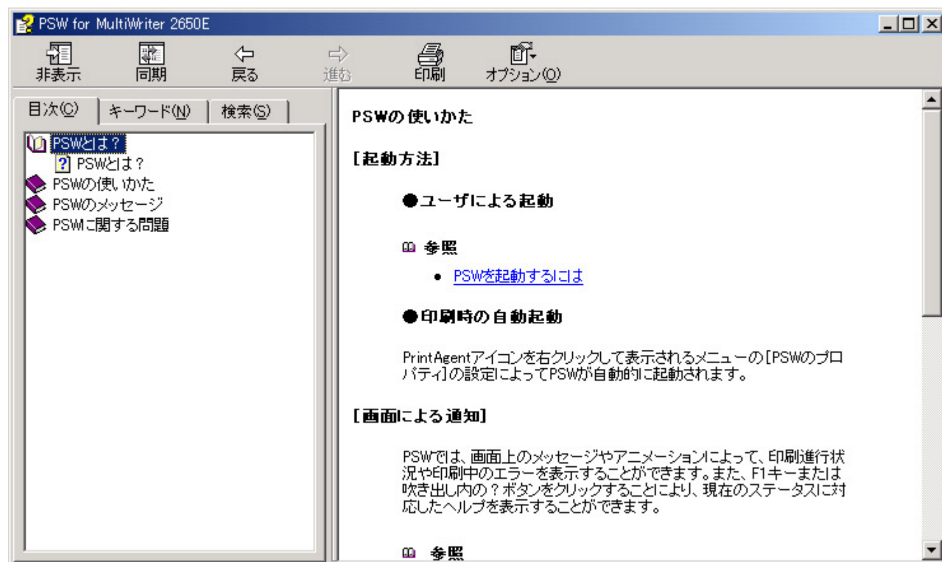
ヘルプを見る

ヘルプを見るためには[？]ボタンをクリックし、そのままポインタを移動させウィンドウ内の各部分をクリックするか、[ヘルプ]メニューの[目次]を選択し[トピックの検索]を表示させます。

Windows 2000の場合

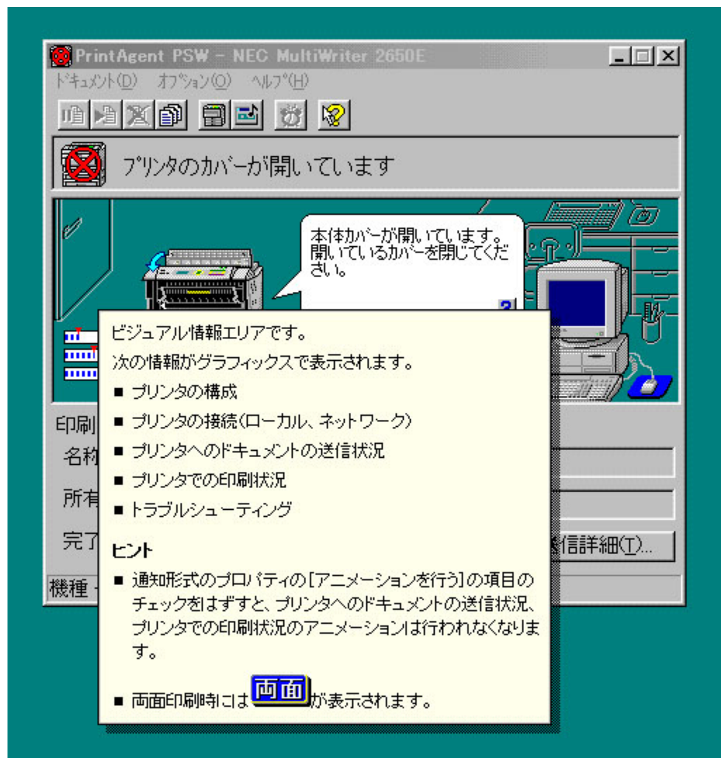


［？］ボタンから表示するヘルプ

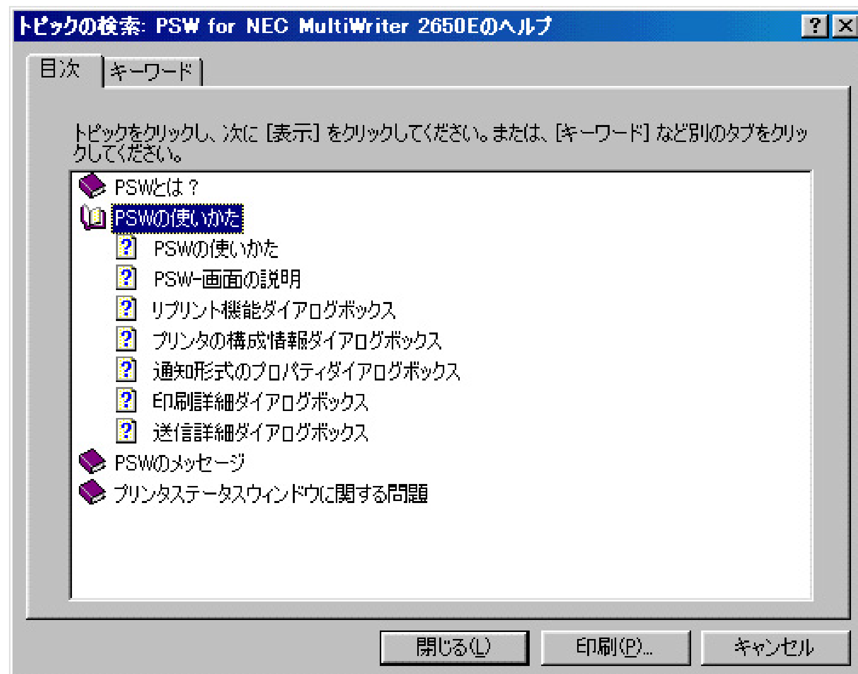


［トピックの検索］ダイアログボックス

Windows 98/95、Windows NT 4.0/3.51の場合



［？］ボタンから表示するヘルプ

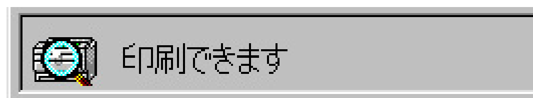


［トピックの検索］ダイアログボックス

ステータス情報エリア

3種類のアイコンでプリンターの状態を表示し、文字と音声によるメッセージが付随します。

通常状態



通常に印刷できる状態または処理中の表示です。

通知状態



「トナーの減少」など印刷を続行するために必要な情報を表示します。プリンターアイコン上の黄色いアイコンが回転します。

エラー状態



「カバーオープン」など印刷を再開するために必要な情報を表示します。プリンターアイコン上の赤いアイコンが回転します。

プリンタステータスウィンドウ（ＰＳＷ）の通知一覧

プリンタステータスウィンドウ(PSW)は、プリンターがローカル接続されているかサーバー接続されているかによって利用できる機能や通知できる内容に違いがあります。



サーバー接続プリンターの場合、ネットワークプロトコルはTCP/IPのときに、PSWがご利用になれます。

MultiWriter（サーバー接続）
PrintAgent
サーバー
MultiWriter
（LANボード内蔵または
LANアダプター装備）
PrintAgent
PrintAgent
MultiWriter（ローカル接続）
Windows
2000/98/95/
NT4.0/NT3.51
Windows
2000/98/95/
NT4.0/NT3.51
クライアント
クライアント

プリンタステータスウィンドウ(PSW)の利用できる機能

機能項目	ローカル・サーバー接続	LAN接続
タイトルバー		
プリンタ名の表示	○	○
「ドキュメント」メニュー		
印刷中止	○	○*1
一時停止	○*2	○*2
再開	○*2	○*2
リプリント機能	○	○
「オプション」メニュー		
プリンタの構成情報	○	○
通知形式	○	○
ウォームアップ開始	○	○
電源をONにする	X	○*3,*5
「ヘルプ」メニュー	○	○
目次	○	○
バージョン情報	○	○
ツールバー		
［印刷中止］ボタン	○	○*1
［一時停止］ボタン	○*2	○*2
［再開］ボタン	○*2	○*2
［リプリント］ボタン	○	○
［構成情報］ボタン	○	○
［通知形式］ボタン	○	○
［ウォームアップ開始］ボタン	○	○*3,*5
［電源をONにする］ボタン	X	○
［ヘルプ］ボタン	○	○
ステータス情報エリア*4	○	○

機能項目	ローカル・サーバー接続	LAN接続
ビジュアル情報エリア		
バルーンメッセージ	○	○
ステータスヘルプボタン	○	○
用紙残量メータ	○	○
両面インジケータ	○	○
データ送信アニメーション	○	○
用紙排出アニメーション	○	○
節電状態アニメーション	○	○
音声メッセージ	○	○*6
ドキュメント情報エリア		
「印刷中ドキュメント情報」	○	○
「送信中ドキュメント情報」	○	○
ステータスバー		
「機種」	○	○
「接続先」	○	○

*1 実行可能ですが実行後、印刷データが残ったままになることがあります。
*2 Windows 2000およびWindows NT 4.0/3.51ではご利用できません。
*3 電源制御付き外付けLANアダプター（型番：PR-NP-03TR2）との接続時のみ表示されます。Windows NT 3.51ではご利用になれません。
*4 表示・通知がプリンターの動作、状態により若干遅れることがあります。
*5 MultiWriter 2650/2650E/2250でご利用になれます。
*6 表示・通知がプリンターの動作、状態により若干遅れることがあります。

ステータス情報エリアの表示(1/2)

ステータス	表示メッセージ	音声メッセージ	ローカル /サーバー接続	LAN接続
通常	印刷できます	―――――――――	○	○
	印刷ドキュメントを準備中です	―――――――――	○	○
	印刷をしています	印刷を開始します 印刷が再開されました	○	○
通知	プリンタは節電状態になっています	―――――――――	○	○
	印刷ドキュメントを削除中です	印刷を取りやめました	○	○
	プリンタはウォーミングアップ中です	―――――――――	○	○
	プリンタのもう一方のポートで印刷しています	―――――――――	○	○
	トナーが減少しています	―――――――――	○	○
	プリンタの情報を取得中です	―――――――――	○	○
	プリンタの情報が取得できません	―――――――――	○	○
	テスト印刷を実行中です	―――――――――	○	X
	16進ダンプ印刷を実行中です	―――――――――	○	X
	ネットワークプリンタの情報は取得できません	―――――――――	○*1	X
	ネットワークプリンタの情報が取得できません	―――――――――	○*1	X
	ネットワーク関連の内部エラーです	―――――――――	○	○
エラー	ネットワークプリンタの状態が不明です*2	―――――――――	○*1	X
	プリンタの情報が取得できません	―――――――――	○	○
	電源がOFFかケーブルが接続されていません	プリンタの応答がありません	○	○
	印刷可スイッチが押されていません	印刷可スイッチが押されていません	○	○
	接続されているプリンタはサポートされていません	このプリンタはサポートしていません	○	○
	ドキュメントの印刷を一時停止中です	印刷が一時停止されました	○	○

*1　サーバー接続のときのみ通知されます。
*2　Windows NT4.0/3.51のときのみ通知されます。

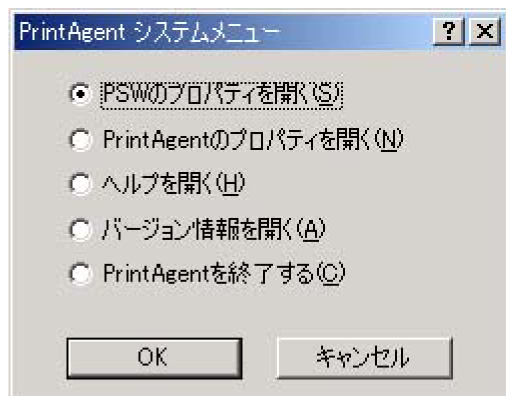
ステータス情報エリアの表示(2/2)

ステータス	表示メッセージ	音声メッセージ	ローカル/サーバー接続	LAN接続
エラー(続き)	プリンタは一時停止中です	印刷が一時停止されました	○	○
	用紙がありません	用紙がありません	○	○
	指定サイズと異なる用紙がセットされています	正しい用紙がセットされていません	○	○
	正しい用紙サイズで印刷できませんでした	正しい用紙サイズで印刷できませんでした	○	○
	紙づまりです	紙づまりです	○	○
	EPカートリッジが入っていません	EPカートリッジが入っていません	○	○
	プリンタのカバーが開いています	プリンタのカバーが開いています	○	○
	トナーが減少しています	ーーーーーーーーー	○	○
	プリンタのメモリが不足しています	プリンタで障害が発生しました	○	○
	ネットワークプリンタはオフライン作業中です*1	オフライン作業中です	○*2	X
	状態が取得できません	ーーーーーーーーー	○	○
	プリンタで障害が発生しています	プリンタで障害が発生しました	○	○
	EPカートリッジが間違っています	EPカートリッジが入っていません	○	○
	用紙カセットが入っていません	用紙がありません	○	○

*1 Windows 98/95のときのみ通知されます。
*2 サーバー接続のときのみ通知されます。

システムメニュー

システムメニューはプリンタステータスウィンドウ(PSW)とPrintAgentを効率よく運用していただくための環境を設定します。システムメニューでは以下のようなPrintAgentの設定項目を選ぶことができます。



- PSWのプロパティを開く
- PrintAgentのプロパティを開く
- ヘルプを開く

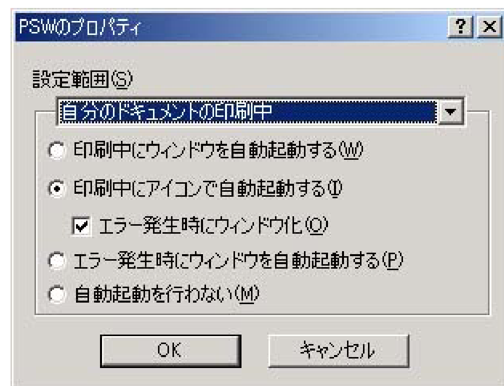
  PirntAgentのヘルプを起動します。
- バージョン情報を開く

  PrintAgentのバージョン情報ダイアログを開きます。
- PrintAgentを終了する

  PrintAgentを終了します。

PSWのプロパティ

[PSWのプロパティ]ダイアログボックスはPSWをいつ自動起動(表示)させるかを設定します。設定範囲のリストボックスから以下の2つのいずれかを選択できます。



[設定範囲]

- 自分のドキュメントの印刷中
  自分が印刷を行ったときのPSWの自動起動に関して設定できます。

- 自分のドキュメントを印刷していないとき
  自分が印刷していない場合(ネットワーク上でプリンターを共有しているときに他の人が印刷を行った場合を含む)のPSWの自動起動に関して設定できます。



特定のクライアントで、プリンターを管理する場合等は、[自分のドキュメントを印刷していないとき]を選択し、自動起動を行うようにすると便利です。

[印刷中にウィンドウを自動起動する]

印刷を開始すると自動的にPSWを表示し、印刷が終了すると自動的にウィンドウを閉じます。

[印刷中にアイコンで自動起動する]

印刷を開始すると自動的にPSWのアイコンをタスクバー上(Windows NT 3.51ではデスクトップ上)に表示します。印刷が終了すると自動的にPSWアイコンは消えます。必要に応じてウィンドウとして表示することができます。また、[エラー発生時にウィンドウ化]をチェックすると、印刷中にエラーが発生したとき、自動的にウィンドウが表示されます。

[エラー発生時にウィンドウを自動起動する]

なんらかの対処をしなければ印刷を継続できないエラーが発生した場合に自動的にPSWを表示します。エラー状態が解除されると自動的にウィンドウは閉じます。

[自動起動を行わない]

印刷時やエラー発生時も含めて自動起動を行いません。

PrintAgentのプロパティ

[PrintAgentのプロパティ]ダイアログボックスでは、MultiWriterを効率よく運用していただくために必要な項目が設定できます。



[システムを自動的に起動する]

Windowsの起動時にPrintAgentが自動的に起動します。設定した内容は、次回のWindows起動時(Windows 98/95)またはログオン時(Windows 2000、Windows NT 4.0/3.51)から有効となります。

[共有プリンタを利用する]

他のコンピューター(プリントサーバー)がネットワーク共有プリンターとして提供しているMultiWriterに対してPrintAgentの機能を利用できるようになります。

この設定は、共有プリンターに対するPrintAgent機能の利用のみを設定するもので、OFFになっていても印刷自体は可能です。



設定が有効になるためには、プリントサーバー側のPrintAgentのプロパティで[共有プリンタを提供する]がチェックされている必要があります。

[共有プリンタを提供する]

お使いのコンピューターに接続されているMultiWriterを共有プリンターとして他のコンピューターに対して提供する場合に、他のコンピューターからPrintAgentの機能を利用できるようにします。

この設定は、PrintAgentの機能の利用のみを設定するもので、OFFになっていてもクライアントから共有プリンターに印刷することはできます。また共有プリンターを提供するコンピューターがWindowsのログオン画面表示中(ユーザーがログオンしていない間)であっても他のコンピューターからPrintAgent機能は利用可能です。



共有プリンターの利用/提供について

本項目は、Windows 2000、Windows NT 4.0/3.51では、Administrators権限のある方のみが設定を変更できます。
[共有プリンタを利用する]、[共有プリンタを提供する]は、通常はONのままで支障ありませんが、次の場合はOFFにすることをお勧めします。

- ネットワークの回線速度が遅い
  低速回線を経由する共有プリンターに対して、PrintAgentを使用すると、通信速度の関係でPSWなどの操作がしにくかったり、状態の表示が遅れたりすることがあります。この場合は、[PrintAgentのプロパティ]で[共有プリンタを利用する]のチェックを外してください。ネットワーク共有プリンターについてのPrintAgentの双方向通信機能を無効にすることができます。

- 課金されるネットワークを使っている
  転送データ量に応じて課金される従量課金制のネットワークを経由してPrintAgentを使用している場合にも、PrintAgentの双方向通信によってデータ転送が発生し、課金されることがあります。
  考慮すべきネットワーク環境の例としては以下のケースがあります。
  - ◇ ネットワークプリンターが、公衆回線を経由した別のネットワーク上に存在する場合。
  - ◇ プリントサーバー、DNSサーバー、WINSサーバーが公衆回線を経由した別のネットワーク上に存在する場合。
  - ◇ ローカルネットワークの通信自体が課金ネットワークの場合。

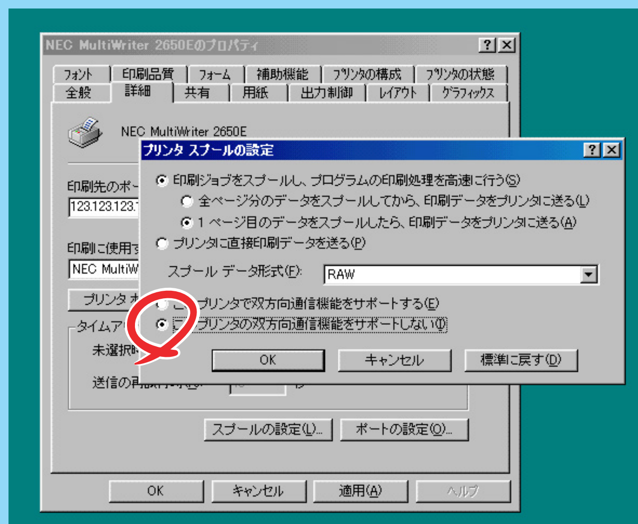
  これを避けたい場合にも、上記操作によってネットワーク共有プリンターについてのPrintAgentの双方向通信機能を無効にしてください。

- コンピューターの処理能力が十分でない
  コンピューターの性能があまり高くない場合、PrintAgentのご利用により、他の作業の処理速度に影響する可能性があります。この設定を外してもローカルに接続しているプリンターでは、引き続きPrintAgentがご利用になれます。



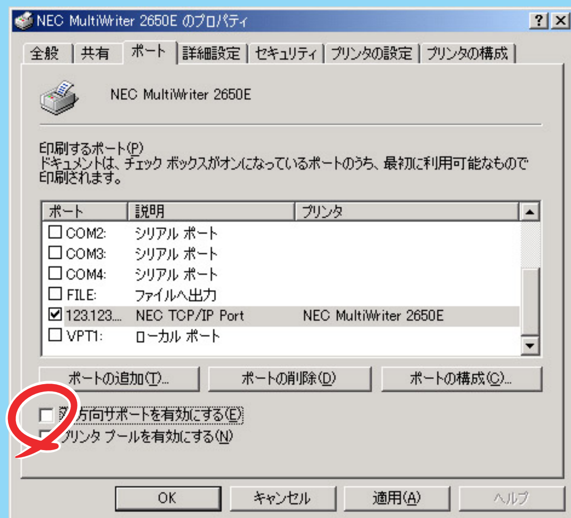
従量課金回線での課金を最小限(印刷時のみ)とするためには

- クライアントコンピューター側で[PrintAgentのプロパティ]の[共有プリンタを利用する]のチェックを外す。
- サーバーコンピューター側で[PrintAgentのプロパティ]の[共有プリンタを提供する]のチェックを外す。
- サーバーコンピューターがWindows 98/95の場合はプリンターのプロパティーの[詳細]-[プールの設定]-[このプリンタの双方向通信機能をサポートしない]を選択する。

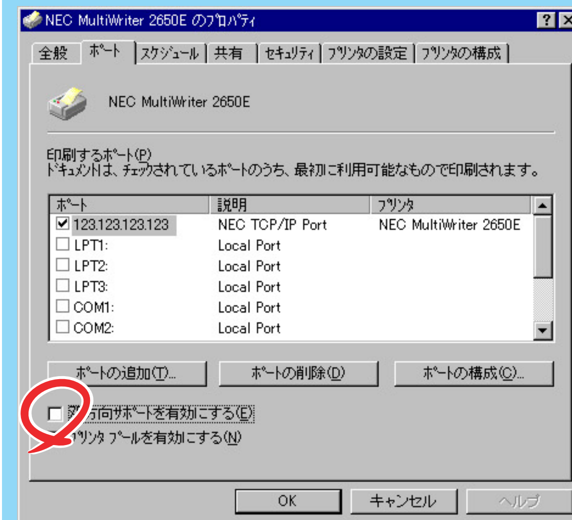




サーバーコンピューターがWindows 2000またはWindows NT 4.0の場合は[デバイスプロパティ]ダイアログボックスの[ポート]-[双方向サポートを有効にする]のチェックを外してご利用ください。



Windows 2000



Windows NT 4.0



サーバーコンピューターがWindows NT 3.51の場合は[プリントマネージャ]を開き、[プリンタ]-[プリンタの情報]の印刷先をLPRポートに変更してご利用ください。

プリンタ情報

プリンタ名(N): NEC MultiWriter 2650E
ドライバ(D): NEC MultiWriter 2650E
説明(E):
印刷先(T): 123.123.123.123
☐ ネットワーク上で共有(S)
共有名(A):
設置場所(L):

OK
ｷｬﾝｾﾙ
設定(U)...
詳細(I)...
ﾎﾟｰﾄ設定(G)...
ﾍﾙﾌﾟ(H)

[リプリント機能を提供する]

チェックすると、リプリント機能が利用可能になります。いったんスプールされたデータはアプリケーションを起動することなくPrintAgent リプリント2 やPSWの[リプリント機能]ダイアログボックスからリプリント(再印刷)できるようになります。

[リプリント機能の設定]ボタン

リプリント機能の設定(F)...

このボタンをクリックすることにより、[リプリント機能の設定]ダイアログボックスが表示されます。[リプリント機能の設定]ダイアログボックスは、リプリント機能で用いるスプールファイルについて設定をするダイアログボックスです。

ここで設定した値のうち、いずれかの制限を越えると、すでにスプールしてあるドキュメントの中から最も古いファイルから消去されます。

リプリント機能の設定

スプールファイルの制限方法

ドキュメント数(N) 10 個(1 - 100)

有効期限(T) 240 時間(1 - 720)

ディスク領域(C) 10 MB(1 - 空き領域の 50%)

スプールファイルを格納するフォルダ

現在のフォルダ: C:¥PrintAgent¥Spool 空にする(E)

空き領域: 7069 MB 変更(F)...

OK キャンセル

スプールする最大ドキュメント数を限定します。

スプールしておく時間を設定します。

スプールに使う最大ディスク領域を設定します。

スプールしてあるドキュメントをすべて削除します。

スプールするファイルを保存するフォルダーを変更します。



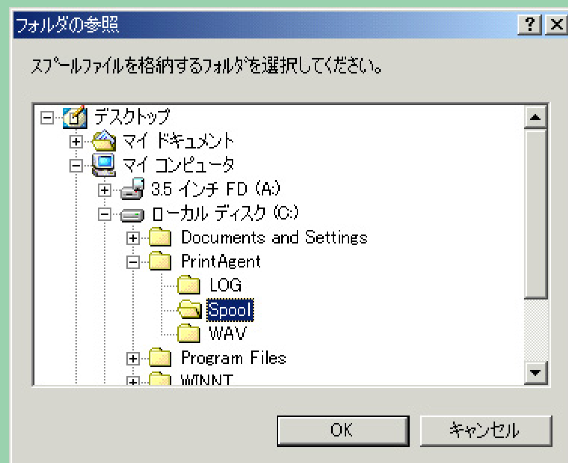
ドキュメント数について

チェックを外すとスプール可能なドキュメント数の最大値が設定されます。


チェック

スプール先について

空き容量が不足した場合には、[変更]ボタンをクリックし、以下の[フォルダの参照]画面により、スプールするフォルダーを変更できます。ただしネットワークで接続されたフォルダーやリムーバブルディスクはスプールするフォルダーとして指定できません。



[LANボード使用時のPSW表示]

LANボード使用時のPSW表示
- 印刷終了まで表示(D)
- 送信終了まで表示(E)

LANボード、LANアダプター使用時にいつまでPSWでアニメーション表示させるか設定します。LANボードを使用してネットワーク接続された共有プリンターに対して「印刷ログ出力機能」を利用したい場合は[印刷終了まで表示]に設定する必要があります。


チェック

Windows 2000、Windows NT環境でのリプリントとLANボードの設定はAdministratorsの権限が必要です。

プリンタ管理ユーティリティ

「プリンタ管理ユーティリティ」は管理者用としてソフトウエアをインストールした方のみご利用になれるユーティリティーです。このユーティリティーは、ローカル接続も含めネットワーク内に接続されているプリンターであれば管理者ご自身が実際に使用している、いないにかかわらず以下の機能を使ってプリンターを設定・管理することができます。プリンタ管理ユーティリティ、プリンター覧はWindows 2000/98/95/NT 4.0でご利用になれます。

- プリンターの使用状況の確認
- PSWの起動
- リモートパネルの起動
- 印刷ジョブの制御
- グループプリンターの作成・設定
- LANボード/LANアダプターの設定（NEC製のみ）
- 保守情報のメール通知（NEC e-mailメンテナンス）の設定

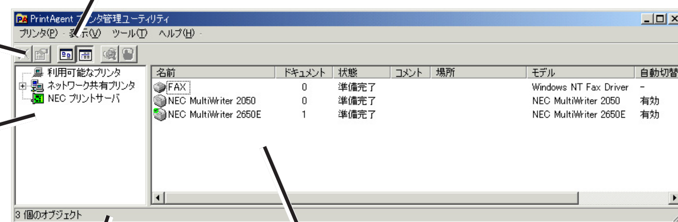
プリンタ管理ユーティリティは以下のウィンドウを使って設定･管理します。ここではウィンドウの概略を説明します。プリンタ管理ユーティリティを使って実現する機能の手順についてはプリンターのユーザーズマニュアルまたはLANボード/LANアダプターに添付の取扱説明書をご覧ください。


ヒント

「プリンター覧」のウィンドウでは「ツリービュー」の部分が表示されず機能も一部制限されます。（管理者の機能は表示されません）

ツールバー
メニューの項目をアイコン化したものです。選んだプリンター、接続形態を選択しているツリービューによって表示内容は異なります。

メニューバー



ツリービュー
利用できるプリンターをツリー形式で表示します。

- 利用可能なプリンタ：
  お使いのコンピューターにインストールされているすべてのプリンターです。
- ネットワーク共有プリンタ：
  ネットワーク内で共有に出されているすべてのプリンターです。
- NECプリントサーバ：
  NEC製のLANボードまたはLANアダプターを使ってネットワーク接続されているプリンターです。

ステータスバー

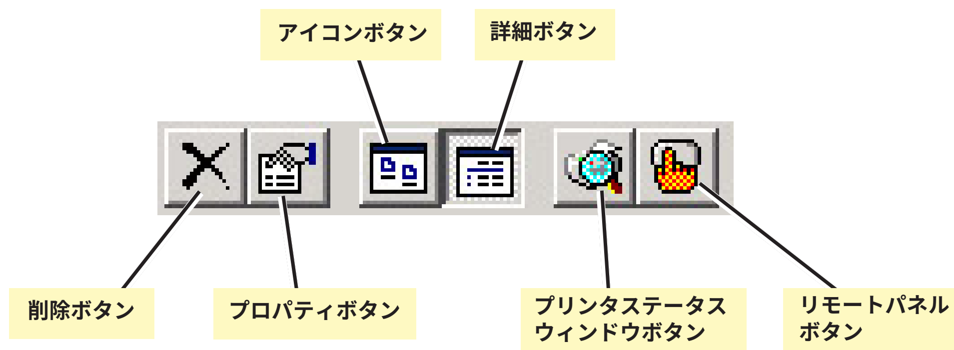
リストビュー
左側のボックスで選ばれた接続形態のプリンターの使用状況などをリストで表示します。



各メニューのコマンドをポイントするとステータスバーに簡単な説明が表示されます。詳細な説明が必要な場合はヘルプをご覧ください。

ツールバー

プリンタ管理ユーティリティはツールバーとメニューを使ってネットワーク内のプリンターの設定・管理します。ツールバーのボタンはメニューの項目をアイコン化したものです。



[削除]ボタン

リストビューで選択したプリンターのプリンタードライバーを削除します。

[プロパティ]ボタン

リストビューで選択したプリンターのプリンタードライバーのプロパティシートが開きます。

[アイコン]ボタン

リストビューのプリンター一覧をアイコンで表示します。

[詳細]ボタン

リストビューのプリンター一覧を詳細なリストで表示します。

[プリンタステータスウィンドウ]ボタン

リストビューで選択したプリンターのPSWを表示させます。

[リモートパネル]ボタン

リストビューで選択したプリンターのリモートパネルを表示させます。詳細については、ユーザーズマニュアルを参照してください。

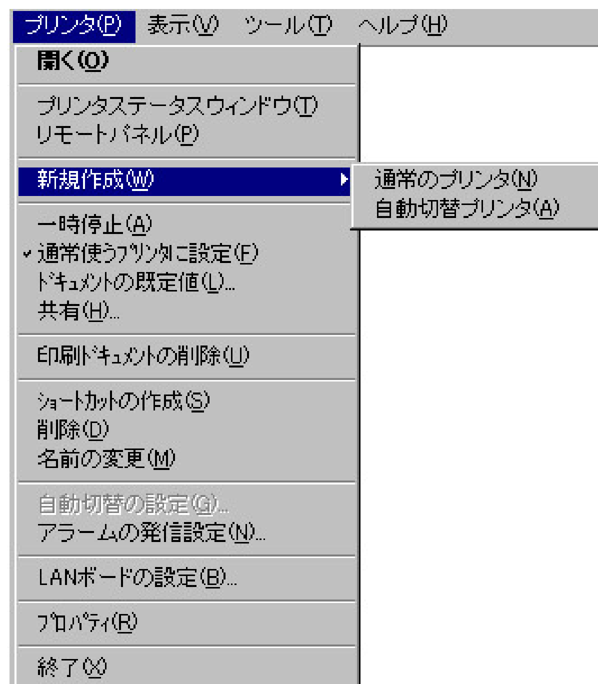
メニュー

メニューの表示項目、順番はそれぞれのOSの環境、プリンターの接続方法によって変わります。以下はWindows NT 4.0の表示例です。

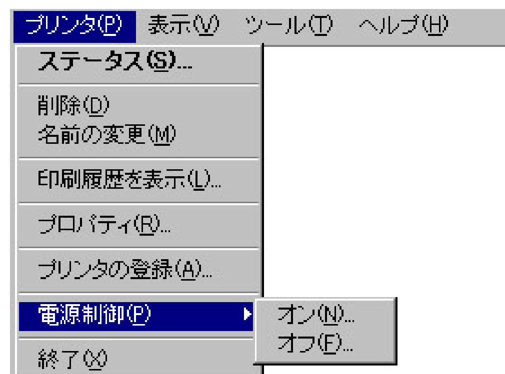
[プリンタ] メニュー

選択されているプリンターに対して有効なコマンドが表示されます。

● 利用可能なプリンターを選択した場合



● LANプリンターを選択した場合



開く

プリンタードライバーを開きます。

プリンタステータスウィンドウ

PSWを開きます。

リモートパネル

リモートパネルを開きます。

場所の設定(Windows 98/95のみ)

プリンターの設置場所を設定します。設定された場所はプリンターの状況確認や印刷終了通知を受け取ったときに参照できます。

新規作成

プリンターを追加し、利用できるようにします。通常のプリンターと自動切り替えができるグループプリンターが作成できます。

ドキュメントの既定値(Windows NT 4.0の場合)
印刷設定(Windows 2000の場合)

プリンターの[印刷設定]ダイアログボックスを表示します。

通常使うプリンタに設定

通常使うプリンターに設定します。

一時停止

印刷を一時停止します。

印刷ドキュメントの削除(Windows 98/95/NT 4.0の場合)
すべてのドキュメントの取り消し(Windows 2000の場合)

すべての送信中の印刷ジョブを削除します。

共有

プリンターの共有プロパティを表示します。

プリンタをオフラインで使用する(Windows 2000のみ)

選択されたプリンターへは接続しません。
印刷ジョブをプリントサーバーあるいはプリンターに送らずにコンピューターにスプールします。

ショートカットの作成

プリンターのショートカットを作成します。

削除

プリンタードライバーを削除します。

名前の変更

プリンターの名前を変更します。

自動切替の設定

[グループプリンタの編集]ダイアログボックスを表示し、自動切替の設定を行います。

アラームの発信設定

[アラームの発信設定]ダイアログボックスを表示し、保守情報のメール通知設定を行います。

LANボードの設定

プリンターに接続されているLANボード/アダプターのプロパティーを表示します。

プロパティ

プリンターの[プロパティ]ダイアログボックスを表示します。

ステータス

プリンターの[ステータス]ダイアログボックスを表示します。

印刷履歴を表示

プリンターの印刷履歴を表示します。

プリンタの登録

新しいプリンターを登録します。

電源制御

プリンターの電源をリモートオン/オフします。

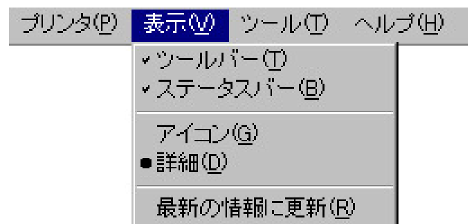
終了

プリンタ管理ユーティリティを終了します。

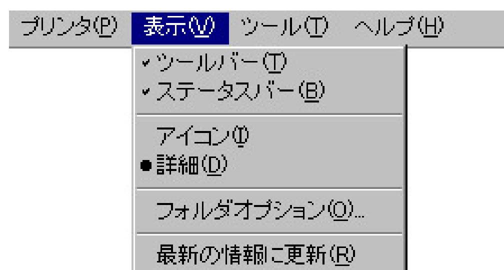
[表示]メニュー

ウィンドウのデザインを変更するコマンドが表示されます。

● [利用可能なプリンタ]および[ネットワーク共有プリンタ]を選択した場合



● [NECプリントサーバ]を選択した場合



ツールバー
　　ツールバーの表示/非表示を切り替えます。

ステータスバー
　　ステータスバーの表示/非表示を切り替えます。

アイコン
　　プリンターをアイコンで表示します。

詳細
　　プリンターを詳細なリストで表示します。

フォルダオプション
　　[NECプリントサーバのオプション]ダイアログボックスを表示し、ステータスの更新周期や表示項目を設定します。

最新の情報に更新
　　各項目を最新の情報に更新します。

[ツール]メニュー

ファイルやフォルダに関する追加コマンドが表示されます。

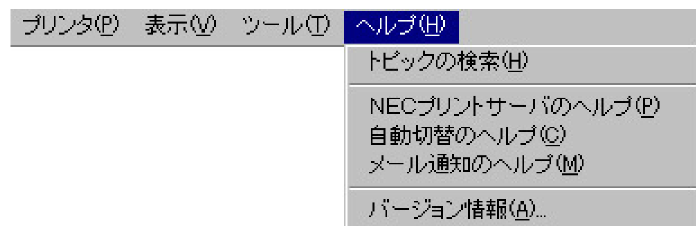


パスワードの変更
　　管理者用パスワードを変更します。

メール通知の設定
　　[メール通知の設定]ダイアログボックスを表示し、保守情報のメール通知設定を行います。

[ヘルプ]メニュー

ヘルプコマンドが表示されます。



トピックの検索

[プリンタ管理ユーティリティ]のヘルプダイアログボックスが表示され、トピックの検索でヘルプを表示・印刷できます。

NECプリントサーバのヘルプ

[NECプリントサーバ]のヘルプダイアログボックスが表示され、トピックの検索でヘルプを表示・印刷できます。

自動切替のヘルプ

[プリンタ自動切替]のヘルプダイアログボックスが表示され、トピックの検索でヘルプを表示・印刷できます。

メール通知のヘルプ

[メール通知]のヘルプダイアログボックスが表示され、トピックの検索でヘルプを表示・印刷できます。

バージョン情報

プリンタ管理ユーティリティ、プリンター覧のバージョンを表示します。

PrintAgent Eraserについて

お使いのコンピューターでOSをWindows 2000日本語版にアップグレードしてMultiWriterをお使いになる場合、アップグレード前に[PrintAgentセットアップ]を使って、いったんPrintAgentおよびプリンタードライバーを削除する必要があります。

しかしながらWindows NT 3.51 日本語版からWindows 2000日本語版にアップグレードしてMultiWriterをお使いになる場合[PrintAgentセットアップ]を使ってPrintAgentの削除を行っても、お使いの環境によってはWindows 2000日本語版へのアップグレードが行えないことがあります。Windows NT 3.51上でPrintAgent Eraserを使って削除を行ってください。

また、すでにWindows NT 4.0 日本語版でPrintAgentをご利用され、Windows 2000日本語版にアップグレードした場合、[PrintAgentセットアップ]を使ったPrintAgentの削除も行えないことがあります。

PrintAgent Eraserはこういった場合に使われるソフトウエアでWindows NT 3.51日本語版またはWindows 2000日本語版上のプリンターソフトウエア(PrintAgentとプリンタードライバー)をすべて削除します。PrintAgent EraserでPrintAgentおよびプリンタードライバーを削除してからOSのアップグレードを行い、Windows 2000に対応したソフトウエアのインストール作業を続けてください。

PrintAgent EraserはプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されています。詳細についてはPrintAgent Eraserに添付されているReadme.txtファイルをご覧ください。



PrintAgent Eraserの処理を実行するとプリンターソフトウエアに関する各種設定がクリアされます。実行前に以下の設定を記録しておいてください。

- LANプリンターで使用しているNEC Network PortのIP アドレス
- ネットワーク共有プリンターのパス
- 印刷ログのサービスの設定
- リプリントの設定
- プリンタステータスウインドウの設定

索引

P

イ

ウ

オ

キ

ク

サ

シ

ス

セ

タ

ヨ

リ

レ

（このページは白紙ページです）

NEC MultiWriter 2650/2650E/2250/2050/2200X2/2200XE/2000X2/1400X
オンラインマニュアル　プリンターソフトウエアの詳細

2000年　3月　初版

日本電気株式会社
東京都港区芝五丁目7番1号
TEL (03)3454-1111(代表)

NEC

MultiWriter

NEC